

第六十二回帝國議會
衆議院

關稅定率法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第三回

會議

昭和七年六月八日(水曜日)午前十一時
六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事 守屋 榮夫君

理事 高橋熊次郎君

理事 手代木隆吉君

中島知久平君 小笠原三九郎君

倉元 要一君 若宮 貞夫君

江藤源九郎君 武田德三郎君

林 路一君 中島彌團次君

櫻井兵五郎君 永田善三郎君

田島勝太郎君 小池 四郎君

青山 憲三君 杉本國太郎君

同日委員津崎尙武君及林路一君辭任ニ
付其ノ補闕トシテ青山憲三君及杉本國
太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 堀切善兵衛君

大藏省主稅局長 中島 鐵平君

農林省農務局長 小平 權一君

農林省山林局長 長瀬 貞一君

農林省水產局長 戶田 保忠君

農林省畜產局長 村上龍太郎君

商工政務次官 岩切 重雄君

商工省工務局長 竹内 可吉君

商工省鑛山局長 福田 庸雄君

商工省貿易局長 寺尾 進君

拓務政務次官 堤 康次郎君

拓務省殖產局長 北島謙次郎君

朝鮮總督府政務總監 今井田清德君

樺太廳長官 岸本 正雄君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左
ノ如シ

農林技師 間部 彰君

商工書記官 後藤 保清君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
關稅定率法中改正法律案(政府提出)
輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律案

(政府提出)

○東委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シ
マス、田島君

○田島委員 私ノ御尋ネ致シタイコト

ハ極メテ簡單ナコトデアリマス、實ハ

朝鮮總督府ノ當局ニ御出席ヲ願フテ置キ

マシタ關係上、今見エテ居ラレルヤウ

デアリマスカラ、此際質問ヲ致シテ見

タイト思ヒマス、御尋ネシタイコトハ

小麥ト高粱、玉蜀黍ト云フ此三ツニ關

係シタコトデアリマス、第一番ニ御尋

ネ申上ゲタイノハ農林當局ニ伺フノデ

アリマスカ、此高粱ト玉蜀黍ノ關稅ノ

今回ノ增加ハ、非常ニ急激ナ増加デア

テ、非常ナ高イ稅率ヲ課セラレルモノ
ノヤウニ思フノデアリマス、原料品ニ
對スル課稅トシテハ、ドウモ餘リニ高
過ギルヤウニ思フノデアリマスカ、大
體此高粱、玉蜀黍ニ付テノ斯ウ云フ稅
率ヲ盛ラレタ根據理由ヲ簡單ニ伺フテ
見タイト思ヒマス

○今井田政府委員 御答致シマスカ、

今回ノ玉蜀黍、高粱等ノ稅率ヲ上ゲマ

シタ理由ハ、輸入價格ト、ソレカラ内

地ニ於テ相當ニ生産サレルモノ、價格

トノ差額ヲ見マシテ、ソレヲ稅率ニ盛

タ譯デアリマス、隨テ内地ノ生産ヲ保

護スルニ必要ナル限度デ止メタ譯デア

リマス、此稅率ハ、輸入スル價格ガ非

常ニ下ツテ居リマス時ニ較ベテ高イヤ

ウニ見エマスケレドモ、此稅ヲ上ゲル

理由カラ見マシレバ、高イトハ考ヘテ

居リマセヌ、尙ホ内地ノ製粉用ノ關係

等カラ見マシテモ、此位ノ稅率ハ耐エ

得ルモノデアルト確信ヲシテ居ル次第

デアリマス、又之ヲ内地デ生産サレタ

麥粉等ノ實際消費ニ轉嫁シテ來ル場合

ヲ見マスト、極ク僅少ノモノデアリマ

ス、決シテサウヒドク高イモノデア

トハ考ヘテ居リマセヌ

○田島委員 小麥ノコトハ後ニ廻シテ

付託議案

關稅定率法中改正法律案(政府提出)
輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律案(政府提出)
遠洋漁業獎勵法中改正法律案(政府提出)

置キタイト思ヒマスカ、主トシテ私ハ
第一番ニ高粱ト玉蜀黍ノコトヲ伺ヒタ
イト思フテ居ル譯デアリマス、ソレデ今
ノ高粱ト玉蜀黍ダケニ、斯ウ云フ高イ
稅率ヲ盛ラレテ、サウシテ其他ノ澱粉
原料トシテ輸入サレテ居ルモノニ對シ
テハ、其儘ニシテ置カレルト云フコト
ハ、何カ理由ガアルダラウト思ヒマス
ガ、ソレヲ一應御伺ヒ致シタイト思ヒ
マス

○小平政府委員 玉蜀黍ト高粱ニ付キ

マシテ、一方ハ三十錢ヲ一圓七十錢、

一方ハ無稅ナノヲ一圓ニ上ゲタノデア

リマスカ、現在輸入スル澱粉ニ付テハ

既ニ相當ノ課稅ガサレテアリマシテ、

ソレニ付テ更ニ稅ヲ増スト云フ理由ハ

考ヘテ居リマセヌ、而シテ玉蜀黍及ビ

高粱ニ稅ヲ課スル所以ハ、「コーンスタ

ーチ」ヲ製造スル場合ニ於テ、從來ノ高

粱ハ無稅、玉蜀黍ハ三十錢、サウ云フ

安イ稅率デ入ッタ原料ヲ以テ、主トシテ

「コーンスターチ」ヲ製造サレル場合ニ於

テハ、内地ノ馬鈴薯ノ澱粉ノ製造ニ對

シテ、非常ナ打撃ヲ與ヘルノデアリマ

ス、隨テ農家ノ生産スル馬鈴薯其他芋

類ニ對シテノ非常ナ脅威ガ起ルノデア

リマシテ、此關係デ「コーンスターチ

ノ原料トナル玉蜀黍及ビ高粱ニ稅ヲ課スル次第アリマス

○田島委員 御答ハ能ク分リマシタガ、私ノ承ッテ居ル所デハ、馬鈴薯澱粉ト玉蜀黍澱粉トノ用途ガ一致シテ居ナクテ、玉蜀黍澱粉ハ主トシテ紡績其他織物ノ關係ノ方面ニ使ハレル、馬鈴薯澱粉ハ、主タルモノハ食糧デアルト云フヤウナコトデ、用途ガ全然異ッテ居ルトハ申シマセヌガ、大部分數量ノ上カラ見テ、使ハレルノガ異ッタ範圍ニ使ハレテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、サウ云フ立場カラ考ヘテ見マスト、

玉蜀黍澱粉ノ製造ガ非常ニ安ク、且ツ多量ニ出來ルヤウニナッテモ、馬鈴薯澱粉ニ及ボス所ノ影響ハ割合ニ少イノデハナイカト思ハレルノデアリマスガ、其點ノ當局ノ所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○小平政府委員 私共ノ調ニ依リマスト云フト、何レノ澱粉モ互ニ用途ガ重複スル點ガ相當アルノデアリマス、餡ノ製造トカ云フヤウナモノニ對シテハ、色ミナモノガ使用セラレル、其他總テ澱粉ニナリマスレバ「コーンスターチ」デモ——玉蜀黍ノ原料ノ「コーンスターチ」デモ、高粱ノ原料ノ「コーンスターチ」デモ、馬鈴薯澱粉デモ、互ニ用途ガ相侵シ得ルノデアリマス、現在非常ニ侵シテ居ッテ、馬鈴薯澱粉製

造業者ガ困難ヲ感ジテ居ル次第デアリマスカラ、ドウシテモヤハリ相侵シ得ルモノト確信ヲ有ッテ居ル次第デアリマスシ、又調ベマシテモ、其結果非常ナ影響ヲ被ルノデアリマス

○田島委員 成程、相侵シテ居ル部分モアルトハ思ヒマスガ、併シ玉蜀黍澱粉ハ主トシテ纖維工業方面ニ對スル用途ガ廣イノデアルヤウニ伺ッテ居リマスカラ、ソレデハ日本ノ重大ナ工業デアル所ノ纖維工業ニ相當影響ヲ及ボス問題デアルト考ヘルノデアリマス、ソレデ假ニ當局ノ説明ヲ諒承致シマシテ、大ニ馬鈴薯澱粉ノ脅威ニナルト云フコトニナリマシテモ、纖維工業トシテ缺クベカラザル玉蜀黍澱粉ノ製造ヲ、内地デ自給自足スルコトノ出來ル見込ガアルカドウカ、詰リ玉蜀黍ノ生産ト云フコトガ十分ニ行カナカッタラバ、纖維工業ノ如キモノハ非常ナ高イ原料ヲ使フト云フコトニナッテ、勢カラザル打撃ヲ受ケルト思フノデアリマスガ、其點ニ付テノ當局ノ御見込ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○小平政府委員 玉蜀黍ニ對シテ是ダケノ稅ヲ上ゲテモ、玉蜀黍ニ依ル「コーンスターチ」ノ製造ハ決シテ減ルコトハナク、相當ニ殖エルガラウト思フノデアリマス、現在「コーンスターチ」ノ製造ガ朝鮮デ行ハレテ居ルノデアリ

マスガ、其設備其能力等カラ見マシテモ、從來ヨリハ非常ナ安イ價格デ、原料品ニ對スル稅ガ無イガ爲ニ原料ガ安ク仕入レラレテ、特ニ安イ價格デ供給サレルコトニ昨年アタリカラナッタノデアリマス、ソレガ突如トシテ非常ナ打撃ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、ソレダカラ前ノ時代ノ「コーンスターチ」ノ價格ヲ特ニ此際上ゲルコトニハナラナイ、特ニサウ云フ特殊ナ競争ノ強敵ガ出來タ爲ニ、玆ニ上ゲル必要ガ出來タノデアリマス、隨テソレ位ノ稅ヲ上ゲテモ、決シテ非常ナ高イ玉蜀黍原料ノ「コーンスターチ」ガ出來ルトハ考ヘラレナイ、ソレカラ又生産ガ減ルトモ考ヘラレナイ、普通ノ内地ノ馬鈴薯澱粉トノ均衡上、相當ノ價格デ販賣サレルコトト考ヘマス

○田島委員 更ニ伺ヒマスガ、一體是ダケ關稅ヲ原料品ニ課スル以上ハ、此原料品ノ生産ト云フコトニ付テ、農林當局トシテハ多少御考ヘニナッテ居ルコトト思ヒマスガ、其増産ニ付テハ何等カノ御計畫ガオアリニナルノデアリマス、ソレトモ玉蜀黍ト云フモノハ、内地ニ生産シナクテモ宜シイカラ、唯、稅ダケ課シテ、内地ノ馬鈴薯澱粉ヲ保護スレバ宜シイト云フヤウナ御考デアリマス、伺ヒタイ

○小平政府委員 勿論此農產物ノ増殖獎勵トシマシテハ、出來ルダケ輸入スル農產物ヲ防遏シマシテ、内地デ生産スルヤウニ努力シテ居ル次第デゴザイマス、隨テ此稅ヲ課シマスナラバ、内地ニ於テモ増産スルシ、又朝鮮ニ於テモ相當増産ガアルコトト考ヘテ居リマス、併シ特ニ是ガ爲ニ此議會ニ豫算ヲ請求スルヤウナコトハアリマセヌガ、出來ルダケ内地ニ於テモ、安イ價格デ玉蜀黍ガ生産出來ルヤウニ、又日本帝國内ニ於テ必ず用途ノアルモノデアリマスカラ、農家ヲシテ生産セシメテ、農家ノ收入ヲ増加スルコトガ非常ニ大切ナコトデアリマシテ、出來ルダケ努力ヲスル積リデアリマス

○田島委員 更ニ農林當局ニ伺ヒマスガ、此他ノ澱粉原料トナルベキモノガ澤山輸入サレテ居ルヤウニ思ヒマス、南洋方面カラモ多量ノ輸入ガアルヤウニ思ッテ居リマスガ、或ハ碎米ノ如キモノ、是ハ一般ノ食糧ニモ供セラレテ居リマセウガ、澱粉用トシテ非常ニ輸入サレテ居ル、是等ノモノニモ課稅シテ、馬鈴薯ノ生産ヲ獎勵ナサルヤウナ御意思ハナイノデアアルカ、是ハ課稅ヲセズ少クトモ北海道方面ノ農業ニ對スル關係ハナイモノト御考デアリマス、其點ヲ御同致シマス

○小平政府委員 碎米ナドガ澱粉ノ原

料トナル玉蜀黍及ビ高粱ニ稅ヲ課スル次第アリマス

○田島委員 御答ハ能ク分リマシタガ、私ノ承ッテ居ル所デハ、馬鈴薯澱粉ト玉蜀黍澱粉トノ用途ガ一致シテ居ナクテ、玉蜀黍澱粉ハ主トシテ紡績其他織物ノ關係ノ方面ニ使ハレル、馬鈴薯澱粉ハ、主タルモノハ食糧デアルト云フヤウナコトデ、用途ガ全然異ッテ居ルトハ申シマセヌガ、大部分數量ノ上カラ見テ、使ハレルノガ異ッタ範圍ニ使ハレテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、サウ云フ立場カラ考ヘテ見マスト、

玉蜀黍澱粉ノ製造ガ非常ニ安ク、且ツ多量ニ出來ルヤウニナッテモ、馬鈴薯澱粉ニ及ボス所ノ影響ハ割合ニ少イノデハナイカト思ハレルノデアリマスガ、其點ノ當局ノ所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○小平政府委員 私共ノ調ニ依リマスト云フト、何レノ澱粉モ互ニ用途ガ重複スル點ガ相當アルノデアリマス、餡ノ製造トカ云フヤウナモノニ對シテハ、色ミナモノガ使用セラレル、其他總テ澱粉ニナリマスレバ「コーンスターチ」デモ——玉蜀黍ノ原料ノ「コーンスターチ」デモ、高粱ノ原料ノ「コーンスターチ」デモ、馬鈴薯澱粉デモ、互ニ用途ガ相侵シ得ルノデアリマス、現在非常ニ侵シテ居ッテ、馬鈴薯澱粉製

造業者ガ困難ヲ感ジテ居ル次第デアリマスカラ、ドウシテモヤハリ相侵シ得ルモノト確信ヲ有ッテ居ル次第デアリマスシ、又調ベマシテモ、其結果非常ナ影響ヲ被ルノデアリマス

○田島委員 成程、相侵シテ居ル部分モアルトハ思ヒマスガ、併シ玉蜀黍澱粉ハ主トシテ纖維工業方面ニ對スル用途ガ廣イノデアルヤウニ伺ッテ居リマスカラ、ソレデハ日本ノ重大ナ工業デアル所ノ纖維工業ニ相當影響ヲ及ボス問題デアルト考ヘルノデアリマス、ソレデ假ニ當局ノ説明ヲ諒承致シマシテ、大ニ馬鈴薯澱粉ノ脅威ニナルト云フコトニナリマシテモ、纖維工業トシテ缺クベカラザル玉蜀黍澱粉ノ製造ヲ、内地デ自給自足スルコトノ出來ル見込ガアルカドウカ、詰リ玉蜀黍ノ生産ト云フコトガ十分ニ行カナカッタラバ、纖維工業ノ如キモノハ非常ナ高イ原料ヲ使フト云フコトニナッテ、勢カラザル打撃ヲ受ケルト思フノデアリマスガ、其點ニ付テノ當局ノ御見込ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○小平政府委員 玉蜀黍ニ對シテ是ダケノ稅ヲ上ゲテモ、玉蜀黍ニ依ル「コーンスターチ」ノ製造ハ決シテ減ルコトハナク、相當ニ殖エルガラウト思フノデアリマス、現在「コーンスターチ」ノ製造ガ朝鮮デ行ハレテ居ルノデアリ

マスガ、其設備其能力等カラ見マシテモ、從來ヨリハ非常ナ安イ價格デ、原料品ニ對スル稅ガ無イガ爲ニ原料ガ安ク仕入レラレテ、特ニ安イ價格デ供給サレルコトニ昨年アタリカラナッタノデアリマス、ソレガ突如トシテ非常ナ打撃ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、ソレダカラ前ノ時代ノ「コーンスターチ」ノ價格ヲ特ニ此際上ゲルコトニハナラナイ、特ニサウ云フ特殊ナ競争ノ強敵ガ出來タ爲ニ、玆ニ上ゲル必要ガ出來タノデアリマス、隨テソレ位ノ稅ヲ上ゲテモ、決シテ非常ナ高イ玉蜀黍原料ノ「コーンスターチ」ガ出來ルトハ考ヘラレナイ、ソレカラ又生産ガ減ルトモ考ヘラレナイ、普通ノ内地ノ馬鈴薯澱粉トノ均衡上、相當ノ價格デ販賣サレルコトト考ヘマス

○田島委員 更ニ農林當局ニ伺ヒマスガ、此他ノ澱粉原料トナルベキモノガ澤山輸入サレテ居ルヤウニ思ヒマス、南洋方面カラモ多量ノ輸入ガアルヤウニ思ッテ居リマスガ、或ハ碎米ノ如キモノ、是ハ一般ノ食糧ニモ供セラレテ居リマセウガ、澱粉用トシテ非常ニ輸入サレテ居ル、是等ノモノニモ課稅シテ、馬鈴薯ノ生産ヲ獎勵ナサルヤウナ御意思ハナイノデアアルカ、是ハ課稅ヲセズ少クトモ北海道方面ノ農業ニ對スル關係ハナイモノト御考デアリマス、其點ヲ御同致シマス

○小平政府委員 碎米ナドガ澱粉ノ原

料ニナルコトモアルカト思フノデアリ
マスガ、是ハ米ノ生産ノ關係モ非常ニ
影響ガアルノデゴザイマシテ、現在米
ニ付テハ一石ニ付テ五圓ノ特別關稅ヲ
課シテ居ルノデアリマシテ、是ハ米穀
法ニ依テ勅令ニ總テ委任サレテ居リ
マシテ、法律ヲ俟タズニ、米ノ關稅ハ
必要ニ應ジテ、何時デモ勅令デ増減改
廢出來ルコトニナツテ居リマス、必要ガ
アレバ、勅令ニ依テ、何時デモ關稅ハ
引上ゲ得ルコトニナツテ居リマスカラ、
若シ必要ガアレバ、其時ノ情勢ニ應ジ
テ適切ナ處置ヲ執ル必要ガアルト思ヒ
マス

○田島委員 私ノ御尋シテ居ルノハ碎
米ト云フノ一寸例ニ引イタノデアリ
マスケレドモ、純粹ニ澱粉原料トシテ
使ハレル「タビオカ」トカ「セーゴ」
トカ云フモノニ對シテ、課稅スル意思
ハナイノデアアルカト云フコトヲ伺フ譯
デアリマス

○小平政府委員 澱粉原料トシテ、今
外國カラ這入ッテ來マスノハ「カッサヴァ
ルト」ガ主ナルモノデアリマス、碎
米ハ澱粉原料ト申スヨリモ、寧ロ飴ノ
原料ニナツテ居ルノデアリマス、直接澱
粉原料ニナルモノハ「カッサヴァルト」
デ、此前ノ關稅改正ノ時ニソレガ餘リ
低ク過ギル、隨テ澱粉業ニ惡影響ヲ及
ボスト云フノデ引上ゲタノデアリマス

ガ、現在ノ率デ私共大體宜イノヂヤナ
イカ、殊ニ此際一律ニ三割五分引上ゲ
ラレルコトニナル關係カラ致シマシテ
旁々大體アノ率デ宜イノデアラウト思
ヒマス、一面カラ見マス、輸入ガ餘
リ殖エテ居リマセヌ、寧ロ昭和二年頃
カラノ傾向ヲ見マス、段々減ルヤウ
ナ傾向ガアルノデアリマス、其點カラ
見マシテモ、澱粉業ニサウ大シタ影響
ガナイトモ言ヘマスノト、最近ニ於キ
マシテハ「カッサヴァルト」ハ澱粉原
料ニスルト云フヨリカ、寧ロ醬油ナド
ノ著色原料ノ「カラメル」ヲ造ルコト
ニ大部分用ヒラレルヤウナ狀況デアリ
マスカラ、大體現行ノ稅率デ宜カラウ
ト思ヒマス

○田島委員 朝鮮總督府ノ當局ニ御尋
ヲ致シタイト思ヒマスガ、此玉蜀黍澱
粉ノ製造ニ付キマシテハ、朝鮮總督府
ニ置カレテモ、御獎勵ノ趣旨ヲ以テ、
亞米利加ノ資本ト内地ノ資本トノ合同
デ以テ、相當大キナ會社ガ寧ロ朝鮮總
督府ノ獎勵ノ下ニ成立ッタヤウニ伺ッテ
居リマスガ、此關稅引上ト云フモノハ、
サウ云フ獎勵ノ趣旨ヲ以テ成立シテ居
ル事業ニ、非常ナル打撃ヲ及ボスヤウ
ナコトハナイノデアリマスカ、總督府
トシテハ斯ノ如キコトハ極メテ適切ナ
ル施設ト御認メニナル御考デアリマス
カ、ソレヲ伺ヒタイ、ソレカラ私ハ玉

蜀黍、高粱ノ課稅ニ對シテ必ズシモ之
ニ反對スル者デハ無論アリマセヌ、唯
非常ナ急激ナ引上ト云フコトニ付テ、
内地ノ生産ガ之ニ伴フカト云フコトヲ
非常ニ恐レルノデアリマス、關稅ヲ課
スル以上ハ、少クとも原料品ニ付テハ、
内地ニ生産スルコトヲ目的トシテヤラ
ナクチャイカヌノデアリマスカ、玉蜀
黍ニ付テハ、今農務局長カラ内地ニ於
テ生産ノ獎勵ヲ出來ルダケスルヤウナ
御話ガアリマシタケレドモ、恐ラクハ
ソレハ御答辯ダケデアッテ、事實ニ於
テ、玉蜀黍ノ生産ガ増加スルトハ考ヘ
ラレヌノデアリマス、唯朝鮮ニ於テハ、
總督府ノ御考ニ依リマシテハ、相當ノ
増殖ヲ見ルノデハナイカト思フノデア
リマシテ、此點ニ付テハ、必ズヤ多少
ノ御計畫ヲ御持ニナツテ居ラレルト思
フノデアリマスカラ、ソレヲ伺ッテ、今
ノ原料ニ課稅スルト云フ、或ル意味カ
ラ言フト是ハ惡イ稅デアリマス、ソレ
ニ對スル慰メヲ發見シタイト思フノデ
アリマスガ、御答ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス

○今井田政府委員 御答辯致シマス、
今回ノ玉蜀黍ノ關稅ノ引上ハ、朝鮮ニ
ハ日本「コーンプロダクト」會社ノ業績
ニ多少影響ヲ及ボスト云フコトハ免レ
ナイト考ヘテ居リマスガ、併ナガラ此
關稅ノ引上ガ、日本「コーンプロダク

ト」會社ノ營業ヲ著シク困 ナラシム
ルト云フコトニハナルマイト考ヘルノ
デアリマス、ト申シマスルノハ現在迄ハ
原料ノ大部分ハ滿洲及ビ亞弗利加其他
外地カラ輸入シテ居リマス、併ナガラ
朝鮮ニ於ケル玉蜀黍ノ生産量モ、年々
幾分ヅ、増加致シテ居リマス、特ニア
ノ會社ガ出來ルニ際シマシテハ、差向
キ外國ノ原料ヲ輸入致シマスガ、朝鮮
ニ玉蜀黍ノ増殖獎勵ヲ致シマシテ、鮮
内ノ需要ヲ生産スルト云フ建前カラ出
來テ居リマス、今後其玉蜀黍ノ生産ヲ
獎勵致シマシテ、此會社ノ原料ハ主ト
シテ鮮内ノ生産品ヲ使フコトニナリマ
スレバ、一層關稅ノ引上ト云フコトノ
影響ハ、此會社ノ業績ニ影響ヲ及ボサ
ナイ結果ニナルト思ヒマス、ソレデ玉
蜀黍ノ生産獎勵ニ付テハ、先年來畑作
ノ獎勵ト致シマシテ、麥、粟或ハ豆等
ヲ獎勵シテ居リマス、其獎勵ノ直接ノ
目的ニハ、今日迄玉蜀黍ハ加ハッテ居
ナカッタノデアリマス、間接ノ結果ト致
シマシテ、玉蜀黍ノ獎勵ニナリ、從ッテ
其結果増産ニモナツテ居リマス、今回ノ
關稅ノ引上ノ結果ト致シマシテ、將來
玉蜀黍ヲ獎勵ノ目途ニ加ヘマシテ増殖
獎勵ヲ致シマシタナラバ、生産量ハ著
シク今後増加スルモノト、斯様ニ考ヘ
テ居リマス

○田島委員 玉蜀黍ト高粱ノコトハソ

レ位ニ致シテ置キマシテ、小麥ノ問題ニ付テ御同致シタイと思ヒマス、小麥ノ關稅増徴ニ付テハ、私ハ賛成ノ意思ヲ有ツテ居ル者デアリマスガ、唯恐ル、ノハ今申上ゲマシタ通りニ、原料ノ輸入ニ對シテ稅ヲ課スルト云フコトハ極メテ惡イコトデアルト思ヒマス、是ニ代ルベキ内地ノ生産ガ増加サレナケレバ無論イカナイノデアリマス、所ガ小麥ニ付テハ中島君ガ講場ニ於テ申上ゲマシタ通り、一向生産ガ殖エテ居ラナイ、是ハ吾モ認メテ居リ、農務當局モ恐ラク認メテ居ラレル所ト思ヒマス、此一圓ノ増徴ニ依リマシテ、果シテ小麥ノ生産ト云フコトガ都合好ク行ハレルモノデアラウカ、大體小麥ト云フモノハ遅ク熟スルモノデアリマス、他ノ裏作トシテハ不適當デナйкаト思フノデアリマス、サウ云フ點ニ付テ、若シ相當吾モ満足セシメルヤウナ御答辯ガアレバ伺ツテ置キタイ、或ハ此二年ナリ三年ノ間ニ、關稅ヲ一圓引上ゲマシタガ、ヤハリ小麥ハ大シテ増産シナカッタト云フ悲ムベキ事實ニ逢著スルダラウト思ヒマスガ、兎ニ角現在ノ御覺悟、若クハ方策ヲ伺ツテ置キタイと思ヒマス

内地ノ小麥ノ生産ハ、大正十五年ノ關稅ノ改正ト、小麥ノ増殖ニ僅カナ經費ヲ取リマシタノデアリマスガ、ソレ以來作付段別ハ年々増加シテ居リマス、此時ノ施設ハ甚ダ不徹底デ、僅カナモノデアリマシタケレドモ相當ノ増加ヲ見テ居リマス、ソレデ今回ハ輸入小麥、年々三百萬石位デアリマスノデスガ、之ヲ殆ド全部國內デ供給スルコトノ計畫ヲ樹テマシテ、小麥増殖獎勵費ヲ百七十五萬圓、今回ノ豫算ニ計上シテアル位デアリマス、之ニ依リマシテ徹底的ニ小麥ノ増殖ヲ致シマシテ、約數年間ニ殆ド全部ノ輸入小麥ヲ國內デ生産スルコトノ確信ヲ以テ努力スル積リデアリマス、殊ニ裏作トシテ現在約五十萬町歩ハ小麥ニ適當スルト思ヒマス、其他ニ尙數十萬町歩ノ小麥ニ適當シタ土地ガ出來ル譯デアルマスガ、現在ノ裏作ダケデモ相當ノ生産ガアル譯デアリマス、尙ホ大正十五年以來、小麥ノ増殖ニ付テ豫算ヲ取リマシテ、各種ノ試驗研究ヲシマシテ、我國ノ氣候ニ適スルヤウニスル、詰リ早く小麥ガ穫レテ、米作ト衝突シナイヤウナ方法モ十分講ゼラレテ來テ居リマス、又小麥ノ品種ニ付テモ、最近非常ニ優良ナ品種ガ段々發見サレマシテ、十分内地ノ消費ニ間ニ合フヤウナ小麥ガ段々増産サレツ、アルノデアリマス、今回ノ百七

十五萬圓ノ豫算ハ、最モ有爲ニ之ヲ利用シマシテ、極力増産ニ努メマスレバ、必ズ此輸入小麥ノ大部分ハ防遏シ得ルモノト確信シテ居ル次第デアリマス

○中島(彌)委員 只今ノ前商工次官ノ質問ニ關聯シテ——政府委員ハ小麥ノ段別ガ年々増加シテ居ルト言ハレマシタケレドモ、私共農林省カラ得タ統計ニ依テ調べテ見マス、昭和四年ハ五年ニ較ベテ三千町歩減ツテ居ルト云フコトデス、年々増加シテ居リマセヌ、昭和四年ハ四十九萬四千町歩デアツテ、昭和五年ハ四十九萬一千町歩ニ減ツテ居リマス、大體ハ多少ヅ、大正十五年カラ昭和二年度迄七千町歩出テ居ル、二年ハ一萬六千町歩出テ居リマス、三年ト四年ト較ベレバ五千町歩、四年ト五年ト較ベレバ三千町歩減ツテ居ツテ、六年ト五年ト較ベレバ一千町歩殖エテ居ルダケデアツテ、中ニ減ツタ年モアツテ、其小麥ノ耕作段別ハ多少ヅ、殖エテ居ルノハ、是ハ關稅改正ノ結果デアルト認メナイノデスガ、サウデアルト認メレバ、減ツタ年ハ關稅改正ハ必要ナイト思フノデアリマスガドウデアリマスカ

○小平政府委員 昭和二年カラ昭和六年迄ノ小麥ノ作付段別ハ昭和五年ニ於テ三千五百町歩減ツタダケデアツテ、後ハ全部殖エテ居リマス、昭和二年ニハ六千町歩、昭和三年ニハ一萬六千町歩、昭和四年ニハ三千町歩、昭和六年ニ九千六百町歩殖エテ居リマス、ソレカラ大正十三年、大正十五年ノ小麥ノ收穫高ノ平均ニ較ベマス云フト、昭和四年度及六年ノ平均シタ收穫ハ五十二萬石増加シテ居リマス、ソレデ昭和五年ノ此減ツタノハ、是ハ世界的ニ小麥ノ價格ガ非常ナ暴落デアリマシテ、北米合衆國ヲ初メ、歐羅巴全國ニ互ツテノ小麥ノ非常ナ恐慌時代デアル、隨テ日本ヘ這入ル外國小麥モ、非常ナ安イ時代デアリマシタカラ、特別ノ理由デ減ツタト考ヘテ居リマス、一年ノ例外ハアリマスケレドモ、大體ニ於テ關稅及僅ナ獎勵費ノ影響デ、斯ノ如キ好結果ヲ及ボスモノト信ジテ居リマス

○中島(彌)委員 政府委員ノ御答辯ニ依リマシテモ、減ツテ居ル年ガアルト云フコトハ認メラレマシタノデスネ——ソレデ麥全體ノ作付段別カラ見レバ減ツテ居ル、昭和元年ハ百七十七萬四千町歩アツタモノガ、昭和六年ハ百三十五萬六千町歩ニ減ツタ、ソレヲ見マシテモ年減ツテ居ル、小麥ダケハ今言ツタヤウニ昭和四年ト五年ヲ較ベテ三千町歩減ツタケデ、アトハ大體小麥ハ殖エタヤウナ傾向ニナツテ居リマス、所ガ裸麥ト大麥ヲ見マス、著シク耕作段別ハ減ツテ居リマス、昭和元年ハ六十八萬町歩

デアッタ、ソレガ昭和六年ニハ四十七萬五千町歩ニ迄減ッテシマツテ居ル、ソレカラ大麥デモ、昭和元年ノ五十九萬五千町歩ガ三十八萬町歩ニ減ッテ居リマス、裸麥ト大麥トガ段々減ッテ小麥ニ移行クト云フヤウナ傾向ヲ持ッテ居リマスガ、農村ノ實際ノ狀況カラ言ヒマシテ、又人口ノ増殖、其他米ノ段別ト小麥ノ段別ガ殖エテ居ル所カラ見レバ、小麥ハ色々開墾獎勵ヤ其他ノ獎勵ヲヤツテ居リマス、大麥モ多少ノ獎勵ヲヤツテ居リマスガ、農林省ノ方策トシテ、裸麥ト大麥ヲ小麥ニ移サス方針デアルカ、又ハ農村ニ於テ、裸麥ヤ大麥ハ餘リ食ハナクナツテシマツタ、農村ノミナラズ其他ニ於テ、小麥ハ非常ニ一般ノ嗜好ガソレニ移リツ、アルガ爲ニ農村ガ作ルノデアツテ、關稅改正ノ影響デアルカナイカト云フコトハ、私共疑問ト思ッテ居リマスガ、麥全體カラノ耕作段別ガ減ッテ居ル點カラ考ヘテ見マシテ、裏作ノ獎勵ト云フコトガ、其冬季ニ於ケル勞力ノ利用ト云フコト、裏作ノ獎勵ガ、詰リ小麥關稅引上ノ根本理由ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、サウシマスト云フト、裸麥ト大麥トハ、是モ裏作デアル、サウスレバ小麥ニ是ガ移ッテ、麥全體ノ耕作段別ガ減ッテ行クト見マシナラバ、矢張農家ノ裏作ノ獎勵、及ビ勞力ノ利用ト云フ方面ニ於テハ、麥全體カラ見レバ減ッテ來テ居ルノデハナイカ、一年間ニ於ケル小麥ノ生産額ト云フモノハ、是ハ標準ニナラナイ、何故カト云フト、年ノ所謂氣候ノ關係其他ニ於テ豐凶ガアリマスカラ、段別ノミヲ以テ關稅改正ノ影響如何ト云フコトヲ言フ譯ニ行カヌト思ヒマス、此點ニ付キマシテ農林當局ノ御意見ハ如何デアリマスカ

○小平政府委員 裸麥等ハ、是ハ用途ガ段々變ッテ來タ關係上、農家ノ方デモ生産ヲ段々手控ヘテ居ルヤウデアリマス、要スルニ内地デ用途ナキモノニ對シテハ、關稅ノ效果ノナイノハ當リ前デアリマスガ、内地デ用途ガ十分アルモノニ對シテ關稅ヲ課ケ、多少獎勵ヲスルト云フコトハ、非常ニ效果ガアルヤウニ考ヘテ居リマス、裸麥、小麥ノ用途ノ段々變ッテ來タ結果、現在デハ裸麥ヲ増産シテモ、ソレハ消費ニ向ケル見込ガ少イノデアリマスカラ、農林省トシテモソレニハ餘リ力ヲ注イデ居リマセヌ、寧ろ段々生活狀態ガ進ムニ從テ、米ト同ジヤウナ重要ナル食料品ニナリツ、アル小麥ニ付テ、極力増産ニ力ヲ入レテ、隨テ關稅ト増産ノ施設ト相俟テ、過去ニ於テ僅カナ方法デモ、是ダケノ效果ガアツタ譯デアリマスカラ、今回徹底的ニ獎勵ヲシ、合理的ナ關稅ヲ課ケマスレバ、相當ノ效果ガアルト十分確信シテ居ル次第デアリマス

○中島(彌)委員 私ガ言ウタ所ノ質問ノ事項ニ答辯ヲシテ戴ケナイノデスガ、麥全體ノ耕作ハ、段別トシテハ減ッテ居ル、ソレニ對シテ裸麥ト小麥ノ關係如何ト云フ點ヲ私ハ問ウテ居ルノデアリマシテ、唯確信スルトカ——今迄モ能ク產業當局ノ確信ト云フモノハ常ニ外レテ來テ居ルノデアリマス、今日殆ド全國總動員ノ大騒動ニナツテ生活難ニ陥ッテ居ル際ニハ、農家モ亦麥ノ消費者デアリマス、此點カラ考ヘマシテ、此小麥關稅ノ引上ト云フコトハ、餘程考慮セナケレバナラヌ點ガアルト考ヘル、唯確信ダケデハ、吾々ハ贊成反對ノ意ヲ表スル譯ニハ行キマセヌカラ、モウ少シ——答辯ガ中ニ要領ヲ得サセヌデ上手ナ答辯デアリマスケレドモ、私共ハ野黨デアリナガラ與黨デアルト云フヤウナ立場ニ居リマスノデ、意地惡ク質問スルノデアリマセヌカラ、モウ少シ親切丁寧ニ御答辯ヲ願ヒマス

○小平政府委員 御質問ノ點ガドウ云フ點ニアリマスノカ、一寸了解シ兼ねマスガ、特ニ裸麥、大麥ノ段別ガ減ッテ、小麥ノ段別ガ増加シタト云フコトニナツテ居ルカドウカト云フ御質問デアルト思ヒマスガ……

○中島(彌)委員 イヤ、ソレハ分ッテ居リマス、統計ヲ見レバ分ッテ居ル、裏作獎勵カラ言ヘバ、麥全體ガ減ッテ居ルノデハナイカ、斯ウ云フノデス

○小平政府委員 ソレハ裸麥、大麥ガ減ッタ關係カラサウナツテ居リマス、隨テドウシテモ用途アル小麥ノ方ニ増産計畫ヲ決定シナケレバナラヌト云フノデ、今回案ヲ立テタ次第デアリマス、詰リ農家トシテハ、裏作ノ面積ヲ十分利用サセナケレバ、農家ノ收入ハ増加シマセヌ、裏作トシテ第一ニ今考フベキモノハ麥デアリマス、麥ノ中デ何ヲ先ヅ考フベキカト申シマスレバ、小麥ノ増産ニ先ヅ全力ヲ注グベキデアラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ此計畫ヲ立テタノデアリマシテ、隨テ裏作ノ麥作面積、裸麥、大麥ガ減ルト云フ結果、何ヲ以テソレヲ補フカト言ヘバ、小麥ノ増産ニ依テソレヲ補ヒ、更ニ一層増加シタイ、斯ウ云フ次第デアリマス

○中島(彌)委員 小麥ヲ以テ之ヲ補フト致シマスレバ、今度ノ豫算ニ計上シテアルニ違ヒナイト思ヒマスガ、ドレ位ノ豫算デ、ドウ云フヤウナ増産計畫ヲ年々立テ、行ッテ、何年後ニ於テハ、詰リ今ノ不足額ノ六百萬石ト云フモノヲ全ク自給自足ガ出來ルヤウニ達スルコトガ出來ルカ、其説明ヲ願ヒマス

○小平政府委員 小麥ノ増産計畫ハ、豫算デ約百七十五萬圓デアリマスガ、其方法ハ非常ニ詳細ニ互リマシテ、此

處詳細ニ述ベルト大變時間ガ掛リマ
スノデ、或ハ要領ヲ印刷シテ御渡シシ
テモ宜シウゴザイマス、要スルニ國內
ニ原々種ヲ作ル國立試驗場ニ該當スル
モノヲ七八箇所造リマシテ、其處デ優
良ナル原々種ヲ拵ヘテ、更ニ各地方ニ
原々種ヲ育成スル採種場ヲ造リマシ
テ、更ニ其下ニ各郡毎ニ採種場ヲ造リ、
更ニ各部落毎ニソレヲ引受ケテ小麥ノ
種ヲ作ル溜リ所ヲ拵ヘマシテ、ソレヲ
通シテ年々優良ナル品種ヲ農家ニ配付
スルト云フ種ノ方ノ系統ノ施設、ソレ
カラシテモウ一ツノ方面ハ、徹底的ニ
指導獎勵スル爲ニ、各種ノ指導員ヲ各
府縣町村ニ、郡區域當リニ置イテ、指
導獎勵スルト云フコト、ソレカラモウ
一ツハ販賣ノ方法ニ對シテ十分ナル施
設ヲスルト云フコト、ガ主ナル施設デ
アリマシガ、其細カイ部分ニ付テハ、
非常ニ長キニ互リマスカラ、或ハ印刷
物ヲ差上ゲテモ宜シカラウト考ヘテ居
リマス

○中島(彌)委員 サウシテ其増殖ノ結
果、何年計畫デ何ボ出來ル、價格ハ何
ヲ基準ト致シマシテ、ドレダケノ價格
ヲ以テ内地小麥ノ正當ナル價格トシテ
行クカト云フコトヲ一寸聽カシテ貰ヒ
タイ、要スルニ價格ヲ維持シテ行カ
ナケレバ、小麥ノ増殖段別ノ増加ト云
フコトハ私ハムヅカシカラウト考ヘ

ル、價格ヲ維持シテ行クニハ、ドレ位
ノ價格ヲ標準トシテ行クノデアルカ、
此點ニ付キマシテ何年計畫デ、大體五
六萬石ノ現在ノ不足ヲドレ位ノ耕地面
積ト致シマシテ、ドノ縣ニ於テドレダ
ケノ段別ヲ殖ヤシ得ルカト云フコトノ
計畫ガアルニ相違ナイト思ヒマス、ソ
レニ依テ十年ナラ十年、二十年ナラ二
十年後ニ於テドレ位ノ石高ニ達スル、
其達シテ初メテ其處ニ於テ自給自足ガ
出來ルト云フコトニナツテコソ、關稅改
正ノ意味ガ私ハ徹底シテ來ルト考ヘ
ル、其詳シイコトノ説明ヲ承リタイ、
ソレガ吾々ノ贊成スルカ反對スルカノ
——私ハマダ贊成反對ハ決メテ居リマ
セヌ、御説明ニ依テ決定シタイと思ヒ
マス

○東委員 武田君、何カ關係事項デ
スカ
○武田委員 今堀切政務次官が見エタ
ヤウデスカラ、私ハ總論的ノ質問ヲ二
三簡單ナモノデスカヤッタ方ガ便利デ
ハナイカト考ヘマス
○東委員長 ソレデハ武田君ニ發言ヲ
許シマス
○武田委員 私ハ二三ノ簡單ナ質問ヲ
致シタイト思ヒマス、昨日中島君カラ
ノ御質問モアリマシテ、其御質問ノ點
カラ見マスト云フト、此度ノ關稅改正
ノ結果增收ニナル、ソレハ財政ノ不足
ヲソレデ補フ意味デヤッタヤウナ意味
ノ御質問ガアッタノデスカ、私共ハ此關
稅改正ヲ、日本ノ産業保護ノ意味デ改
正サレタモノト實ハ承知シテ居ッタノ
デアリマス、其御質問ニ對シテ、當局
ノ御返事ガハッキリシテ居ナイノデ、ソ
レデ其點ヲ實ハ伺ヒタイト思フノデス
ガ、私共ノ考ヘルガ如クニ、産業保護
ノ意味デ此關稅改正ヲ、此度ノ案ヲ御
作リニナツタモノト承知シテ宜シイカ
ドウカ是ダケヲ伺ヒマス

○小平政府委員 大體五ヶ年間に三百
萬石ノ増産ガ出來ル見込デアリマス、
ソレカラ小麥ノ段別ヲ五年目ニ二十萬
町歩増加スル計畫デアリマス、ソレカ
ラ價格ニ付キマシテハ、ソレハ時ノ相
場ニ依リマシ、米トノ關係ニ依リマ
シテ變動ガアリマシテ、何圓ノ價格ガ
正當ナ價格ト云フコトハ申上ゲラレマ
セヌ、現在ノ所ニ於キマシテハ、今ノ
關稅ヲ上ゲタダケノ價格デ、現在ノ
生産費カラ見レバ、ソレデ十分採算ガ
取レルト考ヘテ居リマス、併シ將來何
ガ公平ナル價格デアルカト云フコト

○堀切政府委員 御説ノ通りデアリマ
ス、産業保護ノ目的ニ依ッテ此改正ヲ試
ミタノデアリマス、同時ニ是ハ收入ガ
入ッテ來マスト、赤字ガ出テ居ル際デア
リマスカラ、斯ウ云フモノハ敢テ辭
セヌト昨日ハ申上ゲタノデアリマス
○武田委員 洵ニ私ハ満足シタ御答辯
ヲ承ッテ喜ンデ居リマス、サウシマス
尙ホ續イテ承リタイノデスカ、産業ノ
發達ニハ關稅ヲ増徴スルト云フコトモ
勿論一ツノ有力ナ手段デアリマスガ、
同時ニ生産費ノ引下ニ向ッテハ、出來得
ルダケ合理的ノ手段ヲ執ルト云フコト
モ、是ハ極メテ必要ナコトデアラウト
思ヒマス、其關稅ノ増徴ノ程度ハ、餘
リ多クナリマスト云フト、却ッテ産業合
理化ノ促進ヲ妨ゲル虞ガアルヤウデア
リマス、デ其程度ハ極メテ面倒ナコト
デハアルマイカ、詰リ産業合理化ノ促
進ヲ妨ゲナイ程度ニ於テ、産業ヲ保護
スルト云フ程度ヲ見出スト云フコトハ
極メテ困難デアラウト思フノデアリマ
ス、申ス迄モナク關稅論者ノ中ニハ、
所謂「サイエンスチックタリフ」ノ方
針ヲ採ルト云フヤウナ論モ大分アリマ
スノデ、私ナンカハ所謂科學的關稅制
度、サウ云フ主義ノ下ニ此程度ヲ御決
メニナツタモノデアラウカト想像ス
ルノデアリマスガ、其點如何デスカ

○堀切政府委員 産業保護振興ノ爲ニ
ハ、生産費ノ引下ト云フコトニ努力致

シ、産業ノ合理化ヲ促進致サナケレバ
ナラヌコトハ無論申ス迄モナイコトデ
アリマス、唯此産業合理化ニ、餘リ其
方ニダケ主力ヲ注グト、無暗ニ失業者
ヲ餘計ニ出スト云フヤウナコトデ、今
日ハ一時程ニハ産業合理化モ世界的ニ
餘リ流行シナクナッタヤウナ傾モアリ
マスケレドモ、サウ云フ方面ニ十分ナ
注意ヲ以テ之ヲ實行スルナラバ、無論
産業合理化ノ必要ハ十分ニアルノデア
リマス、唯合理化ヲヤツテ、生産費ノ引
下ヲシ、能率ヲ増進セシメナクチャナ
ラスノデアリマスガ、今日ノ儘ニ關稅
ヲ放任シテ置キマスルト云フト、合理
化ガ著手サレナイ前ニ、或ハ合理化ノ
マダ行ハル、過程中ニ於テ、多クノ産
業ハ死滅シテシマフ虞ガアルノデアリ
マス、殊ニ諸外國ハ、經濟界ノ非常ナ
ル不況ト恐慌ニ襲ハレテ居リマスガ
ラ、少シデモ輸出ヲ増進シヨウト云フ
ノデ、非常ナ激シイ貿易上ノ競争ヲ我
國デハ受ケテ居ルノデアリマス、所謂
「ダンピング」ガ殆ド極端ニ是ガ走ッテ
居ルヤウナ形勢ガアルノデス、斯ウ云
フノデ一面關稅ヲ保護シテ障壁ヲ築イ
テ置キマセヌト云フト、産業ノ合理化
ニ著手シ、之ヲ實行スル前ニ、多クノ
産業ハ死滅シ、其結果日本ノ經濟界ニ
容易ナラヌ惡影響ヲ及ボス、斯様ニ考
ヘマシタノデ、私共ハ先ヅ今日提案致

シマシタ位ノ關稅ノ保護デアルナラ
バ、世界ノ狀況ニモ照ラシマシテ、決
シテ重キニ過グルモノトハ考ヘマセ
ヌ、即チ適當ノ提案デアラウト考ヘテ
此案ヲ提出シタ所以デアリマス

○武田委員 私人承知シテ居ル所ニ依

レバ、此度御提案ニナッタ改正案ハ、前
内閣當時ニ立案セラレタ其儘ノヤウニ
承知シテ居ルノデアリマスガ、サウス
ルト前内閣當時ニ立案セラレタルモノ
ハ、是ハ私ノ承知スル所ニ依レバ、政
友會ノ所謂五箇年計畫ニ基イテ、此五
箇年計畫ノ實現ノ一ツノ手段トシテ立
案セラレタヤウニ私ハ承知シテ居ルノ
デアリマス、多分サウデアラウカト存
ジマスガ、左様ナモノトシテ伺フノデ
アリマス、サウ致シマス、政友會ノ産
業五箇年計畫ナルモノハ、申スマデモ
ナク外國カラ現在輸入シテ居ル品物ノ
中デ、現在日本デ出來ル物、若クハ少
シク改良ヲ加ヘレバ出來得ル物ト云フ
ノヲ基本トシテ、昭和四年ノ計算デハ
六億圓ノモノガ外國カラ入ッテ來ル、ソ
レガ内地ノ生産デ、ソレニ充當シ得ル
モノ、斯ウ云フ建前カラ成ッテ居ルノ
デアリマス、然ルニ昨年ノ——昭和六
年ノ計算ニ依リマス、是ハ商工省ノ
御調ニナッタモノデ、國產品ヲ以テ代用
シ得ベキ輸入品調ト云フモノヲ見マス
ルト、昭和四年ハ政友會ノ調ト相似テ

六億ニナッテ居ルノデアリマス、ソレガ
昭和六年ニハ三億ニナッテ居リマス、是
ハ物價下落ノ結果デアリマセウガ、假
ニ三億ト致シマシテモ、其一割ヲ増徴
致シマスルト、三千萬圓ト云フモノガ
優ニ出ナケレバナラヌ筈デアリマス、

然ルニ此度ノ關稅全體ノ增收ト云フモ

ノハ、此大局觀カラ見テ餘リ少イヤウ
ニ私ハ思ッテ居ルノデアリマス、ドウシ
テモ此産業五箇年計畫ハ、外國カラ輸
入シテ居ルモノヲ内地ノ生産防禦ス
ルノニハ、少クモ平均ニ於テ一割位ノ
關稅率ヲ増加セズシテハ、此産業五箇
年計畫ノ趣旨ヲ實現スルコトハ困難デ
ハナイカ、サウ云フ意味カラ考ヘテ見
マスルト、此增收額ハ少シク少キニ失
シテ居ハシナイカト云フヤウナ感ジガ
スルノデアリマスガ、此改正案ヲ伺ッテ
見マスルト、增收ニナッテ居ルモノハ十
九種ニ互ッテ居ルヤウデアリマス、政
友會ノ五箇年計畫ハ御承知ノ通りニ、
全體ニ互ッテ關稅ヲ増徴シヨウト云フ
モノハ二十九種ニ互ッテ居ルノデアリ
マス、サウスルト金額ノ少ナイノハ率
ノ如何ヨリハ増率スベキ品物デ、モット
加フベキモノヲ加ヘナイ、即チ増率ノ
範圍ガ極メテ狭少デアッタ結果デナカ
ラウカト云フ私ハ疑ヲ持ッテ居ルノデ
アリマスガ、其點ヲ一ツ御説明ヲ伺ヒ
タイ

○堀切政府委員 御説御尤デアリマ
ス、尙此外ニモ保護ヲ加フベキモノガ
相當ニ私ハアルダラウト考ヘテ居リマ
スガ、何分此臨時議會ニ急速ニ提案シ
ナケレバナラナカッタノデ、調査マダ十
分行届カナイ點モアリマス、又私共ガ
之ニ加ヘタラ宜カラウト思ヒマシテ
モ、モウ少シ調査ノ必要ガアルト云フ
ノデ態々控ヘタノモアルノデアリマ
ス、尙ホソレ等ノ點ニ付テハ、次ノ通
常議會ニ於テ相當ノ考慮ヲ加ヘナクチ
ヤナラスト考ヘテ居リマス、稅額ノ方
デスガ、千六百萬圓ト計上致シテ居リ
マスノハ、七月カラ三月マデ、即チ九
箇月間ニナリマス、直グニ實行致シマ
ストシテ、九箇月間ニナルサウデアリ
マス、ソレデスカラ千六百萬圓、一年
間ヲ通ジマスルト云フト尙ホ是ガ増加ス
ルコトハ無論ノコトデス、同時ニ尙ホ
其他ノモノデ拔ケテ居ル物モ相當ニア
リマスルカラシテ、御説ノ如ク三億圓
ノ一割、三千萬圓位ノ増徴ニナルト云
フ御考ニハ大體私共モ一致スルダラウ
ト思ヒマス

○武田委員 大體諒承致シマシタガ、

サウシマス尙ホ少クトモモウ十品位
ノ物ニ相當ノ増率ヲ爲サルモノト思ハ
ナケレバナラヌノデスガ、是ハ私ガ言
フマデモナク關稅ノ改正ノ際ニ當ッテ
ハ、兎角見越輸入ガ行ハレルノデアリ

マスカラ、關稅ヲ改正スルト云フヤウナ場合ニハ、出來得ルダケ全般ニ互ッテヤラナイト云フト、見越輸入ノヤウナ弊ガアラウカト思フノデアリマスガ、ソレ等ノ點ニ付テ相當ノ御考ノアルコト、思フノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○堀切政府委員 關稅ノ改正ニ伴ッテ、常ニ見越輸入ノ生ジマスルコトハ御説ノ通りデアリマス、隨テ尙ホ其上ニ此稅率改正ノ必要ガアルダラウ、或ハ只今既ニ調査中ノモノデモ、是ハドウ云フモノヲ更ニ今度ハ追加シナケレバナラヌカト云フヤウナコトニ付キマシテハ、是ハ豫メ公表スル譯ニハ參ラナイノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○武田委員 次ニモウ一ツ二ツ御伺致シマス、昨日來中島君ト堀切政務次官ノ質問應答中、モ少シハッキリシナイヤウデシタガ、私モマダハッキリシナイヤウニ思フノデスガ、詰リ爲替相場ヲ安定サセルコトハ困難デアルト云フヤウナ昨日ノ御議論デアリマシタガ、サウデアリマスト云フト、爲替相場ハ下ッタカラ、其程度ニ於テ三割五分ヲ一律ニ増加スルコトニ相成ッタノデスカラ、私ハ其點ニ於テハ無論異論ガナイノデスガ、ソコデ爲替相場ヲ安定シナイト云フコトニナルト、ドウモ論理ガ一貫シナイコトニナルノデス、ソレナラバ伸

縮關稅ヲ設ケタラドウカト云フコトニ付テハ、今調査中デ、ドウナルカ分ラナイ、斯ウ云フ御話デスガ、假ニ伸縮關稅ガ來年行ハレルヤウナコトガアルト致シマシテモ、其間ハ始終爲替ノ變動ニ依テ輸入品ノ値段ガ違フ、サウスルト爲替ガ下ッタカラ三割五分一律ニ課稅シタト云フコトノ意味ガドウモナクナルヤウニ思フノデスガ、ソレデハハ平價ノ切下ト云フヤウナコトハ、他ノ意味カラモ今大分議論サレテ居ルノデアリマスガ、私等ハ此場合何レノ方面カラ見テモ、斷乎トシテ平價ノ切下ヲスベキ時期ダト思ッテ居ルノデアリマスガ、關稅ノ方面カラ見マシテモ、私ハ適當ノ所デ新平價ヲ定メマシタナラバ、例ヘバ今三割五分ガ適當デアルトシテ、三割五分一律ニ御上ゲニナッタモノデアリマスルナラバ、三割五分デモ宜シイノデアリマセウガ、適當ノ程度デ新平價ヲ御定メニナレバ初メテ爲替ノ安定ガ出來テ一律ニ三割五分増率サレタト云フ趣旨ガ明ニナルヤウニ思ヒマスルガ、其點ニ向ッテ如何ナル御考デアリマセウカ、一應承リタイト思ヒマス

○堀切政府委員 新平價ト云フヤウナコトハ、何分問題ガ非常ニ大キクナリマスノデ、サウ云フ問題ニ付テハ私カラハ何トモ申上ゲ兼ねマス、サウシテ

爲替ガ變動スルデヤナイカ、之ヲ安定セシメヨウト思ッテモ非常ニ困難デアラル、然ラバ此稅額モ始終安定シナイデヤナイカト云フヤウナ御趣旨ノヤウデアリマスガ、只今ノ所デハ、先ヅ三十二弗ヲ中心トシテ、上ッタリ下ッタリシテ居ルヤウナ有様デアリマスカラ、現在此改正ヲスルノニハ、先ヅ三十二弗ヲ標準トスルヨリ外アルマイデヤナイカ、斯様ニ感じタノデアリマス、將來内外ノ經濟狀態ニ依テ、非常ナ大變動ヲ及ボスヤウナ場合ニハ、更ニ改メテ考慮シナケレバナラヌコトハ無論ノコトデアリマス、所謂當分ト云フ意味ハ其邊ニアルコト、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、新平價等ノ問題ハ、私カラ申上ゲルニハ餘リニ問題ガ大キ過ギマスカラ、是ハ御勘辨ヲ願ッテ置キマス

○武田委員 爲替ノコトニ關聯シテモウ一ツ材木ニ關スルコトデアリマスガ、序デスカラ承リタイ、爲替ガ下ッタ爲ニ輸入品ガ値上リスル、ソレデ關稅ヲ増徴スルト云フ趣旨ニナッテ居リマスカラ、此點ニ向ッテ勿論何等ノ異存ハアリマセヌ、然ル所滿洲方面カラ這入ッテ來ル材木、殊ニ豆滿江方面カラ這入ッテ來ル材木ニ付テモ、同ジク一律ニ從量稅三割五分ノ増徴ニナッテ居ル、所ガ間島、詰リ豆滿江方面カラ這入ッテ來

ル材木ハ、御承知ノ通りアノ方面ハ殆ド日貨、朝鮮銀行ノ兌換券ガ通用シテ、決シテ爲替ノ關係デ、値ガ上ッテ居ラナイノデアリマス、然ルニ滿洲方面カラ這入ッテ來ル材木ニ付テハ、何等ノ特例ヲ設ケテナイノデアリマスガ、是ハドウ云フ譯デアリマセウカ、是デハアノ方面ノ材木業者ハ非常ニ不利ナ立場ニ立ツト思ッテ居リマス、殊ニ間島ハ地域ハ滿洲デアリマススケレドモ、彼處ニハ我ガ國民ガ、確カ四十萬ダツタカ居リマス、ソレニ對シテ滿洲人ハ僅ニ八萬シカ居ナイ、隨テ企業ハ總テ日本人ガヤッテ居ル、即チ朝鮮人、我ガ國民ガヤッテ居ル、資金モ日本カラ出シテ居ル、勞働者ノ大部分モ日本人デアリ、殆ド内地ノ事業ト變ラナイ事業デアル、サウ云フ仕事ニ對シテ、他ノ南洋其他カラ這入ッテ來ル材木ト同様ノ扱ヒヲサレルト云フコトハ、爲替ノ今申シタヤウナ關係カラ申シテモ、内地ノ産業ヲ保護スル意味カラ申シテモ、洵ニ片手落ノコトデアアルマイカト思ヒマスガ、其點ヲ御説明願ヒタイト思フ

○堀切政府委員 材木ノ關稅ノコトニ付テハ、私共深ク考慮シナクテハナラヌト考ヘテ居リマスガ、何分材木ト云フモノニ對シ、日本國デハ直接間接ニ稅ヲ非常ニ餘計ニ課ケテ居リマス、例ヘバ北海道、東北地方、或ハ武田君ノ御

國許ナドデモサウダラウト思ヒマス
ガ、第一ニハ地租ガ課カル、材木ヲ伐

リマスカラ、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒ
マス

タ方ガ宜イノデアリマスカラ……
○堀切政府委員 一寸私カラ足りナイ

ガ、其質問者ニハ順序ニ從ッテ大體其
質問ノ順序ガ廻ッテ來タラ、ソレヲ終ッ

採スレバ、伐採ノ所得稅ガ課カル、或
ハ營業稅モ課カル場合モアリ、地方ヘ

○武田委員 只今ノ御答辯ハ、私ノ質
問ト實ハ違ッテ居ルノデス、私ハ今堀切

所ヲ申上ゲテ置キマス、爲替ガ少シモ
上ッテ居ラナイ所ニモ、三割五分課ケル

テ、其關聯シタ事項ニ付テ質問スル場
合ニハ、サウ長ク時間ヲ取ラナイ程度

行ッテハ附加稅ガ課カリ、特別稅ガ課カ
ル、ソレカラ材木ヲ伐ッテ川ヲ流セバ、

次官ノ御話ノ如クニ、日本ノ林業經營
ノ上カラ言ッテ、輸入材ニ關稅ヲ課ケル

ノハ不當ダト仰シヤイマスガ、今回ノ
金ニ對スル三割五分ハ、或ハ實際上ハ

ク御濟マシヲ願ッタ方ガ議事進行上私
ハ都合ガ好イト思フ、ドウカサウ云フ

村ニ依テハ通過稅ノヤウナモノヲ課ケ
ル、先達テ本多林學博士ノ話ヲ聞キマ

江ノ特殊ノ取扱ガアルト言ハレマス
レドモ、是ハ詰リ關東廳カラ相當ノ保

居ッテ、其貨幣ト日本ノ圓トドウ云フ風
ニナッテ居ルカト云フコトハ、全然眼中

○東委員長 承知致シマシタ、サウヤッ
テ行キマス

ノ課カル材木ガアル、是等ノ材木ハ皆
政府或ハ地方、日本ノ國土ノ爲ニ相當

護ガアルト云フ事實ヲ私ハ承知シテ居
リマスガ、ソレ以外ニ私ハ特殊ノ取扱

ニ對シテハ五割四分、内割デ言ッテ三割
六分、磅ニ對シテハドレ位、比律賓ヤ

コトハ、私モ能ク承知致シテ居リマス、
サウ云フ意味ニ取ッテハ何等ノ疑ヲ私

マデハ、國土ニナッテモ貢獻致サヌト云
フノト、兩方比較シテ内外ノ材木ニ對

ガアルトハ聞イテ居リマセヌ、私ノ伺
ヒタイノハソレデハナイ、先程申シタ

南洋デ使ッテ居ル「ペソ」ニ對シテハド
ウナル、或ハ印度ノ「ルーピー」ニ對

ハ持ッテ居ラナイノデアリマス、滿洲材
即チ間島方面ハ銀ヲ用ヒテ居ルト云フ

スル待遇ガ公平ヲ失スル、斯様ニ考ヘ
テ居リマスルノデ、私共ハ矢張材木ニ

詰リ間島ヲ中心トシテ居ル方面カラ日
本ニ入ッテ來ル材木ニ對シテハ、朝鮮銀

唯今日ハ主トシテ對米爲替ガ世界的ノ
爲替ノ標準ニナッテ居ルヤウナ譯デア

ヒラレテ居ルノデアリマスカラ、日本
内地ノ爲替ト何等異ナル所ハナイ狀態

對シテモ相當ノ輸入稅ヲ課ケルノハ決
シテ不條理デハナイト考ヘテ居リマス、

行ノ兌換券ガ通用サレテ居ルノダカ
ラ、爲替ガ下ツタカラト云ッテ何等利益

リマスカラ、之ヲ押ヘマシテ其上ツタ大
小等ハ間ハナカッタノガ今度ノ案ノ本

フカラ其點ヲ伺ッタノデアリマス
○堀切政府委員 日本ノ圓ヨリモ、モッ

併ナガラ今ノ滿洲ニ關係ノ問題ハ、特
殊ノ事情ガアリマスルノデ、現ニ其一

テ居ル以上ハ、爲替ガ下ツタ爲ニ向フハ
値段ガ上ッテ得ニナルト云フコトハ少

○東委員長 倉元サン、之ニ關聯シテ
何カアリマスカ

ト下ガッタ國カラモ取リマス
○武田委員 同ジ圓ヲ使ッテ居ルノデ

マシテハ特殊ノ取扱ヲ致シテ居ルノデ
アリマス、是レト同ジ待遇ヲ希望スル

イデ、他ノ爲替ノ下ツタ國カラ入ル輸
入品ト同一ノ課稅ヲサレルト云フコト

○倉元委員 議事進行ニ付テ私ノ希望
ヲ述ベタイト思ヒマス、御承知ノ通り

アリマスカラ、別ニ爲替ガ下ガッタカラ
ト云ッテ稅ヲ上ゲル必要ハナイデヤナ

○武田委員 農林當局カラ事實ヲ一寸承レバ宜イノデス

○東委員長 ソレハ拓務省ダサウデス

○武田委員 農林省ノ方デ案ヲ立テラレタノダカラ、其邊ハ攻究シテアルノデヤナイカト思フ

○東委員長 攻究シテナイサウデス

○永田委員 一寸議事進行ニ付テ、今ノ武田君ノ御話モ、關東廳邊リノ人ニ聽イテ貰フタ方宜イト思ヒマス、ソレハ別ト致シマシテ、只今倉元君ノ議事進行ノ御話モアリマシタガ其通りデアリマス、併シ中ニ此二ツノ法案ハ大キナ問題デ、武田君ノ御話ノヤウナ從量稅ニ一律増稅ヲスルト云フコトデハ、中ニハ隨分總論的ノ御意見ガ澤山アルダラウト思フ、二十九品目ノ改正ニ付テモ中ニ問題デアル、サウ致シマスカラシテ、此委員全部ガ質問ヲ持ッテ居ルカドウカト云フコトモ事實疑問ナノデ、隨分御迷惑ナ方モアリカモ知ラヌ、從テ別ニ此議會ガ朝野兩黨ニ分レテ論難攻撃シテ行カウト云フ譯デモナイ、事實ヲ事實トシテ確メテ行カウ、斯ウ云フ點デアラウト思ヒマスカラ、御用濟ミノ方ハ委員ノ方デモ御歸リヲ願フテモ一向差支ナイ、聽キタイト思フ者ガ殘ッテ居ッテ勉強スレバ宜シイト思ヒマスカラ、委員長ハ甚ダ御迷惑デセウガ、政府委員ノ方モ御迷惑デセウガ、

是ハ職務上已ムヲ得マセヌ、何時モ關稅委員會其他ハ、夜モ開クノデアリマスカラ、御用ノ多イ方ハ御歸リヲ願フテ、若シ委員長御用ガアレバ歸ッテ戴イテ、マア餘リムヅカシイ喧嘩モナイカラ他ノ方ニ願フテ、夜十時位マデ開イテ、成ベク早く濟ムヤウニ御取扱ヒ願フタ方宜イト思フ、御都合ノ惡イ委員諸君ニハ御歸リヲ願フテ、スレバ別ニ御迷惑モナイダラウト思ヒマス

○東委員長 其積リデヤッテ居リマスカラ宜シイ、議事進行ノ發言ヲ中止スルトカ、或ハ何カ打切ヲスルト云フコトハアリマセヌ、唯會期ガ短イカラ折角審議シテ貴族院ニ持ッテ行ッテモ、審議ノ餘日ガナイト困ララウト思ヒマスカラ、贊成スル者モ反對スル者モアリマスガ、大體ニ於テハ今日ノ國家ノ狀況カラ見テ、矢張一日モ早く通過スベキモノハ通過サセテヤラナケレバナラスト思ヒマスカラ、ソレデ出來ルダケ勉強シテヤリマス

○永田委員 今晚モオ開キニナルヤウニ願ヒマス

○武田委員 今ノ問題ニ對シテ委員長御願シマス

○東委員長 山林局長ニ午後來テ貰フヤウニ御願シマス

○武田委員 私ハ南洋材ノコトモ聽キタイコトガアルノデス

○東委員長 今武田君ノ御答辯ヲ拓務省ノ政府委員ガ致シマスカラ

○北島政府委員 吉林省ノ方面デハ朝鮮銀行券ガ流通シテ居ルカラ、爲替相場ノ關係ガナイヤウニ思フガドウカト云フ御質問デアリマスガ、御承知ノ通り滿洲デ朝鮮銀行券ガ流通シテ居ルコトハ事實デアリマス、一方又支那ノ銀券其外ノモノガ流通シテ居リマス、ソレデ爲替相場ノ關係上、ドウモ銀ガ下リマシテ、銀票或ハ銀貨トノ開キガ相當出來タ譯デアリマス、從來日本人同志ノ間ノ取引トカ、サウ云フモノニ付キマシテハ、日本銀行券、朝鮮銀行券ガ使ハレルノデアリマスケレドモ、支那ノ苦力トカ、或ハ下層ノ朝鮮人ニ對スル支拂ヒ其外ニ付キマシテハ、銀ヲ以テ支拂フト云フ從來ノ實情ニナッテ居リマス、是ハ滿鐵其外ノ從來ノ勘定ニ致シマシテモ、金貨ヲ以テ計算ヲシテ居リマスケレドモ、勞働者其外ニ對スル賃銀ノ支拂ハ、從來矢張銀ヲ以テ支拂フトコトニナッテ居リマス、ソレデ吉林省方面ノ木材及鴨綠江方面ノ木材ニ對シマシテモ、矢張勞働者ニ對スル賃銀其外ノ支拂ハ主トシテ銀ヲ以テヤッテ居リマスカラ、爲替相場ノ關係モ從テ多少起ッテ來ルダラウト思ッテ居リマス

○武田委員 滿洲全體ト致シマシテハ、只今ノ御説明ノ通りデアラウト私

モ承知シテ居リマス、併シ私ノ主トシテ伺フノハ、間島ヲ中心トスル豆滿江流域ノ木材ニ對シテ伺ッテ居ルノデアリマスガ、私ノ承知シテ居ル所ニ依レバ、先ニモ申シマシタ如ク間島方面ニ於テ、豆滿江方面ノ仕事ニ從事シテ居ルモノハ殆ド朝鮮人デアアル、即チ朝鮮人ガ四十萬人モ居ッテ、支那人ハ八萬人位シカ居ラヌ、ソレデ多少支那人ノ苦力ヲ使ハヌコトモアリマセヌケレドモ、大部分殆ド全部ト言ッテモ宜イ位朝鮮人ガ仕事ヲシテ居ル、サウシテ其資金ヲ「インヴェスト」シテ居ル者ハ殆ド日本人若クハ朝鮮人デアリマス、隨テ其邊ニ流通シテ居ル通貨ハ殆ド全部ト言ッテモ宜イ位朝鮮銀行ノ兌換券ガ通用シテ居ルノデアリマス、サウ云フ事實カラスルト、尠クトモ滿洲全體トシテハ今ノヤウナ御話デアリマシテモ、豆滿江ノ材木ヲ日本ニ送ルト云フコトニ付キマシテハ、日本内地ノ爲替ト事實上異ッテ居ルコトノナイヤウニ承ッテ居リマス、ソレデアリマスカラ私ハサウ云フ狀態デアアルノニ、爲替ガ下ッタカラト言ッテ、之ニ除外例ナシニ一律ニ三割五分モ増稅スルコトハ、其方面ノ營業者ニ取ッテハ非常ナ苦痛デハアルマイカト云フコトヲ伺ッテ居ルノデアリマス、併シ私ノ聞イテ居ルコト、調査シテ居ルコトガ誤ッテ居ッテ、サウデハ

ナイ、他ノ方面ト同ジヤウニ、主トシテ銀建デ總テノ計算ガ出來テ居ルト云フコトデアレバ、ソレハ當局ノ御調査デアリマスカラ、ソレニ信賴スル外アリマセヌガ、尠クトモ私ノ知ッテ居ル範圍デハ、今申シタヤウナ事情デアリマスカラ、其實ハ如何デアリマセウカ、ソレモ伺ヒタイ

○北島政府委員 御話ノ通りニ朝鮮銀行券ヲ勞銀ニ支拂ッテ居ル部分モ多少アルト思ヒマスケレドモ、銀券ヲ使ッテ居ル分モ相當アルト思ヒマス

○東委員長 ソレデ宜イノデスカ

○武田委員 私ハソレハ一寸間違ッテ居ルト思フノデスケレドモ、討論シテモ仕様ガアリマセヌカラ是デ止メテ置キマス

○東委員長 是デ休憩致シマシテ午後一時半カラ開會致シマス

午後零時二十五分休憩

午後一時五十一分開議

○東委員長 是ヨリ開會致シマス

報告事項ガアリマス、津崎尙武君ガ辭任ヲ致シマシテ、青山憲三君ガ補缺ニ選任致サレマシタガ、御異議アリマセヌカ——モウ一ツ、林路一君ガ辭任致シマシテ、杉本國太郎君ガ選任ニナリマシタ、是モ御承認ヲ願ヒマス

○武田委員 午前中ニ滿洲材ノコトニ

付テ御伺ヲシタノデアリマスガ、幸ヒ山林局長ガ見エマシタカラ、モウ一應伺ヒマス、此度ノ從量稅ハ、爲替相場ガ引下ツタ關係上、一律ニ三割五分上ルコトニナッテ居ルノデスガ、其中ニハ勿論滿洲材ガ這入ッテ居ル、滿洲材ノ中ニハ、鴨綠江流域ノ材木ト豆滿江流域ノ材木ガアル譯デスガ、豆滿江流域ノ材木ハ、御承知ノ通りニ間島ガ中心トナッテ居ル譯デシテ、其處ニハ大部分朝鮮人即チ我が帝國ノ國民ガ移住シテ居リ、ソレヲ作業モ大部分朝鮮人ガヤッテ居ル、又資本ヲ投下シテ居ル者モ内地人ガ多クヤッテ居ルヤウニ承ッテ居ル、ソコニ流通シテ居ル貨幣ハ主ニ朝鮮銀行ノ兌換券即チ金券ガ通用シテ居ル譯デス、隨テ爲替ノ關係トシテ、特ニ爲替ガ下ツタ爲ニ對米其他ノ國ニ對スル爲替相場ガ下ツタ爲ニ利益シテ居ル事實ハ毫モナイト思フ、ソレヲ除外セズシテ、一律ニ關稅ヲ課ケラレタノハドウ云フ譯デアラウカ、斯ウ云フ意味ノコトヲ午前中ニ伺ッタ、ソレニ付テ朝鮮總督府ノ政府委員ノ方カラノ御説明ニ依リマス、滿洲デハ朝鮮銀行ノ兌換券モ通用シテ居ルケレドモ、苦力其他ニハ矢張銀ヲ以テ支拂ヲシテ居ルカラ、銀貨國ノ爲替ト同ジ狀態ニナッテ居ルト思ハレル、斯ウ云フ説明デアッタ、私ノ承知スル所ニ依ルト、滿洲全

體トシテハ其通りデアルカモ知レマセヌガ、少クトモ間島方面ノ事實上ノ取引ハサウデナイヤウニ承知シテ居ル、其點ヲ一ツ、此案ハ山林局ノ方デ御取調ニナッテ御立案ニナッタモノト思ヒマ

居リマスノデ、木材ニ直接關聯致シマシテ、山林局ニ於テ立案ヲ致シタ譯デハ實ハアリマセヌ、間島方面ノ稅率ノ緩和ト云フヤウナコトニ付キマシテハ、從來トモズツト拓務省ノ方デ御取扱ヒニナッテ居リマスノデ、現ニ此前ノ關稅ノ引上ノ際モ、御承知ノ通り拓務省デ御取扱ニナッテ居リマスノデ、拓務省ノ方ニ於キマシテ何等カノ御考ガアルノデハナイカト思ッテ居リマス、直接ニハ私共ハ能ク其邊ノ關係ヲ承知シテ居リマセヌ、只今拓務省ノ方ヲ呼ビニ行カレテ居リマスカラ、其御出デノ時御尋ヲ願ヒマス

體トシテハ其通りデアルカモ知レマセヌガ、少クトモ間島方面ノ事實上ノ取引ハサウデナイヤウニ承知シテ居ル、其點ヲ一ツ、此案ハ山林局ノ方デ御取調ニナッテ御立案ニナッタモノト思ヒマ

所ガ間違ッテ居ルトスレバ、ソレデ宜イデスガ、私ノ承知シテ居ル所ニ於テハ、今申上ゲルヤウナコトガ事實ダト「思ッテ居リマスガ、現ニ間島ニ於テハ、殆ド住民ノ大部分ガ朝鮮人デアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、是ガ四十萬カラ居ル、支那人ハ僅ニ七八萬シカ居ナイ、勿論多少支那人ノ苦力モ入ッテ居ル、斯ノ如ク大部分ハ朝鮮人ヲ使ッテ居ルト云フコトガ事實ノヤウニ私ハ聞イテ居ル、又其木材ノ伐採竝ニ内地ヘノ輸入モ、大部分日本人若クハ朝鮮人ノ手デヤッテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、サウシマスト是ハ間島材ト言ヒマスカ、豆滿江材ト言ヒマスカ、ソレハ今

○武田委員 然ラバソレハ後ニ廻ハスト致シマシテ、モウ一ツ木材ノ事ニ關シテ序ニ承リタイト思ヒマス、ソレハ南洋ノ「ラワン」材、ソレヲ除外サレタノハドウ云フ理由ニ依ルノデセウカ

○東委員長 是デ休憩致シマシテ午後一時半カラ開會致シマス

○東委員長 ソレモ拓務省ノ政府委員ガ來マシタ上デ聽イテ下サイ

○小笠原委員 今度ノ高粱及玉蜀黍ノ關稅ノ引上又ハ課稅ニ付テハ、當然養鷄用ノモノハ除外サレテ居ルコト、思ヒマスガ、果シテ除外サレテ居ルカドウカト云フコトヲ判然ト承リタイノ

○長瀬政府委員 御話デアリマシタカラ私ガ立チマシタノデアリマスガ、實ハ此三割五分ノ課稅ト云フコトハ、私共承ッテ居リマスノデハ、從價稅ト從量稅ノ權衡ヲ採ル爲ニ一律ニ是ハヤッテ

○小笠原委員 今度ノ高粱及玉蜀黍ノ關稅ノ引上又ハ課稅ニ付テハ、當然養鷄用ノモノハ除外サレテ居ルコト、思ヒマスガ、果シテ除外サレテ居ルカドウカト云フコトヲ判然ト承リタイノ

ウカト云フコトヲ判然ト承リタイノ

○長瀬政府委員 御話デアリマシタカラ私ガ立チマシタノデアリマスガ、實ハ此三割五分ノ課稅ト云フコトハ、私共承ッテ居リマスノデハ、從價稅ト從量稅ノ權衡ヲ採ル爲ニ一律ニ是ハヤッテ

○小笠原委員 今度ノ高粱及玉蜀黍ノ關稅ノ引上又ハ課稅ニ付テハ、當然養鷄用ノモノハ除外サレテ居ルコト、思ヒマスガ、果シテ除外サレテ居ルカドウカト云フコトヲ判然ト承リタイノ

ウカト云フコトヲ判然ト承リタイノ

タ趣旨モ無駄ニナルヤウニ考ヘマスノ
デ、ドウ云フ取扱方法ヲナサルカ、其
邊ガ一寸承リタイト思ヒマス

○村上政府委員 玉蜀黍ト高粱ニ關稅
ヲ課シ、或ハ之ヲ引上ゲル趣旨ハ、内
地ノ澱粉業及ビソレニ伴フ産業ノ保護
ニアルノデアリマスカラ、此關稅ヲ引上
ゲ或ハ設定ヲスルニ際シマシテハ、養
雞業者ニ對スル影響ト云フコトニ付キ
マシテモ色々考慮ヲ致シタノデアリマ
ス、御承知ノヤウニ現在ノ所デハ、輸
入セラレテ參リマス高粱ニ致シマシテ
モ、玉蜀黍ニ致シマシテモ、大部分ガ
是ハ養雞ノ飼料ニナツテ居ルノデアリ
マス、ソコデ養雞業者トノ利害ノ調和
ト云フ風ナ點ニ付キマシテ、農林當局
及大藏當局ニ於キマシテ色々攻究ヲ致
シマシタノデアリマスガ、現在ノ所デ
ハ斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、高
粱及玉蜀黍ニ極ク簡易ナ方法デ出來ル
ヤウナ加工ヲ致シマシテ、他ニ轉用ノ
出來難イ、サウ云フ風ナコトノ出來ナ
イヤウニ致シマスルト共ニ、養雞業ノ
團體、或ハ全國購買組合聯合會、是ハ
産業組合ガ組合員ニナツテ出來テ居ル
全國ノ團體デアリマス、基礎組合員
ガ二百八十萬人程アリマス、全部養雞
業者ト云フ譯デアリマセヌ、其中ニ
ハ養雞業者モアリマス、又養雞業者ノ
方デ作ツテ居ル團體ニ、養雞組合中央會

ト云フモノガアリマス、是ニハ養雞ヲヤッ
テ居ル人ガ相當澤山入ッテ居リマス、是
等ノ團體ガ或ル程度ノ加工ヲ致シマシ
テヤリマスナラバ、ソレハ飼料トシテ
取扱フ、從ヒマシテ高粱ハ御承知ノ通
リ從來無稅デアアル、玉蜀黍ニ付キマシ
テハ、現在三十錢掛ッテ居リマスガ、ソ
レモ飼料トシテ取扱ヒマスガ故ニ稅ハ
掛ラナイ、ソコデ其加工ノ方法ガ非常
ニ金ヲ要スルモノデアリマスナラバ、
折角左様ナ特典ヲ考ヘマシテモ、ソレ
ガ特典ニナラナイコトニナリマス、ソ
コデ加工ノ方法ニ付テ色々考ヘテ見タ
ノデアリマス、丁度畜産試驗場ニ於キ
マシテ、飼料トシテノ小麥ノ加工ニ付
テ、從來研究ヲ色々致シテ居リマス、
其方法ヲ應用致シマシテヤッテ參リマ
スト、餘リ費用ガ掛ラナイデ、サウシ
テ其操作モムヅカシクナク行ケル方
法ガアル、ト云フ風ナコトデゴザイマ
シタノデ、其方法ニ依リマシテ、養雞
業者ニ對スル打撃ヲ緩和シテ參ル、即
チ飼料トシテ取扱ヒマスルガ故ニ、高
粱ハ現在ノ通り飼料ニナルモノハ無
稅、玉蜀黍モ矢張ハ無稅ニナル、斯様
ナ取扱ヲ致スコトニ兩省ニ於テ協議ヲ
進メテ居リマス

○小笠原委員 洵ニ結構デアリマス
ガ、著色其他ニ百斤當リ凡ソドレ位ノ
費用ガ要ル御見込デアリマセウカ、極
ク概算デ結構デスガ、一寸御伺シタイ
○村上政府委員 此百斤當リノ費用ノ
計算デアリマスガ、是ハ加工設備ノ規
模其他ニ依テ色々アリマセウカラ、一
律ニ申上ゲルコトハ是ハ無理ガアルカ
モ知レマセヌガ、大體ニ於テ先ヅ二十
錢以下デアガルノデハアルマイカ、尙
ホ其後研究ヲ進メテ、現在モ色々安ク
上ル方法ヲ研究シテ居リマス、ソコデ
加工ノ材料ナドヲ成ベク少ク使ッテ、有
利ニヤレルヤウニト云フノデ、現在ノ
所デハ二十錢以下デ行ケルヤウニ考ヘ
テ居リマス、尙ホソレヲ經濟的ニ加工
スル方法ニ付テハ、今後ト雖モ其研究
ヲ進メテ參ル積リデアリマスガ、現在
ノ所デハ二十錢以下デ先ヅ行ケルノデ
ハアルマイカト云フ目安ガ立ッテ居リ
マス

○小笠原委員 今ノ三十錢ノ玉蜀黍ガ
全然無稅ニナルト云フ點ハ洵ニ結構デ
アリマスガ、サウ云ツタ方法デ、全然無
稅デアツタモノガ玆ニ新シク二十錢掛
ルト云フコトハ、現在ノ養雞業ノ狀況
ニ顧ルト相當重イ負擔ノヤウニ考ヘラ
レマスガ、モウ少シ簡便ナ方法デ、取
扱業者ガ證明スル證明書ダケデ行ケル
ト云フヤウナ、モウ少シ農業者ノ今ノ
立場ヲ了解サレタ簡便ナ方法ヲ御攻究
ニナルト云フコトニハ參ラヌモノデア
リマセウカ、一寸其點ヲ御伺致シマス

○中島政府委員 只今ノ御尋ニ對シテ
御答致シマスガ、只今畜産局長カラ御
說明ノ通り、此玉蜀黍ト高粱ニ付テハ、
私共實ハ非常ニ研究ヲ遂ゲタノデアリ
マス、併シ何分ドウモ同ジ物ヲ別ナ扱
ヲセヨ、物質的ニ變ッテ居ルナラバ宜
シウゴザイマス、所ガ客觀的ニ見タ同
ジ玉蜀黍デ、右ノ方ニハ無稅トセヨ、
左ノ方ニハ相當ニ高イ稅ヲ掛ケルト云
フコトハ、殆ド不可能デアルヤウニ感
ジタノデス、併ナガラ、昨年カラ御承知
ノ通り、此玉蜀黍ナリ高粱ニ對シマシ
テハ、一面ニ於キマシテ非常ナ御希望
ガアリマス、又一方カラ考ヘマス、
養雞ノ飼料トシテ之ヲ引上ゲルト云フ
コトハ、痛シ痒シノ狀態ニアリマス、
併シ何カ此間ニ緩和ノ方法ガナイカト
云フコトデ、畜産局ト十分協議ヲ遂ゲ
マシタ結果、只今御說明ノ通り、客觀的
ニ見マシテ、是ハ普通ノ玉蜀黍ト違フ、
普通ノ高粱ト違フノデ、加工ヲ施シマ
シテ其結果之ヲ飼料トシテ取扱フト云
フヤウナコトニ致シタノデアリマス、
併シ之ヲ只今御話ノヤウニ、輸入申告
者ノ申告ガアリマスレバ、誰ガ來テモ
其人ヲ信用シテヤルト云フコトニナリ
マスレバ、結局保稅工場ナド、云フコ
トハ要ラナイコトニナル、ソレガ理想
デアリマスケレドモ、實ハドウモサウ
云フ譯ニ行カヌデアラウト思ヒマス、

併シ出來得ル限り便宜ナ方法ヲ講ジマシテ、無理ガ行カナイヤウニ努メタイト思ヒマス、只今ノ所デハドウモソレ以上ノ智慧ガ出ナイノデアリマス、是ダケ御答致シマス

○小笠原委員 自動車ノ問題ニ付一寸御尋致シマス、私共モ此自動車ノ部分品ノ關稅引上ト云フコト、及内燃機ノ從量稅ガ從價稅ニナルト云ッタヤウナ、二ツ合セテノ問題デアリマスガ、是ハ何レニシテモ國產自動車ノ健全ナル發達ヲ希望スルト云フ意味合デ、國產自動車ノ狀況ガサウ云フ所マデ進シデ居ルナラバ、私共何等之ニ對シテ異存ヲ插ム者デアリマセヌガ、今日ノ狀況カラ見ルト、少シ是ハマダ時機ガ早イノデハナイカ、ソレニ付テハ一箇年現在國產自動車ガ車別ニシテ、例ヘバ乗合自動車、或ハ「トラック」、乗用自動車ト云フヤウナ工合ニ別ケテ、ドレダケノモノガ生産サレテ居ルカト云フコトヲ一ツ御伺申上ゲタイ、ソレカラ又サウ云フ風ニ車別ニシテ、是カラドウ云フヤウナ計畫ガ起ツテ居ルカ、ドレ位將來造ラレル見込ニナツテ居ルカト云フヤウナコトモ一ツ御伺申上ゲタイト思ヒマス、ソレカラ第二ニ、結局此關稅ノ引上ト云フコトハ、自動車業者ニ非常ナ打撃ヲ與フルコトニナルダラウト思ハレマスガ、ソレニ對シテハドウ

云フ風ニ御考ニナツテ居ルカ、ソレカラ第三ニ斯ウ云フ引上ト云フコトハ、結局吾々民衆ノ負擔ニ轉嫁セラレルコトニナツテ、結局ハ賃金ナリ乘客ノ負擔ガ引上ゲラレルコトニナル、サウ云ッタ場合ニ、交通政策上及產業政策上、甚ダ不利益ヲ免レナイト思フガ、ソレ等ニ對シテドウ云フ御考デアルカト云フコト、ソレカラ又第四ハ、現在部分品ナリ又「エンデン」ナリガ、日本ニ入ッテ組立テラレテ居ル數ハ相當多量ニ上ッテ、年ニ二三萬位ニモ及ブ時ガアルヤウデアリマスガ、斯ウ云フ事業ガ、ソレガ爲ニ衰滅ニ歸スルコトハナイカ、例ヘバ材料ヲ買ッテ居ルトカ、高級貨銀ヲ拂ッテ居ルト云フヤウナコトガアルトスレバ、ソレ等ニ對シテモ損害ヲ與ヘルコトハナイカ、之ニ對シテモ御考ヲ伺ヒタイ、ソレカラ又是ハ私共ノ意見デアリマスケレドモ、今日ハ自動車ハ普及時代デハナイカト思フ、モット自動車ガ普及シテ行クト云フコトガ、却ッテ國產自動車ヲ早ク進メル所以デハナイカト考ヘルノデアリマスガ、モウ自動車ハサウ云フ普及時代ハ去ッテ、國產自動車デ足ルモノト御考ヘニナツテ居ルカドウカ、ソレカラ其次ニ私共ハ交通機關ト云フモノハ、出來ルダケ安クヤラナケレバナラス、是ガ交通政策ノ理想ダト考ヘルノデアリマス、斯ウ云

フコトニ依テ段々賃銀ガ上リ、料金ガ高クナル、斯ウ云フヤウナコトハ交通政策ニ反スルコトデハナイカト思ヒマスガ、是等ニ對シテモ御考ヘガ伺ヒタイ、又國產自動車ヲ獎勵スルト云フ以上ハ、先ヅ官廳ニ於テ最初ニ使ハレルベキモノト思ヒマスガ、今日役所ニ於テドレ位ドウ云フ種類ノ國產自動車ヲ御使ヒニナツテ居ルカ、其點モ一ツ御伺ヒシテ見タイ、其次ニハ東京商工會議所デハ、先月關稅委員會ヲ開イテ、此問題ハ時期尙早デアルト云フヤウニ答申シテ居ルト聞イテ居ルガ、之ニ對シテ政府ノ方デハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルカ、サウ云ッタ問題ヲ一括御尋致シマスカラ御答辯ガ願ヒタイト思ヒマス

○竹内政府委員 生産ノ狀況ヲ簡單ニ申上ゲタイト思ヒマス、現在我國ニ於キマシテ、自動車工業ガドウ云フヤウナ狀態ニアルカト云フコトヲ簡單ニ申上ゲマシタラ御諒解ヲ得ルコト、思フノデアリマス、大正七年以來主トシマシテ、陸軍省ノ軍部ノ需要ヲ充シマス爲ニ、自動車ノ獎勵ヲ致シマシタノガ我國ノ自動車工業ノ起リデアルト申上ゲテ宜イト思フノデアリマス、其後段段ト進歩致シマシテ、今日完成車ト致シマシテ、即チ材料カラ一ツノ完成致シマシタ車マデ作リマスルノハ、昭和

六年度ニ於キマシテ、大體五百臺見當ト心得テ居ルノデアリマス、其外ニ部分品工業ト云フモノガ相當ニ發達致シテ居リマス、只今御話モアリマシタガ、組立工場ニ對シマシテ供給スルモノモアル譯デアリマスガ、數字デ申シマスト云フト、完成車ノ總臺數ガ昭和六年ニ於キマシテ四百三十四臺、其金額ガ約二百萬圓デアリマス、之ニ對シマシテ半成車トシテ入ッテ參リマスルモノガ千八百八十七臺デアリマシテ、金額ニシマシテ三百三十七萬圓位ノモノデアリマス、部分品ニ付キマシテハ、生産ガ大體八百五十萬圓ノ見當デアリマス、輸入ガ一千六百萬圓見當ト御承知ヲ願ヘレバ宜シイノデアリマス、ソコデ考ヘナケレバナラヌ問題ハ、現在ノ自動車ニ對スル關稅デアリマスルガ、御承知ノ如ク、國定稅率ニ於キマシテハ、完成車ハ五割、部分品ハ三割五分、一割五分ノ差ガ國定稅率ニ於テ認メラレテ居ルノデアリマス、併ナガラ是ハ明治四十三年ノ改正デアッタト記憶致シテ居リマスガ、其翌年ニナリマシテ、佛蘭西ト協定ヲ致シマシテ、其協定ノ結果歩合協定ニナツテ居リマシテ、完成品ハ三割五分、部分品ガ二割五分ヲ徵收サレテ居ル譯デアリマス、茲ニ一割ノ差ガアルノデアリマス、此一割ノ差ガアリマスルト云フコト

ガ、實ハ今日ノ我國ノ自動車工業ニ對シマシテ、吾々ガ觀ル所デハ憂慮スベキ事態ニナツテ居ルト思フノデアリマス、ト申シマスルノハ、一割ノ違ガアリマスル爲ニ、外國ノ自動車會社ガ我國ニ組立テ工場ヲ設ケマシテ、非常ニ簡單ナ作業ヲ組立テノ出來ルヤウニ部分品ヲ拵ヘテ持ツテ來ルノデアリマス、其部分品ヲ、只今申上ゲタヤウニ極ク簡單ナ作業デ之ヲ組立テ、完成車トシテ市場ニ賣出シテ居ルノデアリマス、是ガ即チ完成車ノ輸入ガ非常ニ少クシテ、部分品ノ輸入ノ金額ガ多イト云フコトニ結果トシテ現ハレテ居ルノデアリマス、若シ此組立工場ガ、我國ノ部分品ヲ使フト云フ實情デアリマスルナラバ、我國ノ部分品工業ト云フモノガ茲ニ發達スル譯デアリマシテ、誠ニ是ハ結構ナコトデアアルノデアリマスルガ、只今申上ゲマシタヤウナ實情デアリマスル爲ニ、我國ニ於テ、此部分品工業ガ起ラナイト云フヤウナ結果ニナツテ居ルノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、完成品ト部分品トヲ分ケマシタ趣旨ガ、全ク無効ニナツテ居ルト云フ風ニ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、私共今度關稅ヲ改正シナケレバナラヌ必要ヲ認メマシタノハ、完成品ト部分品トノ間ニ設ケラレテ居リマスル關稅上ノ趣旨ガ沒却サレ

無効ニナツテ居ルト云フ點ヲ直スト云フコトヲ先ヅ第一ニ必要ト認メタ次第デアリマス、然ラバ——御質問ノ點ニ是カラ觸レル譯デアリマスガ、一體ドウ云フヤウナ計畫ヲ以テ自動車工業ヲ國內ニ確立スル積リデアアルカト云フコトニナルノデアリマス、自動車工業ハ、御承知ノ如ク、非常ニ精密ナ技術ヲ要スル工業デアリマスル爲ニ、我國ガ他ノ外國ト比較シテ遅ク出發致シマシタ關係上、今日ノ所デハ技術的ニハ最早遜色ノ無イ所マデ達シテ居リマスルケレドモ、經濟的ニ未ダ十分裸デ競争ガ出來ナイ狀態ニアルノデアリマス、之ニ對シマシテハ、多年研究モ致シマシタガ、昭和五年ニ國產振興ニ對スル朝野ノ意見ヲ取纏メタコトモアリマス、又昨年ハ自動車工業確立調査委員會ヲ設ケマシテ、當業者モ加ハリ、又之ニ關係ノアリマスル各省ノ關係者モ加ハリマシテ、如何ニシテ我國ノ此重要ナル産業ヲ確立スベキカト云フコトヲ相談ヲ致シタノデアリマス、其結論ガ即チ私共ガ今後自動車工業ノ確立ノ爲ニ執ルベキ差當リノ方針ダト心得テ居リマスノデ、ソレヲ極ク要點ダケヲ聽イテ戴キタイト思フノデアリマス、其委員會ニ於キマシテ、研究致シマシタ結果、例ヘバ名前ヲ指スノハ如何カト思ヒマスルケレドモ、亞米利加ノ「フォ

ード」、「シボレー」ト云フヤウナ、非常ニ廉價ニ、大量生産ヲ致シマスル所ノ自動車ニ對シマシテ、今直ニ我國ガ之ヲ眞ッ向ノ敵トシテ、自動車工業ノ確立ニ進ムト云フコトハ、非常ニ困難デアラウ、而シテ其結果モ中々只今カラ見透シテ付ケルコトハ出來ナイ、ソレデ我國ノ運輸交通ノ實狀、竝ニ此車ノ經濟的ニ有利デアアルト云フヤウナ點ヲ考ヘマスルト云フト、先ヅ一噸半カラ二噸迄ノ貨物車、及ビ之ニ相當スル乗合自動車ヲ獎勵スルト云フコトヲ以テ自動車工業確立ノ第一歩トスルノガ最も穩健ニシテ適切ナル方法デアアル、斯ウ云フコトニ實ハナッタノデアリマス、之ヲヤリマスニ付キマシテモ、唯當業者ノ努力ノミニ之ヲ委セテ置キマシテハ、其成功モ危イ點ガアリマスルノデ、國家モ亦之ニ對シテハ有ユル手段ヲ講ジナケレバナラヌダラウ、ソレニハ先ヅ大量的ナ生産ヲサセマスル爲ニ、此車ノ使用ヲ國產車ニ集中致シマシテ、即チ單種——種類ヲ澤山拵ヘマセヌデ、大量ノ生産ヲヤラウ、之ガ爲ニ標準ノ形式ト云フモノヲ先ヅ決メタノデアリマス、サウシテ其標準形ノ自動車ニ向ッテ我國ノ需要ヲ集中致シタナラバ、ソコニ自ラ生産費モ減少致シマス、又之ニ對シマシテ政府モ自ラ其使用ノ範ヲ垂レルヤウニスルコトガ必要デアラウ

ト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、同時ニ又外國品トノ競争ヲ考慮致シマスレバ、關稅ノ障壁ヲ若干高メルト云フコトモ必要デアラウ、先ヅ是等ノ方策ヲ講ジマシタナラバ、只今第一段ノ主トシテ考ヘテ居リマスル所ノ自動車工業ノ確立ト云フコトハ、恐ラク失敗スルヤウナコトハナカラウト云フヤウナ、マアサウ云フ確信ヲ得タ次第デアリマス、唯事業ノ當初ニ於キマシテハ、需要ヲ之ニ集中スルト云フコトニ努力致シマスケレドモ、之ニハ相當一年ナリ二年ナリノ期間ヲ假サナケレバナリマセヌ、其間ハ關稅ノミヲ以テ之ヲ保護スルト云フニハ、非常ニ急激ニ高率ヲ課セナケレバナリマセヌノデ、一面之ニ對シテ不足シマス分トシマシテ、自動車工業ニ對スル獎勵金ヲ交付シヨウト云フヤウナ、各般ノ方法カラ、有ユル手段ヲ盡シマシテ、自動車工業ノ確立ヲ圖ラウト云フコトニナツタ譯デアリマス、其結果然ラバ、是モ御質問ニ御答ヘスル條項デアリマスルガ、一般ノ政府デ計畫シテ居ル所ノ自動車ハ、一噸半乃至二噸ノ自動車デアルトスレバ、大衆向ノ自動車ニ對シテノ影響ハドウカ、斯ウ云フヤウナ御質問ニナル譯デアリマス、御質問ノ箇條ニモ、即チソレガアッタ譯デアリマス、勿論私共モ此點ニ付テモ十分考慮

シタ積リデアリマス、此今日非常ニ廉價デ入ッデ参リマス自動車ノ値段ガドウ云フモノデアアルカト云フコトヲ、先ヅ其中ニ入レナケレバナラヌノデアリマス、此沖著價格ト云フモノガ、只今申上ゲマシタヤウニ部分品デ入ッテ参リマス爲ニ正確ニ……御承知ノヤウナ廉價品ノ沖著ヲ正確ニ知ルコトガ多少困難ガアリマスルガ、現在市場デ販賣サレテ居リマスルモノカラ、中間ノ商人ノ手数料、利益ト云フヤウナモノヲ差引キマシテ、或ハ組立費デアリマストカ、陸揚費デアリマストカ云フモノヲ先ヅ差引イテ見マスルト云フト、凡ソノ原價ト云フモノガ分ルノデアリマス、其原價ト、今日市場ニ賣捌カレテ居リマスル値段ト比較シテ見マスルト云フト……イヤ言葉ガ少シ足リマセヌデシタ、其ノ推定シマシタ原價、其原價ニ、今回關稅ノ引上ニ依リマシテ一割ダケ餘計負擔ガ課カル譯デアリマスカラ、其負擔ノ増加サレマシタル金額ト、現在市場デ賣捌カレテ居リマスルヤウナ値段ト比較ベテ見マスルト云フト、是ハサウ世間デ心配致ス程ノ大キナ金額デナイト云フコトノ結論ヲ實ハ得タ譯デアリマス、尙ホ又此數字ヲ、現ニ亞米利加ニ於テ諸種ノ車ガ販賣サレテ居リマスル市價ト比較ベテ見タノデアリマスカ、之ヲ較ベテ見マシテモ、

マダ……向フノ値段ハ著シク安キモノト云フ風ニ見込ヲ立テ、居ルノデアリマス、斯様ニ考ヘマスト云フト、此關稅ノ増加ハ誰ガ負擔ヲスルコトニナルダラウカト云フコトニ歸著スルノデアリマスガ、私共ノ見ル所デハ、此關稅ノ負擔ハ、結局外國ノ會社ガ負擔ヲスルノデアラウト云フ結論ニナラザルヲ得ナイノデアリマス、尤モ斯様ナ公課負擔ガ何處ニ轉嫁サレルカト云フ問題ハ、其品物ニ對スル需要供給ノ實際ノ狀況カラ定マル譯デアリマス、隨ヒマシテ今日我國ノヤウナ不況ノ時代ニ於キマシテハ、自動車ノ市價ト云フモノハ、此關稅ヲ課セラレタコトニ依リマシテ上ルコトハ先ヅ無キモノト私共ハ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、サウシマスレバ只今御質問ニナリマシタヤウナ、交通政策上ノ懸念トカ、或ハ又失業者ヲ生ズルト云フヤウナコトハ、先ヅナキモノト實ハ安心ヲ致シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ現在我國ニアリマスル組立工場ガ、此關稅ノ爲ニ衰滅スルト云フヤウナコトハ、只今ノ所デハ私共想像致シテ居リマセヌノデアリマス、現在外國ノ組立工場ノ製品ヲ扱ッテ居リマスル人々ノ個人的ノ意見モ問ウテ見マシタ、其個人的ノ意見ヲ此處デ申上ゲルコトハ甚ダ何デアリマスケレドモ、ホンノ御參考マデニ申上ゲ

マスガ、決シテ之ニ依テ値段ノ高クナルヤウナコトハ先ヅナカラウト斯ウ云フヤウナコトデアリマス、唯只今申上ゲマシタ通り、外國ノ會社ガ負擔ヲスルコトニナリマセウシ、從テ其一部分ハ中間ノ取扱業者ガ、今マデノヤウナ相當ノ利益ヲ得ルト云フコトガ多少苦シクナルダラウ、斯ウ云フヤウナ實情ナノデアリマス、ソレカラ現在官廳デ國產車ヲドウ云フヤウニ使ッテ居ルカト云フ御尋デゴザイマシタガ、只今劈頭ニ申上ゲマシタ如クニ、我國ニ於テ拵ヘテ居リマスル所ノ自動車ハ主トシテ陸軍省ノ保護ニ依テ拵ヘテ居リマスルモノガ大部分デアリマス、隨テ殆ド全部ガ軍ノ平時國內ノ自動車ヲ維持シテ置カナケレバナラヌト云フ目的カラ出テ來テ居ルノデアリマスルガ、是ハ相當ノ補助金ノ下ニ民間デ造ッテ居ルノデアリマス、尙ホ最近ニ軍用關係以外ノモノデ、鐵道省等ニ於テ使フヤウニナッテ居リマスルモノガ最近ボツボツ出テ來テ居ルヤウナ狀況デアリマス、ソレカラ今後ノ見込ニ付キマシテハ、先程ノ計畫ノ中デ申上ゲマシタカラ御諒承下サッタコト、思ヒマス、大體御答ヲ申上ゲタ積リデアリマス

○小笠原委員 今ノ御答ノ中デ、大部分ハ向フノ製造業者ガ負擔スルコトニナルダラウト云フヤウナ御話デアリマシタガ、私共ノ見ル所ニ依リマスルト、現在爲替相場ノ上ニ於テ非常ニ大キナ犠牲ヲ拂ッタ上ニ、尙ホ又關稅引上ト云フ、此二ツノ犠牲ヲ悉ク製造業者ガ負擔スルト云フコトハ一寸理解ニ苦シムコトデアリマスガ、サウ云ッタ議論ノ點ハ拔ニ致シマシテ、ホンノ四五百臺シカ出來ズ、而モ一噸半若クハ二噸ノ貨物自動車及乗合自動車ヲ主トシテ造ラレルト云フコトデアアルナラバ、寧ロ日本ニ澤山入ッテ來ル所ノ乗用自動車ノ部分品其他ニ付テハ、特例デモ設ケラレルト云フコトガ宜クハナイカ、國產自動車ノ方カラ言ヘバ、今サウ云ッタモノヲ保護スルト云フコトデアレバ、ソレ以外ノモノニ對シテ、此際課稅スルト云フコトハ穩當ヲ缺イテ居リハセヌカ、之ヲ伺ヒタイ、ソレカラモウ一ツハ、チヨット自分ハ色々個人ニ會ッテ聽イテ見タガ、サウ云フ話ガアルカト云フコトデアリマシタガ、現ニ商工會議所等ノ關稅委員ハ、商工省ヘ是ハ時期尙早デアアルト云フ答申ヲシタト云フ風ニ私ハ承ッテ居ル、サウスルト云フト、寧ロ多數ノモノハ斯ウ云ッタコトガ困ッタコトダト云フ風ニ思ッテ居ルノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘマス、以上御尋致シマス

○竹内政府委員 乗用車ニ付キマシテ、之ヲ除外シタノカト云フ御意見デ

ゴザイマシテ、實ハ私先程申上ゲマシタ通り、乗用車ノ輸入ト云フコトニ付キマシテハ、今回ノ關稅ノ直接ノ該當品デハナイノデアリマシテ、其意味カラ申シマスルコト云フト、成程御説ノ如キ結論ニナラウカト思フノデアリマス、併ナガラ實際ノ狀況ヲ見マスルコト云フト、乗用車ニ使フノカ、或ハサウデナイノカト云フコトニ付キマシテ、

イマス、會議所ノ御話ガアリマシタガ、實ハ甚ダ迂濶デアリマスルガ、新聞紙上ニ於キマシテハ、會議所ガ此問題ヲ議シテ居ル、又陳情スルコトニ決ツタト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、或ハ役所ノ方ニハ、昨日アタリ來テ居ルカ分リマセヌガ、今朝迄私未ダ入手致シテ居リマセヌ

モノハ、自動車用ノモノト、自轉車用ノモノ、即チ自動自轉車用ノモノデアリマス、現在此内燃機關ト致シマシテ我國ニ於テ出來テ居リマスル金額ハ、是ハ統計上正確デアリマセヌケレドモ、今日我國ニアリマスル自動車ノ大部分ト云フモノハ、組立工場デ出來テ居ルモノデアリマシテ、隨テ其材料ハ先程カラ繰返シ申上ゲテ居リマスル通リ外國カラ入ッテ來ルノデアリマス、其結果ハ自動車用ノモノトシテノ生産ハサウ多クナカラウト思ヒマス、又自動自轉車用ノモノニ付キマシテハ、大體最近二三輪車トシマシテ大分需要ガ殖エテ參ッテ居リマス、國內ノ生産モ相當ニアリマスルノデ、此方ハ相當ノ生産ガアラウト思ヒマス、サウシテ其外國品ノ壓迫ノ狀況ヲ考ヘマスルト云フト、自動自轉車用ノモノニ付キマシテハ、相當ニ英吉利品ノ競爭ニ壓迫サレテ居ル實情デアリマス、ソレカラ自動車用ノモノニ付キマシテハ、今回ノ引上ゲデ、或ル程度マデ負擔ガ重イト云フコトニナラウト思フノデアリマス

○小笠原委員 今ノ御話ニ依ルト云フト、殆ド自動車用ノ内燃機ハ日本内デ出來ナイヤウニ伺ツタノデアリマスガ、斯ウ云フ風ニ結局課稅ヲ殖ヤスコトガ、色々ナ方面ニ惡影響ヲ來スノハ内地ノ方デ、サウ云フ特ニ保護ヲ加ヘナナケレバナラヌ方ノ内燃機ノ方面ノ事業ガ起キナイ、又將來モサウ云フコトガ之ニ見込マレナイト云フコトニナレバ、此際從量稅ヲ從價稅ニシテ、尙ホ其上ニ稅金ヲ殖ヤスト云フコトハヒドクナイカト考ヘマスガ、當業者トシテ考ヘマス、現在爲替相場其他相當ノ負擔ヲシタ上デ、又從量稅ガ從價稅ニナルト云フト、中々負擔ガ輕クナイヤウニ思フ、成ベクナラバサウ云フコトデナク、モウ少シ營業者ノ立場ニ見テ、國內ノ產業ノ狀況カラ見テ、是ハ從量稅其儘デ行クコトニシタラドウカ、ソレニ對シテ御考ハドウカ

事實上ハツクリシタ區別モ出來ヌヤウニ聞イテ居リマス、ノミナラズ現在完成車ト致シマシテ入ッテ參リマスモノハ、殆ド是ハ實ハ乗用車デアリマス、其方ハ三割五分ノ課稅ガヤハリ現在通リ課セラレルノデアリマス、其點ニ付テハ少シモ變リハナイノデアリマス、唯御質問ノ點ハ、詰リ「フールド」「シボレー」等ノ、内地デ組立テラレル所ノ乗用車ノ問題デアラウト思フノデアリマス、之ニ對シマシテハ、只今申上ゲマシタヤウナ趣旨ヲ以チマシテ、完成車ト部分品トノ間ノ關稅ノ、不備ト申シマスルカ、之ヲ是正スル必要上、此改正ガ必要トサレタノデアリマス、

○小笠原委員 議論ニ互ルコトハ一切避ケマスルガ、尙ホチヨット此内燃機關ノコトニ關聯シテ御伺致シタイト思ヒマス、此内燃機關ヲ從量稅デアルノヲ從價稅ニサレル結果、非常ニ高イモノニナツテ、チヨット調ベタ所ニ依ルト云フト、今迄是ハ百斤ノ稅率デアリマスガ、八十圓位ノモノガ一躍百九十八圓ニナル、サウ云ツタ數字ガ出テ居タヤウニ思フ、サウ云フヤウナル保護ヲ内地ノ内燃機關ニ加ヘナケレバナラヌト云フコトニナルト、内地デ一體ドウ云フヤウナ内燃機關ノ製作狀況デアルカ、又自動車ノ内燃機關ガ、現在ドノ位出來上リツ、アルノカト云フコトヲチヨット伺ヒタイ

○竹内政府委員 内燃機關ハ輸入ガ一千九十三萬圓デゴザイマス、主トシテ亞米利加、獨逸、英吉利カラ入ッテ居リマス、之ニ對シマシテ生産ガ二千九百七十萬圓、是ハ内燃機關ノ全體デゴザイマス、此中今回特ニ特惠サレマスル

○竹内政府委員 大部分只今ノハ御意見ノヤウデアリマスケレドモ、私先程申上ゲマシタ點デ少シ補足ヲ致シタイ點モアリマスノデ、御答旁、御説明ヲ致シマスガ、現在自動車用ノ内燃機關ト云フモノハ、我國ノ技術ニ於テ十分ニ出來ルノデアリマス、唯先程申シマシタ色々ノ事情カラ入ッテ來ルノデアリマス、若シ我國ニ技術ガナクテ、實際是ハ出來ナイノダト云フ物デアリマ

唯此結果非常ナル負擔ヲ與ヘルノデハナイカト云フコトニ付キマシテハ、只今私ガ縷々申上ゲマシタヤウナ事情デ、少シク見解ヲ異ニシテ居ルヤウニ思ヒマスルケレドモ、私共當局ノ考ヘテ居リマスルコトハ先程述べタ通りデゴザ

○竹内政府委員 内燃機關ハ輸入ガ一千九十三萬圓デゴザイマス、主トシテ亞米利加、獨逸、英吉利カラ入ッテ居リマス、之ニ對シマシテ生産ガ二千九百七十萬圓、是ハ内燃機關ノ全體デゴザイマス、此中今回特ニ特惠サレマスル

○竹内政府委員 大部分只今ノハ御意見ノヤウデアリマスケレドモ、私先程申上ゲマシタ點デ少シ補足ヲ致シタイ點モアリマスノデ、御答旁、御説明ヲ致シマスガ、現在自動車用ノ内燃機關ト云フモノハ、我國ノ技術ニ於テ十分ニ出來ルノデアリマス、唯先程申シマシタ色々ノ事情カラ入ッテ來ルノデアリマス、若シ我國ニ技術ガナクテ、實際是ハ出來ナイノダト云フ物デアリマ

○竹内政府委員 大部分只今ノハ御意見ノヤウデアリマスケレドモ、私先程申上ゲマシタ點デ少シ補足ヲ致シタイ點モアリマスノデ、御答旁、御説明ヲ致シマスガ、現在自動車用ノ内燃機關ト云フモノハ、我國ノ技術ニ於テ十分ニ出來ルノデアリマス、唯先程申シマシタ色々ノ事情カラ入ッテ來ルノデアリマス、若シ我國ニ技術ガナクテ、實際是ハ出來ナイノダト云フ物デアリマ

スレバ、之ヲ關稅ヲ増徴シマス云フ
ト、結局消費者ノ負擔ニナルデアリマ
セウ、併ナガラ私共ノ見マス所デハ、
既ニ十分ノ技術ヲ備ヘテ居ッテ、唯外國
品トノ競争ニ堪エナイ狀況デアル、而
モ其工業ハ我國ニ確立ヲシナケレバナ
ラナイ重要ナ工業デアルト云フ見地カ
ラ致シマス云フト、現在ハ出來テ居
ル數量ガ非常ニ少クアリマセウトモ、
茲一年ノ後ニハ完全ニ出來ルデアラウ
ト云フ見込ガ立チマシタナラバ、是ハ
ヤハリ保護ヲスルノガ本當デナイカ、
斯様ニ考ヘタノデアリマス、外國品ニ
對スル負擔ガ非常ニ殖エルト云フ御意
見デアリマスガ、其點ハ先程私共ハ考
ヘテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、我
國ノ使用者ガ之ニ依テ負擔ヲ殖ヤスト
云フコトヲ懸念スルコトハナイダラウ
ト考ヘテ居ルノデアリマス

○中島(彌)委員 今小笠原君ノ質問ニ
付キマシテモ、洵ニ私ハ同感デアリマシ
テ、此自動車部分品ノ關稅引上ト云フ
コトニ付キマシテハ、商工會議所ノ御
意見ノ如クニ、是ハ尙ホ尙早デヤナイ
カト考ヘマス、今商工當局ノ御説明ニ
依リマス云フト、自動車ノ「エンヂ
ン」ト云フモノハ出來ルト云フケレド
モ、實際ノ當業者ニ就テ言ヘバ、日本
ニ出來ルヤツハ不完全ダト云ヒマス、
ソレノミナラズ部分品ハ大體御承知ノ

通り三千種餘モ輸入サレテ居ルノデア
リマシテ、其中一千種ト云フモノハ非
常ニ破損シ易イモノデアル、殊ニ「ス
パーク・プラグ」ニ硬質陶器ヲ使ッテ居
ル、アノ硬質陶器ノ如キハ、日本デ出
來ナイ、ソレカラ其外ニ日本デ今造ッテ
居ル所ノ主ナ工場、海老原製造所、「ダッ
ト」、或ハ「ダンロップ」護謨會社ト
カ、横濱護謨會社トカ、石川島製造所、
東京瓦斯電ト云フヤウナ工場ガ色ミ
リマスケレドモ、皆造ッテ居ル所ノモノ
ガ大體ニ於テ賣レルモノダケ造ッテ、賣
レナイモノハ造ラナイ、サウシテ日本
デ始下出來ナイト稱セラレテ居ルモノ
ガ「シリンドラー」ダトカ、車體ノ「フ
レーム」ダトカ「レフレシヤル」ノ
「ケース」トカ「トランスミンシヤル」
ノ「ケース」トカ、斯ウ云フモノハ完
全ナモノハ出來ナイト思ヒマス、大體
斯ウ云フヤウナ不完全ナモノヲ組合セ
テ使ッテ居リマス、是ガ連モ不完全ナモ
ノデアルトシマス、向フカラ來ルモ
ノガ高イカラト云ッテ、無理ニ安イモノ
ヲ使ハサレルヤウナコトニナッテ來マ
ス、是ハ非常ニ交通上ニ故障ガ起ッテ、
人命ノ上ニ於キマシテモ危險ガ多クナ
ルト思ヒマス、御承知ノ通り、自動車
ノ故障ガ頻繁デアルカラ、部分品ノ輸
入稅ヲ高クシテヤルト云フコトハ、是ハ
餘程考慮シテ戴カナケレバナラヌ、又

今申上ゲマシタ會社ノ中デモ「タイヤ
ー」ヲ造ッテ居ル會社ガ多イ、殊ニ海老
原工場ノ如キハ、タツタ二十五人位ノ職
工デ泥除ダケ造ッテ居ル工場デアル、ソ
レカラ「ダット」自動車會社モ「タイヤ
ー」、横濱護謨會社モ「タイヤー」、石川
島自動車製造所、東京瓦斯電「ダット」
ノ如キニ致シマシテモ、乗合自動車ノ
車體ダケデセウ、乗用車ノ部分品ハ餘
リ造ッテ居ナイ、造ッテ賣レルモノダケ
造ッテ、賣レナイモノハ造ラナイ、日本
デ部分品ヲ造ッテ所デ引合ハナイ、サウ
云フモノヲ保護シテヤッテモ、餘リニ工
業ガ大キ過ギテ連モアナタノ仰シヤッ
タヤウナ工合ニ一年ヤソコラデ完成ス
ルモノデヤナイト私ハ考ヘル、斯ウ云
フヤウナ三千種ノ中デ、一千種モ破損
シ易イモノガアッテ、非常ナ「デリケー
ト」ナ技術ヲ要スルモノデアッテ、是ハ
立派ナモノガ出來ナケレバ十分ニ交通
ノ不安ト云フモノハ除キ得ラレナイノ
デアリマス、私ハ小笠原君ノ御質問サ
レマシタ如ク、此負擔ガ何處ニ掛ルカ
ト云フト、營業者ニ掛ルト思フノデア
リマス、アナタハ外國ノ製造業者ガ負
擔ヲスルト仰シヤルケレドモ、外國ノ
製造業者ト云フモノハ負擔シナクテ、
皆營業者ガ負擔シナケレバナラヌ、圓
「タク」デモ何デモ、今ハ五十錢ヤ三十
錢ニナッテ居リマスガ、是ハ中々賃銀ヲ

引上ゲルコトハ出來マセヌ、サウスレ
バ矢張營業者ガ負擔ヲシナケレバイカ
ヌコトニナル、私ハ小笠原君ノ意見ニ
最モ同感デアッテ、自動車部分品ノ保護
關稅ト云フモノハ、餘リニ尙早デヤナ
イカト云フコトヲ考ヘマスガ、是等ノ
私ノ言ウタ品物ハ、果シテ日本デ出來
ルデアリマセウカ、私ノ研究シタ所デ
見マスルト、此點ニ付テ頗ル疑問ヲ持ッ
テ居リマス、殊ニ「タイヤー」ノ如キ
ハ、アノ①印ノ「タイヤー」ノ如キハ
八箇月續カナケレバ算盤ガ持テナイ、
ソレガ一箇月シカ保タナイ、中カラ非
常ナ痛ミガ出來テ來ルノデアリマス、
陸軍省ノ方ニ納メテ居ルケレドモ、陸
軍省ノ方デハ惡イ品物ハドン／＼廢メ
テシマッテ、良イ品物ダケ取ッテ居ルヤ
ウナ狀況デアル、「タイヤー」ニ付テモ、
マダ日本ノ工業ハ發達ガ幼稚デアル、
斯ウ云フ人ノ生命ヲ預ッテ乘セテ行ク
ヤウナモノニ、粗惡ナモノヲ使ハスヤ
ウナ方法ニ關稅ヲ引上ゲルト云フコト
ニナッテ來ルト、私ハ此點ヲ大變心配ス
ルノデアリマス、此點ニ付テドウ云フ
風ナ御考ヲ持ッテ居リマスガ、當局ノ御
意見ヲ承リタイト思ヒマス

○竹内政府委員 御答ヲ致シマス前
ニ、私ノ先程ノ言葉ガ不十分デアッタ點
ガアルヤウデアリマスカラ、一寸申上
ゲマス、一二年モシタラト云フコトヲ

申上ゲタノハ、吾々ガ今考ヘテ居リマ
スル一噸半乃至二噸級ノ自動車ノ確立
ト云フコトハ、是ハ初メノ間ハ相當ノ
補助金ヲヤラナケレバ、此關稅ダケデ
ハイカヌダラウ、併シソレハ一年經ッ
ナラバ獎勵金ナシデ、其點ハ十分行ケ
ルダラウト云フ意味デアリマス、「フ
ード」シボレー」ノヤウナ車ヲ、全部
日本デ供給シ得ルノガ一二年後ト云フ
意味デハナカッタデアリマスガ、其點
ハ私ノ言葉ガ足リナカッタ所ヲ補正致
シマス、ソレカラ外國ノモノハ立派ダ
ガ、日本ノモノハ粗惡ダト云フヤウナ
コトデハナカッタデアリマセウケレ
ドモ、一寸サウ云フ風ニ聞エマシタノ
デアリマスルガ、現在我國デ出來テ居
リマスル——先程申上ゲマシタ五百臺
内外ノ自動車ト云フモノハ、是ハ非常
ニ堅牢ナ車デアリマシテ、決シテ「フ
ード」シボレー」ト比較ニナラヌ位良
イ丈夫ナモノガ出來テ居ルト考ヘマス

○中島(彌)委員 其結果ハ……
○竹内政府委員 鐵道省、陸軍省等ノ
専門家ニ委託シマシテ、其検査ヲ致シ
マシタ、是ハ全ク日本人ノ設計デ、全
然純粹ノ國產車デアアル譯デアリマス
ガ、試験ノ成績ハ、其中一二臺途中デ
故障ヲ起シタモノガアリマス、併シソ
レ等ノ點ハ決シテ自動車ノ非常ニ大事
ナ部分ニ起ッテ故障デハナカッタデア
リマス、直ニソレハ修理ヲ加ヘルコト
ガ出來タデアリマス
○中島(彌)委員 故障ハ機械ノ何處ニ
起ッテノデスカ
○竹内政府委員 大分細カイ技術上ノ
問題ニナリマスルカラ、御願ヒ出來マ
シタナラバ技術者ノ方カラ御答ヲサセ
タイト考ヘマス
○中島(彌)委員 其前ニ申シマスガ、
九臺ニ付テ東京大阪間ノ國產自動車試
乗ヲヤッタト云フコトハ私モ承知シテ
居リマスガ、重要ナ部分ニ付テ故障ガ
起ッタト云フコトモ私ノ所ニ報告ガ參ッ
テ居リマス、其點ニ付テ果シテソレガ
ドンナ部分デアアルカト云フコトヲ明ニ
シテ貰ヒタイト思ヒマス
○東委員長 ソレハドウカ技術者ノ方
カラ……
○後藤商工書記官 私ハ技術者デハゴ
ザイマセヌガ、此試験ニハ參加致シマ
シタ、曩ニ自動車工業確立調査委員會

申上ゲタノハ、吾々ガ今考ヘテ居リマ
スル一噸半乃至二噸級ノ自動車ノ確立
ト云フコトハ、是ハ初メノ間ハ相當ノ
補助金ヲヤラナケレバ、此關稅ダケデ
ハイカヌダラウ、併シソレハ一年經ッ
ナラバ獎勵金ナシデ、其點ハ十分行ケ
ルダラウト云フ意味デアリマス、「フ
ード」シボレー」ノヤウナ車ヲ、全部
日本デ供給シ得ルノガ一二年後ト云フ
意味デハナカッタデアリマスガ、其點
ハ私ノ言葉ガ足リナカッタ所ヲ補正致
シマス、ソレカラ外國ノモノハ立派ダ
ガ、日本ノモノハ粗惡ダト云フヤウナ
コトデハナカッタデアリマセウケレ
ドモ、一寸サウ云フ風ニ聞エマシタノ
デアリマスルガ、現在我國デ出來テ居
リマスル——先程申上ゲマシタ五百臺
内外ノ自動車ト云フモノハ、是ハ非常
ニ堅牢ナ車デアリマシテ、決シテ「フ
ード」シボレー」ト比較ニナラヌ位良
イ丈夫ナモノガ出來テ居ルト考ヘマス

デ決定致シマシタ「デザイン」ヲ——現
在石川島自動車、「ダット」株式會社、東
京瓦斯電、此三社カラ成ッテ居リマス國
產自動車組合ト云フモノヲ作りマシタ
ガ、其組合ニ試作ヲ命ジタデアリマ
ス、其結果九臺ガ出來マシテ、ソレヲ
陸軍省ノ關係ノ自動車會社ニ於キマシ
テ、先ヅ試験ヲ致シマシタ、是ハ「ブレ
ーキ」ノ試験デアリマシタガ、急速度
ノ試験、急廻轉ノ試験ヲ致シマシタ、ソ
レカラ運行試験ニ於キマシテ、東京カ
ラ發車致シマシテ名古屋ヲ通り、飯田
ヲ經テ、和田峠ヲ越エ、輕井澤ヲ下リ
マシテ、東京ヘ歸ッテ參リマシタ、其行
程約一千軒デアリマス、大體此程度ノ
試験ヲ致シマスレバ、故障ノ起ル所ハ
大體分リマス、試験ヲ致シマシタ結果
ニ依テ、起リマシタ故障ノ要點ヲ申上
ゲマスルト、其要點ニ付テハ、後刻文書
デ御答致シマスガ、要點ニ於キマシ
テハ故障ハ起リマセヌデシタ、大事ナ
「シリンドラー」「トランスミッション」ノ所
ニ起リマセヌデ、「オイル」ノ廻リ方ガ
惡イトカ、ソレカラ多少材質處理ノ手
省キヲ致シマシタ爲メニ「マテリアル」
ノ減リ方ガ多ウゴザイマシタ、又「ギ
ヤー」ノ嚙合セガ惡イ爲メニ、「ギヤー」
ノ工作上ノ問題デアリマスガ、ソレガ
惡イ爲メニ「ギヤー」ノ減リ方ガ可ナリ
多イ、又護謨ノ「タイヤー」ノ取付ケガ

惡イ爲メニ「タイヤー」ガ燒ケタデアリ
マス、ソレカラ「ラヂエーター」ノ惡イ
爲メニ「オーバーヒート」ヲ致シマシ
タ、是等ハ普通ノ場合デモ往々ヤル故
障デアリマシテ、要點デハアリマセヌ
ガ、自動車其モノニ付テハ大體確信ヲ
得タノデ、數日來カラ二三度商工省ノ
方デ「メーカー」ヲ呼びマシテ、検査ノ
結果ニ基イテ一度「オーバーホール」致
シマシテ、其検査ノ部分ヲ點檢致シマ
シタ結果、批評ヲ致シマシテ、其結果
更ニ試験致シマシテ、標準型自動車ノ
本體ヲ決メタイ、自動車其モノ、價值
ニ付テハ餘リ非難ヲ受ケル點ハナイヤ
ウデアリマス、ソレデアレバ大體一噸
半、乃至二噸ノ標準自動車トシテ採用
スルコトニハ差支ナイ、之ヲ市場ニ提
供スルニハ、寧ロ自動車ノ技術デナ
ク「コスト」ヲ下ゲテ、安イ物ヲドウ
提供スルカト云フコトガ要點デアルト
云フコトニ大體調査ノ結果ガ落付キマ
シタ、今拵ヘタ自動車ガ惡イト云フヤ
ウナ點デアリマスガ、是ハ餘リ御心配
ハナイノデハナイカト思ウテ居リマ
ス、私ハ特ニ其方面ノ技術者デハアリ
マセヌガ、其方面ニ關係致シマシタ結
果、其程度ナラハハッキリ申上ゲラレマス
○中島(彌)委員 「トランス、ミッシ
ン」「ギヤー」ノ點ニ付テ故障ガアッタ
ノデハアリマセヌカ

○後藤商工書記官 其點ハアリマセヌ、今ノ「オイル」ノ點「ラヂエーター」

ノ「コンニクタント」ノ所ガ少シ燒ケタト云フ點デアリマス、「トランスミッショ」其要部ニ付キマシテハ多少技術ノ點カラ見テ、完全ヲ期スルト云フ點カラ見レバ、多少何デアリマスガ、大體「デザイン」ノ通りニ要求サレル性能ヲ十分發揮シテ居リマス

○中島(彌)委員 サウスルト「マテリアル」ノ性能ノ惡イノハ使フ所ヲ省略シタノデアリマス

○後藤商工書記官 ソレハ「マテリアル」ノ使方ノ惡イト云フコトハ、多少手ヲ省キマシタ爲ニ起キタノハ極ク僅カナ點デアリマス、一箇所アッタノデアリマス

○中島(彌)委員 ドウ云フ點デスカ

○後藤商工書記官 「ギヤー」ノ點デアリマス

○中島(彌)委員 矢張「ギヤー」ノ故障デスネ、「ギヤー」ハ大切ナ物デアル、此「ギヤー」ハ日本製ノモノハ、非常ニ粗惡デアッテ、外國品ニ對シテハ全然比較ガ出來ナイ、外國品ニ比スレバ非常ニ劣ッテ居ル、使用ニ堪ヘナイコトモナイケレドモ、商工省ニ於テ責任ヲ以テ試驗ヲシテサヘモ、斯ノ如ク落第品ガ出來テ來ル、斯ノ如キモノヲドンノ市場ニ送ッテ「コスト」ヲ安クシテヤルト

云フコトハ、私ハ餘程危險デヤナイカト思フ、此點ニ付キマシテハ、交通保安ノ上カラ、人命救助ノ點カラモ、餘程心配デアリマスカラ、此點ニ付テハ餘程考ヘテヤラナケレバ、一旦關稅ヲ引上ゲテ、「ギヤー」ノ點ニ故障ガ出來タト云フ場合ニハ、國民ノ交通保安上、私ハ重大ナ問題デアルト思ヒマス、油ノ廻リ方ト云フヨリカ、「ギヤー」其モノ、製作ノ點ガ惡イ、技術ガ劣ッテ居ルト云フ點ニアルノデハナイカト思ヒマス

○後藤商工書記官 ソレハ専門家カラ御答申上ゲタ方ガ、宜シクハナイカト思ヒマス

○中島(彌)委員 ソレデハ其點ハ保留致シマシテ、此問題ニ付キマシテハ、私ハ小笠原君ト感テ同ジウシテ居ル者デアリマシテ、「ギヤー」ノ點バカリデハナク「スパークプラグ」ノ問題ニ付キマシテモ、専門家ノ確カナ意見ヲ聽カナケレバ、部分品ノ關稅引上ゲト云フコトハ、餘程考慮シナケレバナラヌ、是ハ小笠原君ト同意見デアリマス、殊ニ平素ノ反對黨デアアル政友會カラ、斯ウ云フヤウナ同情者ヲ得タコトハ、私ハ意ヲ強ウスル、政黨政派ヲ超越シタ問題デアリマス、私ハ是ハ保留シテ置キマスガ、其組立ガ今言ッタヤウナ工合ニ、日本デハ十分揃ハナイ、其揃ハナ

イ物迄モ、關稅ヲ引上ゲテ獎勵スルト云フコトハ、蓋シ尙早デヤナイカ、サウシタラ危險ナ自動車ヲ市場ニ供給スルヤウナ結果ニ陥リハセヌカ、其點ニ對スル御説明ガナカッタノデアリマス

○竹内政府委員 自動車ノ部分品ハ、非常ニ數ガ澤山アリマスガ、其悉クガ全部輸入品ニ俟タズシテ出來ルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ一ツ技術者ノ意見ヲ求メタイト思ヒマス、併シ假ニ若干ノモノヲ輸入品ニ俟タナケレバナラナイトシマシテモ、ソレハ極ク僅カナモノデアリマシテ、此程度ノ關稅ノ引上ゲニ依リマシテ、交通ノ保安ニ害ガアルトカ、或ハ人命ニ危險ガアルトカ、云フヤウナ風ニハ、考ヘテ居リマセヌノデアリマス

○中島(彌)委員 ソレハ今ノ「ギヤー」ノ點ナドハ、非常ニ大切ナ點デアリマスカラ……

○東委員長 ソレハ後デ技術者ガ出テ來テカラ、説明ヲ聽イタラ如何デアリマス

○中島(彌)委員 交通上害ガアルトカナイトカ云フコトガ、非常ニ重要ナコトデアリマスノデ、私ハ其一ツノニ付テ、御説明ヲ申上ゲテモ宜シイガ、技術者ニ此點ヲ聽キタイト思ヒマス、今ノ政府委員ノ答辯ニ付キマシテハ、私共、満足出來兼ネマス

○江藤委員 我國デ運輸用ニ用ヒテ居ル自動車ノ大部分ハ「フォード」ト「シボレー」ダト云フコトヲ聽イテ居リマスガ、此運輸用ニ使ッテ居ル「フォード」ヤ「シボレー」ノ部分品ハ、輸入品デナケレバ、非常ニ不經濟デ、到底國產品デハ間ニ合ハナイト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、果シテサウデアルト致シマスレバ、現在デサヘモ當業者ハ、爲替關係ノ爲ニ値上リシ、又其上ニ關稅ノ引上ゲニ依テ、値上リスルト云フコトニナルト、現在デサヘモ、非常ニ困ッテ居ル者ガ到底堪ヘラレナイ、現在「フォード」「シボレー」等ヲ使ッテ運輸等ニ直接携ッテ居ル者ハ、五十萬人モ居リ、間接ニ携ハル者竝ニ其家族ヲ合セルト、二百萬近クノ者ガ、之ニ携ッテ居ルノデアリマス、是等ノ者ガ非常ニ生活上ノ脅威ヲ受ケル云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、デ我國デ出來マスルモノガ、近キ將來ニ於テ輸入品ニ代ルコトガ出來ル狀態デアラナラバ、是ハ非常ニ結構ナコトデアリマスガ、當業者ガ言フヤウニ、我國ノ部分品製造業者ガ、非常ニ貧弱デ、又無自覺デアッテ、成程値段ハ若干安イケレドモ、使ッテ見ルト、直グ壞レルト云フヤウナコトデ、實際ハ不經濟デアアル、斯ウ云フコトヲ言ッテ居リマスガ、事實ハドウデアリマス、政府委員ノ御答辯

ヲ願ヒマス

○竹内政府委員

現在ハ只今申上ゲマシタヤウニ、部分品ノ關稅ガ低クアリマシテ、外國ノ物ヲ使ッテ居ル譯デアリマスガ、將來若シ此關稅ノ負擔ガ高ク、組立工場トシテ日本ノモノヲ使フ方ガ有利デアルト云フコトニナレバ、日本ノモノヲ使フコトニナルト思ヒマス、又此程度ノ關稅デハ、矢張外國品ヲ使フト云フコトデアリマスレバ、「フォード」シボレーノ部分品ニ對シマシテ、直チニ日本品ガ代ルト云フコトハ困難デアラウト思フノデアリマス、要スルニ問題ハ其負擔ガ非常ニ大デアツテ、サウシテ之ニ從事シテ居ル者ガ打撃ヲ負フカ、或ハサウデハナクシテ現在相當以上ノ利益ヲ得テ居ルトシマスレバ、其利益ヲ減ズルコトニ依リマシテ、從來通り續ケテ行クノデアアルカト云フコトニ分レル譯デアリマス、私共ハ此程度ノ引上ハ、決シテサウ現在ノ之ニ關係シテ居ル事業家、從業者ガ、之ニ依テ影響ヲ受ケルコトハナイモノト斯様ニ考ヘテ居リマスルノデ、隨テ御質問ノヤウナ御心配ハ起ラヌト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○東委員長

此問題ハ後ニ技術者ガ來テ、試驗ノ結果ヲ説明スルサウデアリマスカラ、ソレ迄保留致シマス、高橋君

○高橋委員

中島君ノ貴重ナル質問ノ間ニ割込ミマシテ、私モ一、二御伺ヒヲ致シテ見タイト思ヒマス、私ハ澱粉ニ關係致シタル事柄ト、ソレカラ甘蔗、馬鈴薯ニ關スル問題、ソレカラ是等ヲ原料ト致ス澱粉等ノ關係カラ、高粱並ニ玉蜀黍ニ向ッテ、關稅ヲ極度ニ引上ゲタト云フコトニ付テ、大ナル疑問ヲ持ッテ居ルノデアリマス、是等ヲ漸次御伺ヒヲ致シ、サウシテ關稅改正ノ根本義ニ付テ幾分伺ッテ見タイト思フノデアリマス

○東委員長

高橋君、委員長カラ御注意致シマスガ、其問題ハ大部分今朝カラヤッタノデアリマスガ……

○高橋委員

私今朝程他ノ委員會ニ出席シテ居リマシタノデ、重複スル點ガアルカモ知レマセヌカラ、若シ重複シタ點ガアリマシタラ、ドウゾ委員長カラ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス——此「コーンフラワー」ノ問題ハ、從來モ議會ニ於テ度々問題ニナツテ居ッタノデアリマス、需要ガ漸次増加シテ參ルノニ「コーンフラワー」ニ付テ之ヲ如何ニ保護スルカト云フヤウナ問題ガアッタノデアリマスケレドモ、從來ハ是ハ需要ノ關係、其他カラ推シテ、他ノ是同種ノ輸入ニ對シテ重稅ヲ賦課スルコトガ宜シクナイト云フ見地カラ、從來ハ「コーンフラワー」ニ對スル課稅ヲシナカッ

タト、斯様ニ私共ハ記憶ヲ致シテ居ルノデアリマス、今回「コーンフラワー」其他ニ付テ多少ノ値上ハアッタト記憶致スノデアリマスルガ、是ハ僅カデアリマス、「コーンフラワー」ソレ自身ノ値上ラセズシテ、其原料タル玉蜀黍又ハ高粱ニ向ッテ大ナル重稅ヲ課セラレルノデアリマス、サウ致シマスルト云フト、從來ノ方針ト非常ニ矛盾シテ居ル、殊ニ發達シ掛ケントシテ居ル所ノ新シキ「コーンプロダクト」工業等ニ付テ非常ニ障礙ヲ來サユナ課稅ノ方針ヲ採ラルルニ至ッタノデアリマス、産業ヲ保護スルト云フ見地カラ、關稅保護ノ政策ヲ採ラレルニ拘ラズ、關稅ヲ増徴シタ爲ニ、之ニ依テ産業ノ發達ヲ阻害スルト云フヤウナコトニ相成ルヤウナ危險ガ伴フヤウニ吾々ニハ思ハレルノデアリマスガ、併ナガラ之ニ依テ、他ノ産業ガ保護セラレルト云フナラバ、吾々ハ忍ブコトモ出來ルノデアリマス、若モ朝鮮ニ於ケル日本「コーン・プロダクシヨン・カンパニー」ガ外國カラ「コーン」ヤ高粱ヲ輸入シテ、其原料ヲ以テ澱粉ヲ搾ヘテ居ルカラ、之ニ重稅ヲ課ケテ、内地ノ澱粉ヲ保護シヨウト云フコトデアラナラバ、内地ノ澱粉ハ之ニ依テドレダケ保護サレルカト云フコトニ付テ、私共ハ疑問ヲ持ッテ居ルノデアリマス、成程北海道ニ於ケル

馬鈴薯澱粉、或ハ千葉縣其他ニ於ケル所ノ甘藷ノ澱粉等ハ、從來ハ非常ニ打撃ヲ受ケテ居ルノデアリマス、打撃ヲ受ケテ居ルガ、是等ハ多ク「コーンフラワー」ノ如キ高級ナル澱粉ノ壓迫ニ出デナイノデアリマス、當局モ屢々此議會等ニ於テハ繰返シタコトデアリマスルカラ、能ク御記憶ニナツテ居ル通りニ、他ノ餡ノ原料タル碎米ト云フヤウナ方面ニ強敵ヲ持ッテ居ルノデアリマス、決シテコンナ高級ナモノニ於テ壓迫ヲ受ケルヤウナコトハ、私ハナカラウト思フノデアリマス、若シ壓迫ヲ受ケルヤウナ事實ガアルトスルナラバ、ソレヲ承リタイト思フノデアリマス

○小平政府委員 御質問ノ點ハ、大體午前中ニ御答シテ置キマシタノデスガ、詰リ朝鮮ノ「コーン・プロダクシヨン」會社ノ製品ガ内地ノ馬鈴薯澱粉、甘藷澱粉ヲ壓迫スルヤ否ヤト云フ問題デアリマスガ、此會社ノ製粉ハ、高級用途ノミデアリマセンデシテ、食用方面ニモ段々用途ガ發達シテ居ル、内地ノ馬鈴薯澱粉等ヲ使フノト同ジ食料方面ニモ使ハレテ居リマスシ、近頃ハ餡ノ原料トシテ用途ヲ向ケルヤウニ段々ナツテ來テ居ルノデ、内地ノ多數ノ小サナ餡ノ工業者ハ、非常ナ打撃ヲ蒙ルコトニナツテ來テ居ルノデアリマス、此會社ノ製品ト云フモノハ可ナリ内地ノ馬

鈴薯澱粉其他之ニ類スルモノニ脅威ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ此會社ガ外國ノ「コーン」ヲ入レテヤルコトハ、將來永クハヤラナイ、寧ろ朝鮮ノ「コーン」ヲ使フコトニナルダラウト云フコトハ、先程當局ノ方カラ御答辯ガアッタノデアリマス

○高橋委員 只今午前中ニ御答辯ガアッタト云フノデアリマスカラ、尙ホ午前中ノ記錄モ調ベテ、疑問ノアル點ハ重ネテ御伺ヒヲ申上ゲルコトニ致シマスガ、他ノ食料ニモ用ヒラル、ト云フノハ、極ク僅ナ部分デヤナイカト思フノデアリマス、御承知ノ通り「コーンフラワー」ノ需要ト云フモノハ、食料ト致シマシテモ、他ノ澱粉トハ用途ガ異ナルノデアリマス、例ヘバ「アイスクリーム」ニ使フトカ、或ハ「バイ」ニ使フトカ、其他麵類ニ使フトカ云フヤウニ、用途ガ違ッテ居ルノデアリマス、用ヒラル、カラト云ッテ、高價ナ物ヲ無暗ニ、斯ノ如キ不景氣時代ニドシ、使用スベキモノデヤナカラウト思フノデアリマス、ソレバカリデナク、是非非常ニ高級ナ、工業用トシテ使ハレテ居ルト云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、サウ云フ方面ノ需要ト云フモノハ近來頗ル多クナッタノデヤナイカト思フノデアリマス、殊ニ織物用、紡績ノ糊附デアルトカ、近頃進歩シタ

所ノ捺染デアルトカ、或ハ染織ノ仕上用デアルトカ云フヤウナ物ニ對シテハ、非常ニ需要ガ増シテ居ル、殊ニ此方面ニ付テハ専門家ガ多イノデアリマスカラ能ク御分リデアリマセウガ、内地ノ糊ノ質ガ惡イ、品質ヲ惡クシテ困ッテ居ッタ、輸出向ニ於テモ是等ニ非常ニ不便ヲ感ジテ居ッタコトハ御承知ノ通りデアリマス、然ルニ我國ノ製品デ以テ、是等ヲ補充スルト云フコトハ、洵ニ輸入品防遏ノ上カラ言ッテモ、吾ハ非常ニ結構ナコトダト思フノデアリマス、ソレニ拘ラズ此原料ノ高粱或ハ「コーン」ニ向ッテ重稅ヲ課ケル爲ニ、又一方ニ於テ外國カラ參ル「コーンフラワー」等ニ付キマシテノ關稅引上率ノ低イガ爲ニ、日本デ出來ル所ノ「コーン」プロダクチーム、之ヲ日本デ餘リ發達セシメナイヤウニ、之ヲ「チック」シテ、サウシテ米國トカ、加奈陀トカ云フヤウナ方面カラ參リマス輸入品ヲ刺戟スルヤウナ結果ニ至リハセヌカト私共ハ憂ヘルノデアリマス、此點如何デアリマスカ

○小平政府委員 此問題ハ無稅デ或原料、或ハ安イ原料ヲ入レテ「コーンフラワー」ヲ製造スルカラ、其結果從來ヨリモ相當安イ價格ヲ以テ「コーンフラワー」ガ内地ヘ供給セラレル、ソコデ從來ヨリモ突如トシテ澱粉製造者ガ

非常ナ脅威ヲ感ズルヤウニ相成ッタ結果、茲ニ關稅ヲ課ケテ、内地ノ澱粉製造ヲ保護シヤウト云フノデアリマス、隨テ「フラワー」トシテ入ッテ來タ爲ニ脅威ヲ感ズルノデハアリマセヌ、帝國内ノ或ル地方ノ、特別ニ關稅ノ掛ラヌ、或ハ安イ關稅デ原料ヲ得テ生産スルガ爲ニ、從來ノ澱粉製造業者ガ、特ニ非常ナ脅威ヲ感ズルカラ、其原料ニ課稅ヲシテ脅威ヲ感ゼナイ前ノ狀態ニ復シテ、内地ノ澱粉製造業ヲシテ安定サセ、隨テ農家ヲシテ、馬鈴薯トカ其他原料ニナル農產物ノ完全ナル生産増加ニ資シヤウト云フ次第デアリマス

○高橋委員 ハッキリシナイノデアリマスルガ、一體内地ノ澱粉ハ、私共カラ見レバ、粗製澱粉デ、實物ヲ比較スレバ直グ分ル、價格ニ於テモ殆ド半額ニ近イ値段デ現在モ取引サレルノデアル、左様ナ下級ノ澱粉ト高級ノ澱粉トノ比較デアリマス、高級ノ澱粉ヲ高價ニ致シ得タ所ガ、下級ノ澱粉ノ需要ガドレダケ増スカ、飴ノ原料ト、臺所デ使ハレル一部分ノ食料品ニ向ケルト云フダケデ、工業用ノ方面ト云フモノハ全然關係ガナイノデアリマス、サウスルト一體内地ノ薯澱粉ハドノ位需要ガ食料ニ向ケラレルカ、其邊ノ御調査ハアルベキ筈ダト思ヒマスガ、其邊ハドンナコトニナッテ居リマスカ

○間部農林技師 一寸御答致シマスガ、「コーンスターチ」ハ成程高級品デアリマス、隨テ從來ハ馬鈴薯澱粉等ニ較ベマスト、値段ガ高カッタノデアリマス、然ルニ朝鮮ニ「コーンフラワー」プロダクション」會社ナルモノガ出來マシテ、安イ原料ノ玉蜀黍ヲ使ヒ、優秀ナ技術ト、設備ト、豐富ナ資本デ以テ極ク安ク「コーンスターチ」ヲ生産シテ、内地ノ市場ニ出スコト、ナッタノデアリマスカラ、從來ノヤウナ高價ナモノデナクナッタノデ、馬鈴薯澱粉ガ非常ニ脅威ヲ感ズルコトニナッタノデアリマス、從來ハ「コーンスターチ」ハ食用ト云フヨリ工業用、綿布等ノ糊ニ用ヒラレテ居リマス、若干ハ食料ニ用ヒラレテ居リマスガ、併シ其食料ハ御話ノ如ク特殊ノモノデアリマシテ、高クテモ構ハナイト云フモノニ用ヒラレテ居ッタノデアリマス、然ルニ非常ニソレガ安ク供給セラレルコトニナッタ爲ニ、從來馬鈴薯ヲ用ヒテ居ッタヤウナ方面ノ用途ヲ侵スコトニナラントシテ居ルノデアリマス、現ニ既ニ最近ニ於テサウ云フ傾向ガ見エテ居ルノデアリマス、從來ト餘程趣ノ變ルコトニ此際ナッタ、ソレガ爲ニ將來ヲ吾ハ恐レテ此「コーン」ニ關稅ヲ課ケルコトニナッタ譯デアリマス

○高橋委員 將來ヲ恐レルト云フヤウ

ナ御言葉ガアリマシタガ、現在ニ於テハ左程大ナル消費ハ飴ノ方面ノ「コーンスターチ」ハナカラウト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、碎米等ノ飴ガ大部分ヲ占メテ居ル、次ニ内地ノ薯澱粉ノ飴、ソレカラ「コーンスターチ」ト云フヤウナ順序ニナル、私ハ數字ハ能ク記憶致シマセヌガ、二三年前、昨年邊リノ統計デアリマシタカ、頭ニアルノハ何デモ大キナモノハ三百萬貫、其次ニ八十萬貫後ハ「コーンスターチ」デアリマシタカ、三十五萬貫、サウ云フヤウナコトデアリマシテ、極ク僅カデアッタカト思フノデアリマス、是ハ何カ罐詰ニシテ、罐デ以テ數ヘテ居ルヤウデアリマス、或ハソレガ箱デアリマシタカ、ソコハ記憶致シマセヌガ、罐詰ノ罐ヲ標準ニシタカト思フ、何レニ致シマシテモ、左様ナ標準デアルト私共ハ記憶致シテ居ルノデアリマス、サウシテ私共ハ此薯ノ澱粉ト云フモノハ、唯他ニ代用サレルト云フ危險ガアルト云フヤウナ、高級ナ澱粉ノ輸入ヲ阻止スルト云フヨリハ、或ハ工業ノ發達ヲ阻止スルト云フヤウナ意味ヨリハ、寧ロ是ハ時代ノ需要ノ向上ト言ヒマス、サウ云フコトニ伴ッテ、是ハ別種ノ方法ヲ執ラナケレバナラヌモノデハナイカト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、此點ニ付テ農林當局ノ御意見ヲ

承リタイト思フノデアリマスガ、餘リ抽象的デ御分リニナリマスマイト思ヒマスカラ、モウ少シ質問ノ要點ヲ申述ベテ見タイト思ヒマス、即チ馬鈴薯デアルトカ、或ハ甘藷デアルトカ、之ヲ澱粉ニスルト云フヨリハ食料ニ其儘用ヒシムル、或ハ獨逸ガ嘗テ行ッタヤウナ工合ニ之ヲ乾燥致シテ、サウシテ貯藏ト運搬ノ便利ニスルト云フヤウナ方法デ以テ、ソレハノ獎勵方針ヲ立テラレト云フコトモ一ツ、ソレカラ北海道路ノ如キ所ニハ、特ニ斯ウ云フ意味ニ於テ、今日ニ於テハ奧地ニ於テ主ニ作ラレテ居ルヤウデアリマスカラ、交通ノ便宜ヲ圖ッテ、又鐵道ノ運賃ナドヲ極力保護ノ意味ヲ以テ引下ゲルト云フヤウナコトヲ致ス、サウシテモウ少シ運搬ノ便利ニサレタナラバ、態々手數ヲ掛ケテ馬鈴薯ノ澱粉ヲ作ラナクテモ、甘藷澱粉ヲ作ラナクテモ、引合フヤウニナルノデハナイカ、寧ロ茲ニ獎勵ノ方針ヲ置キ、茲ニ保護ノ方針ヲ立テラレルベキデアッテ、他ノ同種ノ品物ノミヲ壓迫スルト言ヒマシテモ、何時マデ經ッテモ比較的劣級ナ澱粉ノ製造業ナド、云フモノハ、私ハ發達ナドスベキモノデナイト、斯様ニ考ヘテ居ル、又之ニ從事シテ居ル所ノ農業者ノ保護ナドモサレ得ルモノデハナカラウカト考ヘラレルノデス、之ニ付テ御當局ノ

御意見ヲ承リタイト思ヒマス
○小平政府委員 現ニ「コーンフラワ
ープロダクション」株式會社ハ、「コー
ンフラワー」カラ飴ヲ造ッテ居リマシ
テ、其爲ニ恐ラク朝鮮ニ於ケル飴ノ製
造ト云フモノハ非常ニ打撃ヲ被ッテ居
ルコト、思フノデアリマス、内地ニ於
テモ、飴ノ製造ト云フモノハ「コーン
フラワープロダクション」會社ノ爲ニ多
年脅威ヲ受ケテ居ルコトデハナカラウ
カト思フノデアリマス、現ニ受ケテ居
ルト言ッテ飴業者ガ盛ンニ陳情シテ居
ルヤウナ次第デアリマス、ソレカラ馬
鈴薯澱粉ヲ其儘使ッタ方ガ、農家ノ爲ニ
利益ニナルト云フ御意見デゴザイマシ
タガ、勿論現在デモ、馬鈴薯、甘藷等
ガ其儘デ以テ相當費消サレテ居リマ
ス、併シ農家ノ經濟ト致シマシテハ、
其儘費消スルモノハ十分其儘費消スル
ノガ宜イノデアリマスガ、農家ノ收支
及ビ内地ニ於ケル小サナ工業トシテ職
ヲ授ケルト云フコトカラ申セバ、ヤハ
リ農産物モ、出來ルナラバソレニ加工
シテ消費ニ充テルト云フコトガ、農民
ニ利益ヲ與ヘ、或ハ農民ト同ジャウナ
中小階級ニ對シテ、一ツノ工業ヲ與ヘ
ルコトニナルノデアリマシテ、馬鈴薯、
甘藷ハ必ズシモ出來タ儘ヲ供給シタ方
ガ農家ニ利益ガアルト考ヘテ居リマセ
ヌ

○高橋委員 家庭工業ヲ農家ニ獎勵ス
ルト云フコトハ、私共モ結構ナコト、
思フノデス、併シナガラソレガ爲ニ大
ナル犠牲ヲ國家的ニ拂フト云フコト
ハ、是ハ考ヘナケレバナラナイ點デヤ
ナイカ、而シテ一面ニ於テ私ハ、大豆
モ關稅ハ今度ハ引上ゲニナラナイ、大
豆ノ我國ニ於テ、日用食料品トシテ、
其他ノ用途ニ於テ大切ナルコトハ申ス
マデモナイノデアリマス、農家經濟ニ
於テモ非常ニ重要ナモノデアリマス、
此大豆ノ保護ト云フコトヲ農林省ハ此
場合御考慮ニナラナカッタカ、少シモ關
稅改正ヲ通ジテ、之ニ對シテ御觸レニ
ナラナカッタト云フ理由ガ私ニハ分ラ
ナイノデアリマス、是等ノ問題ヲ考慮
スル上ニ於テ、大切ナ一ツノ要項ト私
ハ考ヘテ居リマスカラ、此點ニ對シ
テ御意見ヲ承リタイ
○小平政府委員 大豆ニ付キマシテ
ハ、輸入大豆ガ、農家ノ大切ナ肥料ニ
供セラレル關係ガアリマシテ之ニ付テ
ハ從來モ色々考慮ハ致シテ居リマス
ケレドモ、農業者自身ノ使フ貴重ナ農
業ノ原料ニナル關係上、慎重ニ考ヘナ
ケレバナラヌノデアリマシテ、今回ノ
關稅ノ改正ニハ其議ハ出サナカッタノデ
アリマス
○高橋委員 豆ヲ肥料ニ使フ、所謂大
豆粕ノコトヲ意味サレルノデアリマス

ケレドモ、大豆トシテ我國ニ消費サレ
ルト云フヨリハ、大豆粕ソレ自身トシ
テ滿洲方面カラ輸入サレル方ガ多イト
考ヘラレルノデアリマス、而シテ内地

ヨリ以上ノ餘裕ガ出テ來ルコトデアラ
ウト私共ハ考ヘルノデアリマス、此點
ニ付テハ如何デアリマスカ

云フコトハ、是ハ外國ノ小麥ニ壓迫サ
レタ、ソレト同ジ運命ヲ辿ッテ居ル豆類
ニ向ッテ何故同一ノ扱ヲサレナイノデ

テ居ルノデアリマス、殊ニ最モ農家ノ
疲弊困憊ノ甚ダシイ東北方面ニ於テ
ハ、福島縣ノ一部分ヲ除クノ外、小麥

ニ於テ食料トシテ豆ノ使ハレルコト
ハ、是レ亦夥シイノデアリマス、此大
ナル需要ガアリ、又栽培面積ニ於テ非

○小平政府委員 御説ハ御尤モノ御話
デアリマスガ、今私ノ方デ斯ウ云フコ
トヲ考ヘテ居リマス、農家ノ經濟ノ行

議サレテ居ル、新滿洲國トノ經濟ノ同
盟マデモ叫バレテ居ル今日デアアル、ソ
レデアアルカラシテ大豆ト云ヘバ滿洲ト

ノデアリマス、若モ此場合ニ於テ輸入
防遏ノ農作物ノ栽培ヲ獎勵サレルトス
ルナラバ、栽培面積ノ普遍的ナル大豆

常ニ廣イ、豆ヲ今日作レバ如何ナル土
地デモ無肥料デ我國ハ作リ得ルノデア
リマス、價格ノ點デ價ハナイカラ、農

ニハ、ドウシテモ輸入農産物ヲ増殖獎
勵シテ、ソレニ依テ農家ノ收入ヲ増加
スルト云フコトガ最モ適切ナルコトデ

御考慮ガアツタカ、ドウカト云フコトヲ
承ッテ置ク次第デアリマス

ニ全面的ノ注意ヲサレナケレバナラヌ
ニデアアル、全面的ニ、即時的ニ各種ノ
方策ヲ立テナケレバナラヌ場合デア

家ハ已ムヲ得ズ作ラナイノデアリマ
ス、農村ノ疲弊困憊ノ今日ハ、豆ヲ作
ルト云フコトハ、麥ヲ作ルト云フヨリ

一著手トシテ小麥ノ政策ニ手ヲ著ケテ
立案シタノデアリマス、今後豆其他各
種ノ主要農産物ニ付テ、内地デ生産ス

○小平政府委員 只今御答シタヤウニ
輸入農産物ノ中デ、國內デ増産シテ宜
イモノガ多々アリマスカ、今回ハ調査

ハ私共ハ賢明ナル農林當局トシテハ、
考ヘ得ラレヌノデハナカラウカ、ヤハ
リ滿蒙ノ經濟關係ニ思フ致サレテ、之

考ヘテ居ルノデアリマス、一方ニ於テ
小麥ニ非常ナ増稅ヲサレル、私共ハ是
ハ喜ンデ居ルノデアリマス、然ルニ豆

ス、先ヅ此臨時議會ニ提案シタ政策ノ
現レトシテハ、小麥ト茶ヲ考ヘタノデ
アリマス、其他豆ニ付テモ勿論十分考

ニ考ヘタ譯デアリマス、其他ノモノニ
付テハ、或ハ關稅問題トカ、増殖問題
ガアリマスカケレドモ、先ヅ今回ハ小麥

ハ對シテハ多少ノ遠慮ガアッタノデヤ
ナイカト、斯様ニ考ヘルノデアアル、若
シ斯様ナコトガアリトスルナラバ、將

モ此以前ノ改正ニ於テ、小麥ハ倍額ニ
ナッタノデアリマス、豆ハ其儘ニ据置カ
レタノデアリマス、サウデアリマスカ

○高橋委員 私ハ只今ノ小麥ニ付テ力
ヲ入レタ、輸入穀物ノ内地ニ於テ栽培
ノ獎勵ヲ爲サルト云フコトハ洵ニ當ヲ

出スマデニハ至ラナカッタノデアリマ
ス、併シ是ハ農林省ニ於テハ、豫算其
他ノ點デ差控ヘテ居ルノデアリマシ

來朝鮮ニ於テ發達シタル日本「コーンブ
ロダクト」カンパニー「ヤ、亞米利加ヤ
加奈陀ヤ、濠洲アタリノ外國カラ入ッテ

ラ其當時ト比較シテ見マスト、豆ト小
麥ハ非常ナ雲泥ノ相違ニナッテ居ルノ
デアリマス、成程豆粕トシテ農家ノ肥

得タコト、考ヘルノデアリマス、併ナ
ガラ輸入小麥ト申シマシテモ、是ハ以
前ニ於テハ非常ナ栽培反別ヲ持チ、又

答辯ヲ遺憾トスルモノデアリマス、御
承知置キノ通り、現今ニ於キマシテハ、
小麥ノ栽培區域ト云フモノハ限定サレ

ハ、十分ヤハリ大豆等ニ付テ、私共ガ遠
慮サレタト思ハレルヤウナ意思ガ茲ニ

家ノ肥料トシテ用ヒルヨリハ、硫酸其
他ノ窒素肥料ノ豐富ナル今日ニ於テ、
若モ豆ガ農家ニ於テ引合フ作物デア

年マデハ八百萬石ヲ超エル產額ヲ持ッ
テ居ッタ、ソレガ四五百萬臺ニ落チタト

ス

ハ、十分ヤハリ大豆等ニ付テ、私共ガ遠
慮サレタト思ハレルヤウナ意思ガ茲ニ

ラウト思ヒマス、農家ノ經濟ニ於テハ、

テ居ッタ、ソレガ四五百萬臺ニ落チタト

ス

ハ、十分ヤハリ大豆等ニ付テ、私共ガ遠
慮サレタト思ハレルヤウナ意思ガ茲ニ

照ラサレテ、サウシテ相當ノ御考慮ガアルカドウカト云フヤウナコトモ承ッテ置キタイト思フノデアリマス

○小平政府委員 度々御答スルヤウデアリマスケレドモ、特別ニ滿洲ノコトヲ考ヘタ爲ニ、小麥以外ノ輸入農産物ノ増殖ヲ手控ヘタト云フノデアリマセヌ、此臨時ノ議會ヲ對シテハ、小麥ト茶ノ輸出獎勵ニ付テ、豫算ヲ要求シタノデアリマス、其他ノモノハ出來ルダケ最近ノ機會ニ於テ、各種ノ輸入農産物ニ付テ一齊ニ之ヲ増殖スルヤウナ計畫ヲ立テタイト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、別ニ滿蒙ノ問題トカ、ソシテ居リマセヌ

○高橋委員 將來滿洲移民ガ發達ヲ致シマシテ、滿洲ノ農業ガ開發サレル時分ニハ、高粱トカ、玉蜀黍トカ云フ方面ノモノガ、私ハ増殖サレルコトハ當然ダラウト思フノデアリマス、其曉ニ於テ、是ハ遠キ將來デヤナイ、一二年ノ後ナノデアアル、最モ栽培ノ容易ナ作物デアアル、人ガ入レバ必ズ斯ウ云フモノハ直ニ出來得ルノデアリマス、他ノ米作トカ、或ハ小麥デアルトカ云フモノトハ、多少趣キヲ異ニスル作物デアノデアリマス、ソレデアリマスカラ私ハ豐富ナル原料ガ、滿蒙ノ天地ニ得ラレルト思フノデアリマス、サウ云フ

モノガ朝鮮ニ輸入サレテ、而シテ此ノ問題ニナツテ居ル「コンプロダクト」カ「シバニ」ノ原料トシテ取扱ハレル場合ニモ、ヤハリ同ジ見地ヲ以テ、重税ヲ是等ノモノニ課ケラレル、斯ウ云フ御意思デアアルカドウカト云フコトヲ承ッテ置キタイト思フノデアリマス

○小平政府委員 滿蒙ト内地トノ關係ニ付キマシテハ、今後ノ大キナ日本ノ政策問題ニナリマスノデ、是ハ私カラハ御答ヲ遠慮シタイト思ヒマス

○高橋委員 政府當局ノ他ノ誰方デモ、大藏當局カラデ宜シウゴザイマシテ、大藏當局トシテ、滿蒙ノ問題ニ對シテ答ヘナケレバナラヌト云フモノデモナイト思ヒマス、併ナ

ガラ只今大藏當局カラト云フ御話デアリマシタカラ、一應私ノ考ヘテ居ルコトダケヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、只今農務局長カラ御話ノヤウニ滿蒙ノ產物ヲ如何ニ取扱フカト云フ問題ハ、

是ハ非常ニ大キナ問題デアリマシテ、是ハ高橋サンモ御承知ノ通り、滿蒙自體ノ國家ガ一體ドウナルカ、ドウ云フ風ニ日本トシテ見ルカト云フ一ツノ大キナ問題ガアルダラウト思フ、次ニ此國家ガドウナリマシテモ、滿蒙自體ノ關稅政策ガドウ云フ風ニナルカト云フコトガ、次デ起ル問題デヤナカラウカ、又其次ニ滿蒙ノ關稅政策ト、日本ノ關稅

政策トガ、ドウ云フ工合ニナルカト云フ風ニ、色々複雑シタ重大ナ困難ナ問題ガ起ルデアラウト思フ、サウ云フ場合デアリマスカラ、只今ノ所デハ、ヤハリ現在ノ滿蒙ヲ考ヘマシテ、只今農務局長ガ答ヘラレマシタヤウニ、或ハソレトモ近い將來ニ、何カ確然タル御方針ガ立ツカモ知レマセヌケレドモ、只今ノ所デハ、而モ此臨時議會ノ極ク僅カナ期間ニ提出サレマス場合ニ於キマシテハ、農務局長カラ御答申上ゲタ風ニ、御答辯スルヨリ外ハナイカト存ジマス、ソレダケチヨット御參考ノ爲ニ申上ゲテ置キマス

○高橋委員 只今大藏當局ヨリ御答辯ヲ承リマシテモ、農林當局ヨリ御答辯ヲ承リマシテモ、今回ノ改正ハホンノ臨時議會ニ提案スル間ニ合セノ案見タイニ考ヘラレルノデアリマス、此經濟變革ノ後ヲ承ケテ、大キナ混亂ニ陥ッテ居ル、此經濟界ヲ律シ、殊ニ我國ノ萎靡沈滞ヲ極メテ居ル、産業ヲ振興セシムルト云フ意味ニハ、私共ハ慍ラナイ點ガ幾多モアルノデアリマス、而シテ中島商工大臣ノ昨日ノ御答辯モ承ッテ見マスト云フト、何カ問題ニナツテ居リマスル伸縮關稅ナドヲ考ヘテ居ラレルヤウニモ思フノデアリマス、併ナガラ是等ノコトハ隨分大キナ問題ニナツテ居ルノデアリマシテ、殊ニ是等ノコ

トハ諸外國ニ於テモ廢メヨウト云フヤウナ議論ノ多イ今日デアッテ、新シク我國ニ於テ之ヲ他ノ例ニ倣ッテ——或ハ日本獨創ノ別ナコトモアルダラウガ、兎モ角モ立法院ノ權能ヲ行政府ニ移シテ、行政府デ以テ自由ニ關稅ノ上ゲ下ゲヲヤラウト云フヤウナコトニ付テハ、立法院トシテハ隨分議論ノアルコトデアラウト思フノデアリマス、殊ニ關稅ハ外國トノ經濟關係ニ律セラレ、亞米利加ノ經濟狀態ナドハ、朝夕ヲ測リ得ラレナイヤウナ狀態ニ今日ハナツテ居ル、亞米利加ガ金ノ再禁止ヲ致スデアラウト云フコトハ痴人ノ夢ダナドト言ッテ馬鹿ニシテ居ラレナイダラウト思フノデアリマス、斯ウ云フ事實ヲ前ニ致シテ、關稅競爭ノ激烈ナル今日、之ニ對應スル方策ト云フモノハ絶エズ講ジナケレバ、我國ノ産業ト云フモノハ立行カナイト吾々ハ考ヘルノデアリマス、斯ノ如キ場合ニ於テ、政府當局ハ來ルベキ次ノ機會ニ於テト云ハレルノハ、若モ經濟上ニ變動ガアリマシテ、例ヘバ亞米利加ノ金ノ輸出禁止ガ事實トナツテ現ハレタト云フヤウナ場合ニハ臨時議會ヲ召集シテ、而シテ、關稅政策ノ立直シヲ御講ジニナルノカ、ソレトモ次ノ機會ト云フノハ、通常議會ノコトヲ意味サレルノデアアルカ、是ハ農林當局ヨリ發セラレタ言葉

デアリマスケレドモ、大藏省トノ御打合ノ結果ナリト私共ハ考ヘル、商工省トモ御打合ノ結果ナリト私共ハ考ヘルノデアリマス、是等ニ對シテ御所見ヲ承リタイト思フデアリマス

○中島政府委員 只今ノ高橋サンノ御尋ハ、非常ニ重大ナル問題デアリマシテ、今後關稅政策ヲドウスルカ、次ノ議會迄待ツノカ、或ハ其中間ニ臨時議會デモ開イテ、其場合ニ提案スルカト云フ御話デアリマシテ、是ハ私共トシテハ、實ハ御答ヘ致シ兼ねルノデアリマス、大藏大臣ナリ、ソレトノ事務當局デナクシテ、モウ少シ責任アル地位ノ方カラ御答辯アッタ方ガ適切デアラウト思ヒマス

○高橋委員 只今ノ御答辯ニ對シテハ、他ノ大臣ノ御出デニナッタ時分ニ重ネテ御答辯ヲ願フベク、私ノ質問ハ簡單デアリマスルカラ、ドウカ其旨ヲ各大臣ニ向ッテ御申傳ヘテ願ッテ置キタイト思フデアリマス

○倉元委員 私之ニ關聯シテ一言申上ゲタイト思フ、今ノ高橋君ノ御質問ニ關聯致シマシテ、同様ノ希望ニナリマスケレドモ、滿洲國ノ現狀カラ見マシタ今ノ政府委員ノ御答辯ハ、無理カラヌコトダト思ヒマスシ、又其程度ノ御答アルコトガ至當ト思ッテ居リマス、私モ高橋君同様ニ、是ハ關係各省、外務

省、拓務省、商工省、農林省、此關係ノ各省ノ國務大臣ガ御協議ニナッテ、將來ニ對スル對策ニ付テハ、餘程慎重ニ御考ヘノ上ニ、此委員會ニ御聽カセテ願ヒタイ、滿洲國ノ將來ト云フモノハドウナルヤラ分ラヌ、謂ハ、不離不即ノヤウナ立場デアッテ、今之ヲ確然ト、我國ノ方針ヲ斯ウ持ッテ行クト云フコトハ言ヒ難イ、サウ云フ通ゲ言葉デナク、是ハ判然シテ居ル、滿洲國ト云フモノハ、此處マデ押詰メタ以上ハ、完成ヲ告ゲサセナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ一般國民ノ要望スル所デアリ、軍部ガ又押切ッテ行クト云フ希望ヲ有ッテ居ル、シテ見レバ、是ハ唯時間ノ問題デアル、或ハ來月ニモ完成スルカモ知レヌ、半年後ニ完成スルカモ知レヌ、又國民ノ輿論ハドウ大勢ガ向イテ居ルカタ申シマス、モウ是ハ獨立ノ立派ナ國家トシテ之ヲ承認スベシト云フコトニ國論ハ一致シテ居ル、斯ウ云フコトカラ考ヘマスル、此我國ノ八千萬國民ト、滿洲國ノ三千萬民衆トノ經濟關係ヲ結び付ケル所ノ關稅ノ關係ト云フモノハ、重大ナル吾々國民ノ生活ノ上ニ影響ヲ及ボス問題デアリマス、ソレデアリマスカラ、共存共榮ヲ期シテ、眞ニ新滿洲國ト親善ヲ圖ッテ行クト云フナラバ、如何ニ此關係ヲ扱ッテ行クベキカト云フコトハ、其時ニナッテ

考ヘルベキ問題デナイ、今日之ヲ考慮シテ置ク問題デアラウト思フ、大體ノ政府ノ方針ト云フモノハ、此非常經濟ニ處スル今日ノ當面ノ問題トシテモ、逸スベカラザル、考究スベキ問題ト私共ハ考慮シテ居ル、デアリマスカラ今私ノ注文ハ、關係各省ノ主管國務大臣ガ御寄リニナリマシテ、慎重ニ御協議ノ上デ、此委員會ニ大體ノ方針ヲ御發表ヲ願ヒタイト思フデアリマス

「贊成々々」ト呼フ者アリ

○東委員長 杉本國太郎君

○杉本委員 私ハ木材ノ關稅改正ニ對シマシテ、一言質問ヲ致シタイト思ヒマス、質問ニ入ル前ニ、先刻樺太長官、及拓務大臣、若クハ次官ノ御臨席ヲ御願ヒ致シタイト云フコトヲ、委員長迄御願ヒシテ置キマシタガ、今ドナタカ御臨席ニナッテ居リマスカ——木材ノ關稅改正ニ付キマシテハ、素ヨリ本員ハ反對致シマセヌガ、先般大藏大臣ハ委員會ノ際、ドナタカラカ質問ヲ致シマシタ時ニ、關稅ヲ改正致シテ一千六百萬圓餘モ増稅スルノデアアル、即チ増稅デナイカト云フ、斯様ナ質問ヲ發シマシタ時ニ、是ハ増稅デナイ、即チ内地ノ產業ヲ助長保護スル爲ニ、關稅ノ改正ヲ圖ッタノデアアル、ソコニ偶々收入ガ一千六百萬圓モ起ッテ來タノデアアルカラ、是ハ洵ニ結構ナル所ノ副產物デア

ルト云フヤウナ御答辯デアリマシタ、素ヨリ關稅收入ヲ得ンガ爲デナク、即チ產業保護ノ爲ニ關稅ノ改正ヲ行ツタノデアアル、斯様ナ見地カラ見マシタラバ、此木材ニ對スル關稅ノ改正ヲ致シマス、云フコトガ、山林產業、即チ木材產業ノ爲ニ適切ナル是ガ保護助長デアアルカト云フコトニ對シテハ、本員ハ甚ダ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、素ヨリ其關稅ノ改正ニハ反對致シマセヌガ、モウ一步進ンデ適切ナル方法ガアリハシナイカト云フコトヲ質問致シテ見タイト思ヒマス、今日ハ農村、漁村ノ疲弊困憊ニ陷ッテ、如何トモスルコトガ出來ナイ、是ハ救済シナケレバナラヌ、此疲弊ヲ打開セナケレバナラヌト云フコトハ、舉國內閣ノ數々ノ政策ノ中デ最も是ガ重キヲ爲シ、生命トシテ居ルヤウニ思ヒマス、其時ニ於キマシテ、木材ハ山村ニドウ云フ影響ガアルカ、斯様ニ申シマス、何レモ木材ノ出マス所ハ山村ニ決ッテ居ルノデアリマス、ソレデ先般中島先生カラモ御質問ガアリマシタガ、詳シイ數字ニ依ル譯デハアリマセヌガ、私ノ觀測ヲ致シマス所ニ依リマス、内地建築材ガ、一年ニ少クモ五十萬石ヲ、此不況ノ時代デモ要スル、其中デ民間ノ所有材ヲ年々斫伐シテ賣拂ッテ居ルモノガ少クトモ三千萬石アル、斯様ニ三千萬石

ハ日本全國ノ山村カラ年々斫伐シテ金ニ換ヘナケレバナラヌト云フ、即チ山村ノ最重要ナル所ノ副業デアリマス、然ルニ現在ハ其價格ガドウナッテ居リマセウカ、實ニソレハ價ガナクナッテ、搬出等ニ不便ナ處ニ存在シテ居リマス立木ノ如キハ、殆ド山代金ヲ一錢モ得ルコトハ出來ナイ、唯無償デ材木商ニ遣レバ伐ッテ行クト云フヤウナ状態ニナッテ居ル、ソレデハ運搬ノ便利ノ好イ處ニアルモノハドウデアアルカト云ウタラ、大正二年若クハ三年ノ、最低物價不況ノ時代ヨリモ、尙且ツ其材木ニ價值ガ無イト云フコトニナッテ居ル、先ヅ針葉樹即チ、杉材、松材ノ如キモノハ、少クトモ細イ丸太デモ伐出シテ金ニシヨウト云フ迄ニナッテ居ル、建築材ノ丹精ト云フモノハ、大變ナモノデ、四十年若クハ五十年、六十年ノ歲月ヲ經ナケレバ使用ニ適シナイ、斯様ニ丹精ヲ致シマシタ所ガ、此不況ノ場合金ニナラナイ、又副産物ヲ以ッテ金ニ致シタイト思ッテモ、是モ殆ド値ガナイ、斯様デアッテモ幾ラデモ金ニナレバ此場合金ニシタイ、斯様ナ見地カラ三千萬石、安クトモ斫伐シテ成行デ賣拂ッテ居ルト云フ状態ニアルノデアリマス、又後ト二千萬石ノモノハ、國有林、或ハ御料林、或ハ内務省所管ノ北海道、ソレカラ樺太、斯様ナ處ニ求

メテ居ルノデアリマス、其他材等ノ輸入材ガアリマスガ、其米材其他ノ輸入材ニ對シテノミ聊カ關稅ノ改正ヲシテ賦課シタ所デ、總體的ニ林産物ノ値段ヲ引上ゲルト云フコトハ到底出來ナイ、然ラバ如何ナル方法ニ依テ此値段ヲ引上ゲテ維持スルコトガ出來ルカト云ウタナラバ——一面ニ斯ノ如キ暴落ノ原因ガアルト私ハ思ウテ居ル、御承知ノ如ク樺太ハ特別會計デアアル、其樺太ノ財源ト云フモノハ、主トシテ山林ニ求メラレテ居ル、其山林收入ト云フモノヲ樺太ノ唯一ノ財産トシ、財源ニシテ居ル、之ノ島外移出ノ石數ガドレ位出ルカ、先般民政黨ノ中島先生カラ、オ化ケノヤウナ、幽靈ノヤウナ木デアルト言ハレタ、立木一石ノ斫伐ノ實際ノ石數ハ六掛デアルトカ、或ハ七掛ト云フ風ニ、斫伐シタ時ニハ減石サレルノデアアル、ソレハ施業案計畫ヲヤッテ居リマスカヤッテ居リマセスカ分リマセヌガ、表面ハ島外移出ハ澤山シナイヤウニ言ウテ、實際ハ島外移出ヲシテ居ル、ソレハ一千萬石ニ近イヤウナモノヲ島外ニ移出サレテ居ル、是ハ樺太廳ハ此材木ヲ賣拂ッテ、サウシテ樺太ノ財源ニシナクテハナラヌカラ、ドウシテモ此材木ヲ安クナッテモ已ムヲ得ナイカラシテ、賣拂ッテ財源ニシナケレバナラスト云フ立場ニアルノデアリマス、

内地木材ガ斯ノ如クニ安クナッテ來ル原因ハ、一樹種ノ樺太材ガ、年々一千萬石モ此不況ニモ拘ラズ、島外移出ヲ致スコトガ大ナル原因デアルト云フコトハ、決シテ疑ヒナイノデアリマス、故ニ樺太ノ斫伐ヲ假ニ一千萬石ト見マシタモノヲ、其六掛位ニ制限スルト云フコトニナリマシタナラバ、無價值ナル所ノ民有林ハ値段ガ幾ラカ上ッテ、サウシテソレヲ賣拂ッテ不況ノ場合ニ助カラウト云フコトニナルカラ、是ハ山村ニ大キナル影響デアアル、併ナガラ一面ニ樺太廳ハ、其材木ヲ賣拂ッテ財源ニシナケレバナラヌモノヲ、過伐ノ制限ヲサレタト云フコトニ對シテハ、樺太ハ行立タナイト云フコトガ樺太ニ於テ起ルコトハ當然デアアルノデアリマス、茲ニ於テ私御尋ネ致シタイノハ、拓務省ノ方針ト致シマシテ、樺太ニ幾許ノ國庫補助ヲ致シテ居リマスカ、今假定的ニ一千萬石ノ木材ノ移出ヲ制限シ、六百萬石ヲ島外ニ移出致シ、四百萬石茲ニ減伐サレルコト、ナルト、其四百萬石ナルモノハ、一石ノ原價ヲ五十錢ト致シマシテ二百萬圓トナル、此二百萬圓ト云フモノハ、樺太廳ノ木材賣拂收入ニナルノデアリマスカラ、此二百萬圓ト云フ金ガ何處カラ出テ來レバ、樺太廳デハ此減伐ヲ強ヒラレルノモ決シテ苦シクハナイ、寧ロ其方ガ非

常ニ樺太廳トシテ利益デアアル、千古不伐ノ大森林モ、濫伐ヲ致セバ忽チ其山ハ禿山トナリ頽廢シテシマフノデアリマス、成ベク其森林ノ保護ヲ致シタイケレドモ、財源ヲ求メナケレバナラヌカラ、已ムヲ得ズ伐ッテ行ク、然ラバ四百萬石制限ニ依ル二百萬圓ノ金ガ別ニ出所ガアレバ洵ニ結構ナコトデ、減伐ヲ致スト云フコトモ、誓ッテ其制限ニ服從スルコトガ出來ルノダト私ハ斯様ニ考ヘルノデアリマス、然ラバ政府ガ直接二百萬圓ノ樺太ニ對スル國庫補助ヲ致スト云フコトニナッテナラバ、ドノ位木材、即チ山林ヲ賣拂フ人ガ利益ガアルカ、サウナッテ來ルト、五千萬石ノ賣拂ニ對シテ、石二圓ノ値上リガシタラ、一億圓忽ニシテ利益ガ出テ來ル、二百萬圓ノ國庫支出ヲスレバ、是ダケノ大キナ影響ガアルト云フコトナラバ、洵ニ以テ關稅ノ改正ヲ圖ッテ、此内地山林事業ノ救済ヲ致スコト、比較シテ見タナラバ、ドノ位效果ガアルカト云フコトハ、オ話ニナラヌ程效果ガアルノデアリマス、樺太廳ガ拓務省カラ減伐ノ條件トシテ二百萬圓デナク、假ニ百萬圓出シテ貰ッテモ大シタモノデアアル、斯様ナ僅カナ國費ガアレバ、農村ノ不況ヲ打開スル所ノ根本、現内閣ガ生命トシテ此事ニ重キヲ置キ、又吾々議員ハ黨派ノ別ヲ問ハズニ、此農村ノ不況ヲ

打開シナケレバトラス、如何ナル方法ヲスレバ宜イカ、宜イ方法ハ澤山アルケレドモ、國費多端ノ場合ニ出費ガ出來ナケレバ、是モ打開スルコトハ出來ナイ、斯様ナ狀態ニ及ンデ居ルノデアリマス、此秋ニ於キマシテ、只今申上

デナクシテ、其實際問題ニ對シテ、ドウカ眞面目ヲ御意見ヲ聽キタイノデアリマス、又拓務省ノ方ニ於カレマシテハ、斯様ナ問題ニ對シテハ私ノ質問ニ對シテドウ云フ御考ヲ持ッテ居ルカラ、眞面目ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○岸本政府委員

御答致シマスガ、樺

タナラバ、樺太廳ハソレデ却ッテ濫伐スル所ノ森林ヲ保存スルコトガ出來、向フヘ繰延スコトモ出來、又内地ノ農山村ニ及ブ所ノ影響モ甚大デアル、更ニ又政府ノ收入ハドウデアルカト云ヘバ、即チ國有林賣拂、御料林賣拂、道廳所管ノ北海道森林賣拂ニ對シテハ、是亦大キナ影響ヲ及ボスモノデアッテ、是ハ實ニ唯一片ノ私ノ質問デナク、私ハ新米代議士デスカラ、言葉ガ惡クテ話ハ下手デアリマスケレドモ、實際ニ行ッテ居ル所ノ仕事ノ影響如何ト云フコトニ付テ質問ヲ致シテ、最後ニハドウカ滿場一致デ此事ノ實行出來ルヤウナ方向ニ皆サント一緒ニ進ンデ行キタイト云フヲ以ッテ、左様ナ質問ヲ致シテ居ルノデスガ、此質問ニ對シマシテ、第一番ニ樺太長官ノ減伐ヲ致スト云フコトニ對シテ、其財源ノ出處ガアレバ、私ノ質問ニ對シテ體裁ヨク一蹴シテ、「デリケート」ナ答辯ヲスルト云フコト

太ノ山林ガ伐リ過ギテ居ル、濫伐デア

百萬石ト云フ大キナモノニナリマシテ、樺太廳ノ拂下ノ材積ト云フモノヲ取ッテ考ヘテ見マスルト、非常ニ大キナモノガ出テ參ッテ居ルノデアリマス、斯様ナ現象ガ起ッテ居ルト云フ原因ハ何處ニアルカト云フコトハ暫ク茲ニ措キマシテ、兎ニ角事實ト致シマシテ、率直ニ申上ゲマスレバ、斯様ナ莫大ナル立木ガ伐採サレテ居ルト云フコト、今後恐ラク僅カニ十年内外ニシテ彼ノ地ノ山林ヲ伐リ盡スト云フヤウナ結果ヲ起シハシナイカト云フコトヲ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデドウシテモ是ハ一ツノ制限ヲ置カナケレバナラヌ、斯様ニ今日伐採シテハナラヌト云フコトノ考ヲ持チマシテ、最近此方面ニ熱心ニ調査ヲ進メマシタル結果、將來ニ於テハ島外移出ニ對シテ十分ナル制限ヲ加ヘ先ヅ以テ本年カラシテ制限ヲ致シマシテ、本年度ハ大體島外ニ出スモノハ八百萬石、大體ノ見込ヲ申上ゲルノデアリマスガ、明年度ニ於キマシテハ、凡ソ五六百萬石程度ト云フ風ニ、漸次之ヲ制限致シマシテ、昭和十四年頃ニナリマスレバ、凡ソ百萬石位ニ島外移出ト云フモノガ減ズルノデハナカラウカト思ッテ居ルノデアリマス、

石乃至八十萬石トシテ、官行斫伐ヲ百萬石、斯ウ云フ風ニ考ヘマスルト云フト、今後ニ於キマシテハ、一箇年ノ伐採ガ凡ソ二百萬石、少イ年ニナリマス

來ニ於テハ繰返サナイト云フコトヲ玆ニ率直明白ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○杉本委員 樺本長官ハ洵ニ率直ニ御

話ガゴザイマシタガ、今後ハ樺太森林ノ荒廢ヲ非常ニ憂ヘテ居ル、既ニ三億八千萬石位シカ總材積ガナイ、ソレニ對シテ島外移出ガ千萬石、千二百萬石、ソレカラ「バルブ」ノ原料ニ多量ノ擇伐ヲ致ス、斯ウナルト樺太ノ無限ノ森林モ、十年カ十五年位ニシテ荒廢スルト云フコトハ私共心配シテ居ル以上ニ御心配爲サレテ居ルノデアリマス、其點ハ能ク分リマシタガ、歷代ノ樺太長官ハ、此山林ヲ計畫ヲ立テ、丹精シテ行カナクテハイカヌ、無限ノ森林モ濫伐ハ禁物デアアル、斯様な風ニ言ウテ居リマスケレドモ、今年ハ島外移出ヲ少クスル、斯様な言葉ハ聞キマスケレドモ、此年度ガ終ッテ、島外移出ノ數量ヲ調べテ見マス、相モ變ラズ相當大キナ數量ガ島外ニ移出サレテ、サッパリ島外移出ノ減額ノ事實ガナイ、斯ウナッテ居リマスガ、現内閣ニ於カレマシテハ、府縣知事及植民地長官等ヲ矢鱈ニ取替ヘルコトガナイカラ、只今ノヤウナ御方針ノ下ニヤラントスレバ、長官ノ下ニ行ッテ行クノデアリマスカラ、萬違算ハナイコトデアラウト思ヒマスガ、從來ノ例ニ依リマス、年々島外移出ハ減

ラスンダ、少クスルンダと言ッテ、後カラ化ノ皮ガ現ハレテ來ルト云フヤウナ風ニ、是ハ弘法サンノ木見タヤウデ、伐ッテモ伐ッテモ出テ來ルト、先般中島先生カラモ言ハレテ居ッタデアリマス、斯様な御見地デアルトスレバ、私共ハ安心シタヤウナ氣持ニナリマスタガ、併ナガラ長官ハ來年邊リカラハズツト減ル、又其來年邊リカラハ段々減シテ行ク、徐々ニ減シテ行クト云フヤウナ御話デアリマシテ、是ハ又心許ナイ、此臨時議會ニ於キマシテ、モウ少シ率直ニ減伐ヲ致シ、島外移出ヲモット減ズルト云フコトニ對シテハ、樺太ノ財源ト云フモノニ對シテ缺陷ヲ生ジナイカ、御困リニナラナイカ否カ、此處デソレヲドウシヨウト云フノデアリマセヌケレドモ、玆ニ非常ナ惱ミガアルト云フコトニ對シテハドウ云フ御考ガアルカ、其御考ニ對シテハモウ少シ率直ニ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○岸本政府委員 果シテ伐採ヲ減ズル

コトガ出來ルカドウカト云フ點ニ付テ御疑問ガアルヤウデアリマスガ、今日ノ樺太材ガ洪水ノ如ク内地ニ出テ參ッテ、内地材ヲ壓迫スルト云フノハ種々ナル原因ガアリマセウガ、其一ツノ原因ト考ヘマスルノハ、今日マデ樺太ニ於テ單價ヲ劃一的ニ定メルト云フコトヲ繼續シ來ッタト云フコトガーツノ原

因デハナイカト考ヘルノデアリマス、搬出ノ便否如何ヲ問ハズ、材質ノ良否如何ヲ問ハズ、島内使用材デアレバ、一石六十五錢、島外ニ出スモノデアレバ、六十五錢ノ三割増ト云フヤウナ、劃一ナル單價稅ヲ取ッテ來ッタト云フコトガーツノ原因ナノデアリマス、何故カト申シマスレバ、斯様な單價ヲ定メタノハ昭和二年デアリマスルガ、爾來財界ノ不況ニ伴ヒ、漸次材價モ下落シテ參リマシタニ拘ラズ、此單價ヲ繼續シテ來マシタガ爲ニ、實際ニ賣拂ノ局ニ當リ、調査ノ局ニ當リマス所ノ吏員ガ、到底引合ハナイモノヲ無理ニ押付ケナケレバナラヌト云フヤウナ事情カラ、毎木ノ實地ノ調査ヲ寬大ニ致スト云フコトガ必ズアリ得ルコトデアアル、斯様ニ考ヘレバ、ドウシテモ單價ヲ改正スル必要ガアルト云フコトカラ、將來ニ於キマシテハ、此單價ヲ其拂下ゲノ場所ニ依テ個々ニ之ヲ算定スルト云フコトニ本年度ヨリ改メルコトニ致シタノデアリマス、又是マデノ拂下ゲノ調査ノ方法ト云フモノニ缺陷ガアッタノデアリマス、人手ガ少イ爲ニ、買受人ノ側カラ人夫ヲ出サセマシテ買受人ガ出シタ所ノ人夫ニ依テ毎木ノ調査ヲサセルト云フヤウナ、甚ダ不完全ナル遣方ヤッテ來ッタノデアリマス、是モ亦出材ノ正確ヲ期スル所以デハナ

イト考ヘマスルガ爲ニ、本年度ヨリ此賣拂ノ調査ニ使用シマスル所ノ人夫ハ、悉ク之ヲ樺太廳ノ傭上ゲノ人夫ニ致スト云フヤウニ改正ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、更ニ又此監督ヲ嚴重ニ致シマスル爲ニ、本廳ヨリ實地ヲ監査スル所ノ者ヲ屢ニ派遣ヲ致シマシテ、果シテ正確ニ調査ヲシ、引渡シヨシテ居ルカト云フコトヲ勵行シヨウト考ヘテ居リマス、更ニ又從來ト異ナリマシテ、引渡シニ付キマシテハ、毎木ニ付テ調査ヲ致シ、毎木ニ檢印ヲ打チマシテ、嚴格ニ引渡シマスル所ノ證據ヲ明ニ致シタイ、斯様な種々ナル方法ヲ採リマシテ、是非トモ今年度ヨリ拂下ゲマシタ所ノ材積ト、實際ニ伐出サレマス所ノ材積トガ、餘リ大ナル喰違ヒノ無イヤウニ致シタイト云フコトニ付キマシテハ、林務ノ當局モ非常ナル決心ヲ以テ掛ッテ居ルヤウナ次第デアリマスルカラ、決シテ御懸念ノヤウナ點ハナカラウト思ヒマス、ソレカラ資源ニ付テ申上ゲマスルガ、今日急激ニ伐採ヲ減ズルト云フコトニナリマスルト云フト、兎ニ角彼ノ樺太ニ於キマシテハ、人口三十萬ノ大部分ノ人ト云フモノガ、直接間接此林業ニ依テ衣食ノ資ヲ得テ居ルノデアリマス、是等ノ人ニ對シテ大ナル打撃ヲ與ヘルコトニナリマスルノデ、急激ナル縮小ト云フコトハ困難デ

アリマス、困難デハアリマスルガ、兎ニ角從來ノ濫伐ヲ玆ニ防ガナケレバナラヌト云フコトニナリマスレバ、實際ニ伐採サレマシタモノヨリハ遙ニ減少スルト云フコトハ已ムヲ得ヌコトデアリマスルガ、引渡ヲ嚴格ニ致シマシテ、之ヲ其見込ノ單價ニ依テ考ヘテ見マスル時ニ、只今ノ見込ニ於キマシテハ、收入ノ上ニ急激ニ大ナル缺陷ヲ生ズルト云フコトハナカラウト云フ見込ヲ持ツテ居ルノデアリマス、假ニ一例ヲ申シマスレバ、此昭和七年ノ森林收入デハ凡ソ千百萬石許リヲ見込デ居リマス、ソレデ豫算ノ七百三十六萬圓ハ上ゲ得ルデハナカラウト云フ見込デ今進行シテ居ルヤウナ次第デアリマス、而シテ將來ニ於テ千萬石乃至千二百萬石ノ見込ヲ持ツテ居ルト云フコトニ致シマスレバ、此收入ノ減ズル所ハ、之ヲ彼ノ地ノ租稅收入ナドニ求メルコトハ出來マセヌ、ドウシテモ歸スル所ハ一般會計カラノ補充金ニ仰ガナケレバナラヌト云フコトニハナリマスルガ、敢テ積極的ニ彼ノ地ニ新ナル經費ヲ要スル事業ヲ起サナイ限リハ、恐ラク多額ノ補充金ノ増額ヲ求メズシテ、將來支辨シ得ルノデハナカラウト云フコトノ見込ヲ今日ハ有ツテ居リマス、併ナガラ此點ニ付キマシテハ尙ホ十分調査ヲ致サナケレバナラヌト考ヘテ居ルヤ

ウナ次第デアリマス
○杉本委員 蛇足ノヤウデスガ、モウ一度質問シマシテ長官ノ答辯ヲ煩シマス、減伐ノ趣旨ト致シマシテ、今後綿密ナル調査ト、ソレカラ價格ノ引上ノ點ニ重キヲ置ク、斯様ニ仰シヤラレテ居リマスルガ、ソレモ目的ノ一助デハアリマセウガ、私ハ樺太廳ハ先ニ賣拂契約ヲナシテ居ッテ、年々斫伐ヲ幾ラツツカスルト云フ、詰リ賣拂山林ニ對スル事業ノ方針ヲ、特ニ契約ニ許シテアルヤウニ思フノデスガ、ソレ等ノモノガ幾多アル、今度ハ樺太廳ガ値ヲ上ゲ、即チ林産物ノ市價ヲ改メルト云フ方針ノ下ニヤッテ行クノデアルトシタ時ニ、唯今後賣拂ノ値段ヲ改メ、ソレカラ賣拂所ノ調査引渡ヲ嚴密ニヤッテ見タ所デ、先ニモウ出來テ居ル所ノ契約ガアレバ、ソレヲ見越シテドン／＼伐ッテ行ケバ、アナタ方ノ防ガントスル所ノ裏面ニハ、別ニ法律ニ抵觸シナイデ以テ、ドン／＼斫伐モヤレ、又島外ニ本年モ一千萬石ト云フモノガ現ハレテ來ハシナイカ、是等ノコトモ御考ヘニナツテ居ルカドウダカ、山代金ハ既ニ納濟ニナツテ居ル人モアリマスシ、更ニ年度契約ニ依テ、斫伐ノ數量ヲ決メテ居ル者モアリマセウシ、全然新シク賣拂ヲ爲サヌト云フコトデハ、廳ノ豫算ニ非常ナ困難ヲ來スヤウナコトガ伴ッテ

來ハシナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、私共ハ一歩進ンデ是ハ先ノ契約ガアツテモ、何デモ詰リ島外移出者其者ニ、何カノ方法ニ依テ十分監督ヲシテ行ク、賣拂ノ方面、處分スル方面ニノミ根據ヲ置イテ減伐ヲシヤウト云フコトデナク、ソレト共ニ島外ニ積出サントスル方法ニ對シテ、移出額ヲ取締ル方ヲ、モツト積極的ニ考ヘネバ實行ノ出來ナイコトデアラウト云フコトヲ心配スル、ソレ等ノコトニ付テ、ドウ云フ御考ヲ有ツテ居リマスカ
○岸本政府委員 現在年期賣拂契約ノモノハ、凡ソ昭和十四年頃迄ニ全部終了シテシマフヤウナコトニナルデアリマシテ、此年期賣拂契約ヲ計算ノ内ニ入レマシテ考慮シマシタ所デ、先刻申上ゲマシタルヤウニ、將來ノ島外移出ト云フモノガ十四年ノ頃ニハ一年ニ百萬石位ニナツテシマフデハナカラウト考ヘテ居ルノデアリマス、其外新ニ年期契約ヲ爲スヤウナ場所ハ、今日ハ左様澤山ハナイノデス、ソレデ島外ニ出スモノ、取締ト云フコトニ付テ御話デアリマスルガ、此問題ニ付キマシテハ、現ニ當業者ノ間ニモ非常ナ渦巻ヲ起シマシテ、ドウシテモ當業者自身ト致シテモ自覺シテ、お互ヒニ島外ニ出スコトヲ統制シナケレバナラヌト云フコトカラ、小樽ノ當業者ガ中心

ニナリマシテ、統制組合ナルモノヲ組織致シマシテ、本年度ニ於テ約二百萬石ト云フモノヲ產地ニ「ストック」ヲ致シ、島外ニ出スモノハ飽ク迄八百萬石以下ニ止メナケレバイケナイト云フコトデ、目下熱心ニ奔走致シテ居ルヤウナ狀況デアリマシテ、此當業者側ノ空氣ト、吾々ノ方面ノ努力ト相俟チマスルコトナレバ、恐ラク島外輸出ノ制限ト云フコトハ、目的ヲ達シ得ルコトデハナカラウト期待シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス
○手代木委員 杉本君ノ御質問ニ關聯シテ樺太長官ニ承リタイト思ヒマスガ……
○東委員長 宜シウゴザイマス
○手代木委員 杉本君ノ御質問ハ洵ニ適切ナモノデアリマシテ、私モ至極同感デ、洵ニ斯ウ云フ質問ノ出タコトヲ満足ニ感ジテ居ル譯デアリマス、全ク樺太廳ノ林政ガ確立ヲ致シマセヌ爲ニ、杉本君ノ言ハレルヤウナ弊害ヲ見テ居ルコトハ遺憾ナ所デアリマス、第五十九議會ニ於テ、沿海州材、北樺太材ナドニ對スル關稅ノ設定ヲ見タノデアリマスルガ、ソレニ依リマシテモ、此北洋材ノ市價ヲ保ツコトガ出來ズ、關稅ノ設定ガ殆ド無効ニ終ル狀態ニアツテ、木材業者ノ困難ハ、殆ド其度ヲ失シテ居ッタヤウナ譯デアリマスルガ、

私共ノ調査スル所ニ依リマシテモ、確

スルカ

ニ只今樺太長官ガ率直ニ御認メニナッ

○岸本政府委員

先程申上ゲマシタ三

アリマスルカ

○岸本政府委員

タト云フヤウナ關係ガ其一ツデアリマ

タ如ク、樺太廳ノ賣拂石數ヲ確ニ超過

億八千萬石ト云フノハ、利用スルコト

○手代木委員

サウシマス石數ニ直

ス、又最近ノ財界ノ不況ノ結果「バル

ヲ致シテ居ル、是中島君ガ言ハレル

ノ出來ル蝦松、蝦夷松ノ材積デアリマ

セバ約六掛ニナルコトデアリマセウ

ガ、ソレハソレトシテ、モウ一ツ「バ

ル」ノ原料デアリマスルガ、製紙會

通リ、洵ニ不都合ナル所ノ現象ガアリ

シタ、ソレハ甚ダ私ノ言葉ノ足ラナカッ

ル」ノ原料デアリマスルガ、製紙會

社ノ承認區域ヲ廣大ニ認メテ、サウシ

テ「バル」ノ原料ヲ特價ヲ以テ拂下

マシテ、吾々ノ見ル所デハ少クモ不當

石數ハ四億五千九百萬石、此中デ國際

社ノ承認區域ヲ廣大ニ認メテ、サウシ

テ「バル」ノ原料ヲ特價ヲ以テ拂下

ラスト云フヤウナ、困難ナ狀況ニ立至ッ

出材ノ石數ガ年々八百萬石乃至一千萬

河川、即チ川ガ露領北樺太ノ方ニ流レ

テ「バル」ノ原料ヲ特價ヲ以テ拂下

ゲル、斯ウ云フコトニナッテ居ルヤウ

デアリマス、斯様ナ關係モアリマ

石ニ達シテ居ルコト、考ヘテ居ッタノ

テ、此樺太林政ノ改革ヲ圖リ、其基礎

シテ、ドウシテモ島外ニ用途變更移出

ヲ認メナケレバナラヌヤウナ事情デ

アッタノデアリマスケレドモ、本年度ニ

ヲ確定シナイ限リハ、到底此前ノ關稅ニ

域ニ在ル所ノ材積ガ、蝦松、蝦夷松デ五

此「バル」紙材ヲ丸太ニ致シテ、ソ

レヲ島外ニ移出ヲシテ、一般市場ニ賣

出シテ居ル、即チ用途ヲ變更シテ、之

依テ保護ヲ圖リ目的ヲ達セラレヌバカ

ト云フモノガ千三百萬石バカリアリマ

ニ依テ少カラズ市場ヲ壓迫シテ居ル、

是ハ製紙工場ニ認メラレタル特權ノ本

質カラ申シマスレバ、洵ニ不當ナルコ

リデナク、又樺太ノ森林其モノガ、瞬ク

ト云フモノガ千三百萬石バカリアリマ

出シテ居ル、即チ用途ヲ變更シテ、之

是ハ製紙工場ニ認メラレタル特權ノ本

質カラ申シマスレバ、洵ニ不當ナルコ

間ニ荒廢シテシマハウト思フノデアリ

ラ「ニ生エテ居ッテ、伐出ノ出來ナイ

ト云フヤウナモノガ六百五十萬石バカ

リアリマス、之ヲ四億五千九百萬石カ

ラ差引キマス、大約三億八千五百萬

之ニ對スル所ノ制度ヲ確立シテ、將來

石ト云フモノガ、蝦松、蝦夷松ノ利用シ

トデアルト考ヘルノデアリマスルガ、

斯ウ云フモノガ確ニ行ハレテ居ルヤウ

ニ聞クノデアリマス、之ニ對シテ長官

ハ此弊ヲ全ク根絶スルバカリデナク、

得ベキ材積ノ全部デアリマシテ、之ニハ

ハ如何ナル感ジヲ有ッテ居ラレカ、又

斯ノ如キ用途ヲ變更スルガ如キ者ニ對

シマシテ、將來如何ナル態度ヲ御執リ

市價ノ統制ナドニ對シテモ、相當ナ茲ニ

千萬石ト云フモノハ入ッテ居リマセヌ、

ニナル積リデアアルカト云フコトヲ伺ヒ

タイノデアリマス

○中島(彌)委員

準備ヲスルト云フ御意見デアリマスカ

ラ、此點ニ於テハ洵ニ満足ニ感ズル次

○手代木委員

先程長官ノ言ハレマシ

タ島外移出ノ石數ノ、一千萬石乃至一

第デアリマス、只今御示シニナッタ統

大學演習林ノ區域内ニアル材積、約五

千二百萬石ト云フ御話デアリマスル

ガ、是ハ賣拂ノ立木ノ石數ヲ云フノデ

アルカ、又丸太ノ石數ヲ仰シヤルノデ

計ヤ何カノ中ニ一寸不明確ナモノガア

而シテ今日マダ樺太ニハ公有林ト云フ

事情ガアッタノデアリマス、ト申シマス

ノハ、其承認區域内ニ蟲害木ガ澤山出

ニ立會ハス、其他監督官ヲ殖ヤストカ

リ、尙又ソレニ關聯シテ三四ノ點ヲ質

問シタイト考ヘルノデアリマス、第一

○岸本政府委員

從來製紙會社ニ對シ

テ用途變更、島外移出ト云フコトヲ認メ

ニ御示シニナッタ樺太ノ蓄材量ガ三億

八千萬石ト云フ御話デアリマスルガ、是

等ニハ勿論廣大ナ大學演習林ガアリマ

スルガ、此演習林又ハ民有林、公有林、

斯様ナモノハ包含シテ居ラヌコトデア

ラウト思ヒマスルガ、左様デゴザイマ

スルカ

アリマスルカ

ソレハ立木デ申シタ

ノデアリマス

ノ出來ル蝦松、蝦夷松ノ材積デアリマ

シタ、ソレハ甚ダ私ノ言葉ノ足ラナカッ

ガ、ソレハソレトシテ、モウ一ツ「バ

ル」ノ原料デアリマスルガ、製紙會

社ノ承認區域ヲ廣大ニ認メテ、サウシ

テ「バル」ノ原料ヲ特價ヲ以テ拂下

ゲル、斯ウ云フコトニナッテ居ルヤウ

デアリマス、斯様ナ關係モアリマ

タノデアリマス、困難ナ狀況ニ立至ッ

ラスト云フヤウナ、困難ナ狀況ニ立至ッ

出材ノ石數ガ年々八百萬石乃至一千萬

河川、即チ川ガ露領北樺太ノ方ニ流レ

テ「バル」ノ原料ヲ特價ヲ以テ拂下

ゲル、斯ウ云フコトニナッテ居ルヤウ

デアリマス、斯様ナ關係モアリマ

石ニ達シテ居ルコト、考ヘテ居ッタノ

テ、此樺太林政ノ改革ヲ圖リ、其基礎

シテ、ドウシテモ島外ニ用途變更移出

ヲ認メナケレバナラヌヤウナ事情デ

アッタノデアリマスケレドモ、本年度ニ

ヲ確定シナイ限リハ、到底此前ノ關稅ニ

域ニ在ル所ノ材積ガ、蝦松、蝦夷松デ五

此「バル」紙材ヲ丸太ニ致シテ、ソ

レヲ島外ニ移出ヲシテ、一般市場ニ賣

出シテ居ル、即チ用途ヲ變更シテ、之

依テ保護ヲ圖リ目的ヲ達セラレヌバカ

ト云フモノガ千三百萬石バカリアリマ

ニ依テ少カラズ市場ヲ壓迫シテ居ル、

是ハ製紙工場ニ認メラレタル特權ノ本

質カラ申シマスレバ、洵ニ不當ナルコ

リデナク、又樺太ノ森林其モノガ、瞬ク

ト云フモノガ千三百萬石バカリアリマ

出シテ居ル、即チ用途ヲ變更シテ、之

是ハ製紙工場ニ認メラレタル特權ノ本

質カラ申シマスレバ、洵ニ不當ナルコ

間ニ荒廢シテシマハウト思フノデアリ

ラ「ニ生エテ居ッテ、伐出ノ出來ナイ

ト云フヤウナモノガ六百五十萬石バカ

リアリマス、之ヲ四億五千九百萬石カ

ラ差引キマス、大約三億八千五百萬

之ニ對スル所ノ制度ヲ確立シテ、將來

石ト云フモノガ、蝦松、蝦夷松ノ利用シ

トデアルト考ヘルノデアリマスルガ、

斯ウ云フモノガ確ニ行ハレテ居ルヤウ

ニ聞クノデアリマス、之ニ對シテ長官

云フヤウナ方法ヲ執リマシテ、嚴重ニ拂下ヲ監督スル、伐採ヲ監督セラレト云フコトハ、洵ニ結構ナ話デアリマスガ、杉本君モ仰シヤラレマシタ通りニ、私共モ尙ホ此故ヲ以テシテモ、樺太材ガ洪水ノ如ク内地ニ移入シテ來ルノデハナイカト云フコトヲ心配スル一人デアリマス、長官自身モ仰シヤラレマシタ通りニ、延期拂下契約ヲシテ居ルモノハ昭和十四年ニ互ル、サウスルト是カラ先ノコトニナツテシマヒマシテ、十四年迄ノ間ハ延期拂下ヲ受ケタ人ガ、ドンナコトカシテ島外移出ヲヤリ、内地ニ木材ヲ入レテ、殆ド是ハ言フコトガ實行サレナイノデハナイカト考ヘマスガ、ソレヨリモ寧ロモウ少シ拔本塞源ノ方法ヲ講ジナケレバ、此問題ノ解決ハムヅカシイデアラウ、御承知ノ通り島内ニ於ケル人口ハ三十萬人デ、租稅收入ハ百二十萬圓ト云フノガ、昭和七年度ノ豫算ニナツテ居リマス、此三十萬人ニ對シマシテ、租稅收入ヲドレダケ取ツテ見タ所ガ、是ハ知レタモノデアアル、補充金モ亦二百萬圓カ三百萬圓カ忘レマシタガ、非常ニ少額デ、大體ニ於テ官業及官業財産收入ガ千五百九十九萬圓ニナツテ、森林收入ガ八百十萬圓、此森林收入ガ全體ノ三割六分八厘ニナツテ居ルノデアリマスガ、此森林收入ニ賴ルト云フコトガ、私ハ

樺太ノ木材ガ濫伐サレル根本原因デアラウト考ヘル、此點カラ考ヘマスナラバ、長官ガ一般會計ノ方ト十分交渉サレテ、補充金ヲ殖ヤシテ戴イテ、森林收入ニ賴ル必要ガナイヤウニスルノガ一つ、ソレカラ曾テ民政黨内閣ニ於テ井上大藏大臣ノ時ニヤラレテ居リマシタ通りニ、ドウシテモ山林政策確立ノ上ニ於キマシテ、樺太ノ山林事業ト云フモノヲ農林省ニ移管スル、サウシテ樺太ハ山林ヲ食ツテ行カナクテモ宜イト云フヤウナ方法ヲ立テナクテハ、私ハ根本的ノ解決ハムヅカシイデアラウト考ヘマス、サウスルトガ爲ニハ相當ノ費用ガ掛カル、是ハ民政黨内閣時代ニハ、約一千萬圓デアツタカ、金額ハ確ニ覺エテ居リマセヌガ、サウシテ内務省ニ樺太ヲ移管シ、サウシテ府縣ト同ジヤウナ扱ヲナシ、片ッ方ニ於テハ、鐵道ハ鐵道省ニ移管シ、森林ハ農林省ニ移管スル、此方法デアルカ、或ハ補充金ヲ殖ヤスカ致シマシテ、八百十萬圓ト云フ森林收入ニ賴ラナイヤウナ方法ヲ執ツテ行ツテ、根本ノ拔本塞源ノ方法ヲ私ハ講ズル必要ガアル、サウシナケレバ、今長官ガ述ベラレマシタ方法ハ、概ネ姑息ナ方法デアリマシテ、當面ヲ糊塗シテ行クト云フダケデアツテ、是ダケデハ内地木材ノ壓迫ニ對スル此壓力ト云フモノハ、到底私ハ之ヲ除クコト

ガ出來ナイデアラウト考ヘマス、此點ニ付キマシテ長官ノ御意見ハ如何デアリマスカ、問題ガ聊カ重大過ルヤウニ私モ考ヘマスガ、併ナガラ補充金ヲモウ少シ殖ヤシテ貰フトカ、公債發行ノ價格ヲ殖ヤシテ貰フトカ、何レカノ方法ヲ講ジマシテ、樺太ノ森林ト云フモノハ、御承知ノ通り日本ノ北門ノ寶庫デアツテ、是ガ無クナレバ製紙業ニモ影響シ、紙類ノ輸出ニモ關係スルト云フヤウナコトデ、餘程政府ガドウカシマセヌケレバ——吾々ハ重大視シテ居ル、拔本塞源ノ方法ヲ御執リニナラナケレバ、百年河清ヲ待ツト云フヤウナコトニナル、是ハ杉本君モ手代木君モ同感デアルト考ヘマスカラ、其點ニ付キマシテノ長官ノ御意見ヲ承ツテ置キタイ

○岸本政府委員 洵ニ御尤ノ御尋ト存ジマス、ドウシテモ樺太ノ森林收入ガ特別會計ノ歲入ノ主タル地位ヲ占メテ居ルト云フコトガ禍根デアリマス、之ヲ改メマセヌ限リ、實ニソコニ困難ニ逢著シナケレバナラスコトハ明瞭ナコトデアリマス、就キマシテハ其點ニ對シテ、將來補充金ノ増額ヲ求メル外ニ仕方ガナイト云フ決心ヲ、私ハ有ツテ居ルノデアリマスガ、是ハ大藏省ト協議ヲシナケレバ分ラヌコトデアリマスシ、今ヨリ何トモ申上グラレナイト思フノデアリマス、唯私ハ將來是非トモ補充金ノ増額ニ依テ、此弊ノ根本ヲ改メタイト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ先刻モ申上グラマシタヤウニ、急激ニ伐採ヲ減ズルト云フコトハ、彼ノ地ノ經濟界ニ重大ナル影響ヲ有ツテ居ル問題デアリマス、今日マデ二千五百萬石、一箇年ニ立木ノ材積デ伐採サレタトシマシテ、假ニ是ガ嚴格ニ制限サレテ、千二百萬石ニ落チテシマッタト云フコトニナリマスレバ、彼ノ地ニ於ケル林業方面ノ勞力ノ收入ニ致シマシテモ、其他總テ半減スルト云フコトニナツテ參ルノデアリマス、其結果トシテハ、恐ラク彼ノ地ニ非常ナル不景氣ヲ惹起シハセヌカト云フコトヲ、今カラ心配致シテ居ル者デアリマス、何トカ致シテ之ヲ救済致シマスガ爲ニ、急速ニ彼ノ地ニ別個ノ産業ヲ興ス必要ガアルト云フコトニ付キマシテ、目下竊ニ苦慮致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、今日ノ樺太ノ綜合行政ガ善イカ惡イカ、之ニ就テハ、私ハ今日意見ヲ申上ゲル立場デナイト考ヘマス、唯今日申上ゲマシタ此伐採ヲ飽マデ制限スルト云フコトガ、果シテ此數字通りニ現ハレルカドウカ、之ニ對シテハ私モ非常ナル心配ヲ有ツテ居リマスケレドモ、幸ニシテ林務當局ガ大決心ヲ以テ事ニ當ツテ居リマス故ニ、恐ラク之ニ近

イ實績ヲ舉ゲ得ルデアラウト云フコトヲ期待シテ居ルヤウナ次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○中島(彌)委員 長官モ補充金ノ増加ニ付テハ、十分ニ大藏當局ト交渉シテ、努力サレルト云フ御決心デアリマスガ、一方ニ於キマシテハ、餘リ伐採ヲ制限スルト云フコトハ、其處ニ從業致シテ居ル人々ニ對スル勞働問題ヤ、其他不況ガ起ルト云フコトデアリマス、片方ニ於テハ、又伐採ヲ現狀デ行ケバ、殆ド日本ノ人口ノ六割ヲ占メテ居ル農村ノ人々ガ、非常ニ困ルト云フコトニナツテ來マスガ、補充金ヲドレ位ノ程度ニ上ゲマシテ、今ノ森林收入ノ八百十萬圓ト云フモノヲ、ドレ位ノ程度ニ引下ゲマシタナラバ、最モ適當ナル所デ伐採ガ行ハレテ行クカ、其御計畫ガアレバ、ソレヲ御示シ下サレバ結構デアリマス

○岸本政府委員 只今實際ニ於テ拂下ノ單價ノ基礎ヲ調べテ居ルヤウナ場合デアリマシテ、何處ノ林地ヲ拂下ゲレバ、幾何ノ單價デ、材積ハ幾ラアルト云フヤウナコトハ、恐ラク今後半年バカリ掛ツテ調査ガ出來ルダラウト思ヒマス、ソレガ確定致シマセヌ限リハ、森林收入、幾何ノ材積ヲ拂下ゲテ、幾何ノ收入ガアルカト云フコトヲ、茲ニ責任ヲ以テ申上ゲルコトハ出來マセヌケ

レドモ、此單價ヲ改正致シマス大凡ノ見込ヲ基礎ト致シマシテ、本年度ノ七百三十六萬圓ノ收入ヲ、千百十一萬石ヲ拂下ゲテ舉ゲルコトガ出來ルダラウト云フヤウナ、極メテ大體ノ見當ヲ持ツテ居リマス、左様ニナリマス、現在ノ一般會計ノ補充金ガ百六十萬圓デアリマスカラ、之ニ對シテ増額ヲ求ムル所ハ、サウ巨額ノモノデハナイダラウト云フヤウナ氣分ガ致スノデアリマス

○中島(彌)委員 大體ドレ位デスカ

○杉本委員 二百萬圓位……

○岸本政府委員 今杉本君モ仰シヤイマシタガ、差當リ二百萬圓、ソレカラ漸次多少ノ増加ヲ求メレバ宜イノデハナイカ、即チ急激ニ一般會計ニ壓迫ガ及バヌデハナイカト考ヘテ居リマス

○杉本委員 先程委員長ヘ拓務大臣ノ御出席ヲ御願シタイ、斯様ニ申上ゲテ置キマシタガ、政務次官閣下ガ御臨席ニナツテ居リマシテ、大臣ハ御見エニナラヌノデスガ、寧ロ非常ニ御理解ノアル政務次官閣下ニ御聽キニナツテ戴イテ、又出來マスコトナラバ、答辯ヲ願フト云フコトデ宜シウゴザイマス、大體拓務省ニ質問シテ見タイノハ、今樺太材ノ過伐ヲ防グト云フコトノ大體ノ要旨ハ申上ゲタノデアリマス、此山林ニ對スル米材其他ノ材木ニ對スル關

稅、及樺太材ノ過伐ヲ防イデ效果ヲ現ハシタイ、斯ウ云フコトニ對シマシテハ、私ナドハ材木ヲ營業トシテ居リマスカラ、材木業者ガ金ガ儲カル上ニ、値段ヲ吊上ゲルト云フヤウナ誤解ガアリマシタナラバ、ソレハ大キナ間違デアリマス、材木ヲ取扱フ商人ト云フモノハ、高ケレバ高イヤウニ、安ケレバ安イヤウニ、元ヲ取ツテ賣ルノデアリマスカラ、何等影響ハナイガ、今日全國民六割ノ農村ノ苦況ヲ如何ニシテ打開シナケレバナラヌカト云フ、此根本政策ニ於テ、斯ノ如キ影響ノ大キナモノ一部ノ救済ガ出來、打開ガ出來ルト云フ程、私ハ適切ナルコトハ、現在ニ於テ他ニナイダラウト考ヘテ居リマス、即チ米材關稅ニ對シテハ、私共ハ反對ハナイ、ソレハ内地材ノ、即チ民有林ト云フモノハ、ドンナ木デアルカ、五十年、七十年ノ貫、垂木及柱材ト云フヤウナ、最モ小サイ小角用デ、先ヅ粗末ナ建築材ニ必要ナモノデアル、米材ノ所謂「バイン」其他、俗名デ云ヒマスト梅ト云フヤウナ材ハ、三寸デモ、五寸デモ、或ハ板ニデモ、好キナ用材ニ作ルコトガ出來テ、丁度内地ノ主タル杉材ト兼用ガ出來ルノデアリマス、ソレデ三千萬石ノ民有林ヲ年々山村ガ賣拂ツテ居ルト云フノハ、大體ニ於テ樹

種ハ針葉樹、即チ杉デアリマス、松ハ僅ニ二割位、或ハソレ以下デアリマセウ、サウシタ三千萬石ノモノガ、僅ニ二百萬圓ノ樺太ニ對スル補充金ヲ増額スレバ、其及ボス所ハ、假定的ニ二圓ト見マシテ、三千萬石デ六千萬圓、其他ノ二千萬石ニ對スル四千萬圓ト云フ、大キナ影響ニナルノデアリマス、其他ト云フノハ、即チ農林省ノ賣拂、或ハ御料ノ賣拂、ソレカラ内務省所管ノ北海道ノ賣拂等デアリマス、樺太材モ如何ニ單價ヲ改メマシテ高ク賣スントシテモ、ソコマデ實行ガ出來ナケレバ、即チ買ハナケレバ、賣ラナクテモ宜イト云ツテ泰然トシテ居ルコトハ出來ナクナル、斯様ナ風ニ實行ガ出來レバ、隨テ引合フカラ、樺太材ノ處分ハ目的ノ通り進ンデ行カレル、唯需要者ノ方面カラ見マシタラ、値段ヲ引上ゲルト云フコトハ不當デアル、斯様ニ仰シヤルカモ知レヌガ、安イガ宜イト云フナラバ、只デ貰ツテモ結構デアル、例ヘバ米ノ生産費ガ幾ラ掛ラウトモ、貧乏人ハ買ツテ食フノダカラ、安イホド宜イト云ツタ所デ、米ヲ生産スル所ノ實費ガナケレバ米ヲ作ルコトハ出來ナイ、斯様ナ見地カラ、今米ノ專賣案ナドガ持出サレテ居ルヤウナ譯デアリマス、如何ニシテモ此生産費ヲ割ルコトハ出來ナイ、生産費ヲ控除シテ、澤山利益

ヲ得ルト云フコトハ宜シクナイケレドモ、五十年、七十年ノ造林ヲ致シテ、丹精シタ其曉ニ、不便ナ土地ニ於テモ、山代金ヲ一文モ得ルコトガ出來ナイト云フ、慘ノナ狀態ニ置カレテ居ル、今日全國農山村ニ於テ少クテモ三千萬石、又國有林ニ於テ四千萬石ト云フヤウナ大キナ影響ガアル、ソレヲ改メルノニハ、即チ拓務省ノ方針ト致シマシテ、樺太ニ對シテ二百萬圓位ノ國庫補充金ヲ殖ヤシマシテ、サウシテ山林ノ減伐ヲ致セバ宜シイ、此伐採ヲ減ズルト云フト、樺太長官ノ仰シヤルニハ、ソレ等ニ對スル失業者ガ續出スルコトモ考ヘナケレバナラス、サウ云フコトニ付テモ、緩和シナケレバナラナイト仰シヤイマスケレドモ、失業者ハ何モ山林ノ斫伐ニ從業スルト云フコトダケデナク、其他金ガアレバ、ソレニ代ル所ノ失業救濟事業ト云フモノヲ、幾ラモ起スノニ差支ナイ、國家ノ政策ハ小異ヲ捨テ、大同ニ就カナケレバナラナイ、今コソハ舉國一致内閣デアアル、政民兩黨ガ意見ヲ練ッテ、此舉國一致内閣ニ進言シテ、此國難ヲ打開スル一番良イ政策ニ共鳴シ、又政府モソレヲ採ラナケレバナラヌト云フコトニ對シテハ、ドナタモ御異存ノナイコトダラウト思ヒマス、今日農村經濟ノ困憊ニ陷ッテ居ルノヲ打開スル上ニ、其影響ノ大

キナルモノハ、米ヲ賣ル外ニ何ヲ賣ッテ金ヲ取ルカ、養蠶ハ斯ノ如クニ繭ガ安イ、偶、丹精シタ所ノ山林ガ一ツアルカラ、之ヲ賣拂ハウトシテモ、ソレガ殆ド價ガナイト云ウタラ、何ヲ以ッテ此救濟ヲシヨウカ、政府ガ金ヲヤタラニ撒キ散ラス譯ニハ行カナイ、又大キナ金ガ要ルト云フナラ別デアアルガ、僅ニ二百萬圓位ノ金ガアレバ、樺太ノ減伐ヲ致シマシテ、サウシテ農山村ニ及ボス所ノ影響甚大デアアル、又各省所管ニ於テ賣拂フ所ノ收入ガ、非常ニ大キナ金ニナッテ生レテ來ル、農林省、内務省及御料、斯ウ云フ三方面ニ對シテ、少クトモ四千萬圓ハ生レテ來ル、又民間ノ方ニ對シテハ六千萬圓生レテ來ル、二百萬圓カ三百萬圓ヲ以テ、一億圓ノ金ガ儲カッテ、サウシテ國民多數ガ喜ブト云ッタラ、是ダケ良イ事ハ世ノ中ニ如何ニ探シテモナイコトダラウト私ハ思フ、斯様ナ見地ニ對シマシテ、拓務省ハ如何ナル考ヲ有ッテ居リマスカ、此事ニ對シマシテ、中島先生ノ如キハ熱心ニ、樺太材ノ過伐ヲ防グト云フコトハ、木材ニ對スル、山林行政ニ對シテ適切デアアル、斯様ニ仰シヤラレテ居リマス、私ハ木材業者ガ助カル助カラナイ、ソナ問題デハナイ、此國家多端ノ場合ニ於テ、六割ノ農民ヲ救済スルト云フコトニ對シテコソ、大ナル必要ガアル、

斯様ニ存ジテ居ルノデアリマス、只今樺太長官ハ山林收入ヲ減ジテモ、ドウカ斯ウカ遺線ガ付クヤウナ生溫イ御話デアッタ、モウ少シ率直ニ、山林ノ荒廢ガ目前ニ迫ッテ居ルコトハ分ッテ居ルケレドモ、如何トモスルコトガ出來ナイカラシテ、知リツ、立木ヲ過伐シテ居ル、ケレドモ之ニ代ル所ノ國庫ノ補充金ガ二百萬圓モ殖エタナラバ、喜ンデ山林保護ヲ致シテ、減伐ヲシテ、確實ニ施業案計畫ヲ立テ得ルコトガ出來ル、斯ウ云フコトハ、言ハナクテモ火ヲ賭ルヨリモ明デアアル、斯様ナ政策ニ付キマシテ、拓務省ハ如何ナル御考ヲ有ッテ居ルカト云フコトニ對シテ、若シ此場デ御話ガ出來レバ、御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○堤政府委員 只今杉本君カラ、樺太ノ山林ヲ濫伐スル結果ハ木材ノ市價ヲ下落サス、ソレハ國家ノ爲ニ憂フベキ事デアルト云フ意味ノ、熱心ナル御質問ニ對シマシテハ、洵ニ敬意ヲ表スルノデアリマシテ、至極御尤ノ御説ト存ジマス、是ハ唯木材ノ市價ガ下落スルコトガ、木材業者ガ困ルト云フヤウナ、小サイ問題デナイコトハ、御説ノ通りデアリマシテ、大體我國ハ山林ガ荒廢致シテ居ル結果トシテ、雨ガ降レバ大水ガ出ル、少シ旱魃ガ續ケバ水爭ヒガ起ル、之ガ爲ニドノ位全國ノ農民ガ苦シデ居ルカ分ラナイ、又國家ノ立前ト致シマシテモ、最近十年間ニ河川ノ改修ニ國庫カラ直接出シタモノ、及府縣ノ出シタモノヲ合セマス、二億六千萬圓カラニナッテ居リマス、山林ガ十分ニ繁茂致シテ居リマスレバ、此國費ハ使ハナクテモ宜イ洪水モ起ラナイ、水爭ヒモ起ラナクテ宜イ、斯ウ云フコトニナル、是ハ非常ニ重大ナ國策デアルト、至極御同感ニ考ヘテ居ルノデアリマス、樺太ニ於キマシテハ、今日マデ收入本位ニ濫伐シタ虞ガナイトハ言ハレナイト思ヒマス、是ハ將來十分慎シムベキ事デアリマシテ、只今樺太廳長官ガ説明ヲ致シマシタ通り、年々ノ伐採額ヲ本年度ハ八百萬石、來年度ハ五六百萬石、追々少ク致シマシテ、百萬石位ニシヤウト云フ案ヲ立テ、居リマス、又伐ッテシマッタ跡ヘハ施行案ヲ立テマシテ植林ヲシテ、之ヲ補ッテ行クト云フヤウナ計畫モ進メツ、アルノデアリマス、濫伐ヲ防グト云フ森林行政ト云フ點ニ付テハ、十分注意ヲ致ス考デアリマシテ、今日マデ樺太ガ森林收入ヲ以テ主タル財源トシテ居ッタノガ根本ノ間違デアアル、之ヲ一般會計カラノ補助ニ待ツヤウニシナケレバ、百年河清ヲ待ツニ等シキモノデアルト云フノハ、只今中島君ノ御議論デアアル、拔本塞源ノ方法ヲ講ゼヨ、至極御尤ナ事デ

アリマス、拓務省ト致シマシテハ、將來樺太經營ノ財源ヲ主トシテ森林收入ニ求メズシテ、一般會計ノ支出ニ求メテ、樺太ノ森林ヲ我國ノ寶庫トシテ、十分之ヲ保存スルヤウニ努メタイト考ヘテ居リマス、尙ホ其點ニ付キマシテハ、拓務省ハ主管省ト致シマシテ、大藏省ニ對シマシテ十分交渉モ致シマスト同時ニ、諸君ノ御協賛ヲ仰ギマシテ、其目的ヲ達シマスヤウ努力致シタイト考ヘテ居リマス

○杉本委員 只今拓務省ノ政務次官カラ穩當ナル御説明ガアリマシタガ、ドウカ此事ニ對シテハ、樺太ガ四百萬石移出ヲ減ジマシテモ、ソレガ爲ニ内地ノ民有林ガ、値上リノ爲ニ濫伐ヲ致シテ、サウシテ財界ノ不景氣ヲ助長スル、斯様ナ心配ハナイ、木材ダケハ我國ハ植民地ノ木材ガ入ッテ來レバ、稍、自給自足ガ出來ル、今日ハ國庫造林、縣公造林、民有造林、斯様ナモノガ相當ニ繁茂ヲ致シマシテ、サウシテ樺太材ト云フモノハ元來太イモノデナイ、細丸太ガ多イノデアリマス、斯様ナ材ノ代用品ガ建築材ト致シマシテ、三十年ヤ四十年、現在ノ内地材ノ斫伐數量ヨリモ、三百萬石ヤ四百萬石不足ヲ補充シテ行キマシテモ、左様ナ心配ハ決シテナイヤウニナッテ居リマス、私ハ此問題ハ重要ナ問題デアッテ、玆ニ御臨席ノ農林省

參與官、其他内務省ノ方ニモ御臨席ニナッテ居ルコト、思ヒマスガ、何レ此問題ハドウシテモ閣議ニ諮ッテ、サウシテ何トカ私共ノ希望ヲ達シ、實現ノ出來ルヤウニシテ、以テ農林不況ノ打開ヲ致スコトヲヤツテ行キタイ、斯様ニ思ッテ居リマスノデ、内務省モ農林省モ兩方一致致シマシテ、此事ニハ力ヲ入レテ實現サシテ戴クヤウニ御願致シタイト思ッテ居リマス、之ヲ以テ質問ヲ打切

ルコトニ致シマス

○長田委員 木材關稅ニ付テ一寸簡單デスガ、先刻來木材關稅ニ付テ色々ナ御熱心ナ質問、又當局ノ御誠意アル御答辯ヲ承リマシテ、大變參考ニナリマシタガ、此木材ノ値下リデ非常ニ山村ガ困ッテ居ルト云フコトハ、近年財界變動以後一番酷イ問題デアリマス、是ハ色色貴衆兩院デモ研究シ、御列席ノ御當局ノ諸君モ實ニ能ク研究シ盡サレテ此處マデ來タ、政友會ト民政黨ト色々意見ハ違ヒマシテモ、段々此處マデ持ッテ參ッタ、詰リ亞米利加關稅デアリマス、今回ノ「ドグラスフアー」、亞米利加カラ輸入サレル材木ニ對スル問題ハ、關稅案トシテ完成シタ形デアルガ、併シ是ガ果シテ完全デアルカドウカ疑問デアルト思ヒマスガ、兎ニ角此處マデ絲ヲ引イテ來タ、又北洋材ニ對シテモ、前議會デ少シバカリ稅金ヲ課ケテ見タ、

サウ云フ譯デ八方先ツ關稅主義デヤツテ見タ譯デス、所デ樺太問題ガ只今論議サレマシタガ、結局是モ中ノ明日明後日ト云フ譯ニハ行キマスマイガ、此空氣ガ自ラ世間ヲ支配シ、官廳方面ノ吏僚諸君モ大ニ御努力下サルコト、私ハ確信シマスガ、私ハモウ一ツ別ナ案ガアルト思フ、木材ノコトハ私モ數年間當業者カラモ陳情ヲ受ケ、自分モ研究シ、役所ノ皆様方ニモ御相談シテヤツテ來テ居リマスガ、ドウシテモイカヌ、今度ノ「ドグラスフアー」關稅ナドハ、是ハ市價ニ影響スルト思フト間違デ、矢張影響シナイ、結局實體的ニハ無効デアルト思フ、併シ法制ノ形ヲ整ヘテ關稅ヲ保護シテ行クト云フ主義ヲ一貫スルニハ、行道デアルカラ私ハ大體贊成デスガ、斯ンナ事デハトモイカヌ、又樺太ノ材積ノ内地移入ヲ少シバカリ防イデ見テモ、是モ無價值デス、斯ンナ事デ内地ノ山林業者ガ助カルモノデヤナイ、然ラバドウシタラ宜イカト云ヘバ、私ハドウシテモ杉本君ガ一寸仰シヤッタヤウニ、國有林ト皇室御料林、此二ツニ手ヲ著ケルヨリ外ニ、日本ノ山林救濟案ハナイト確信シテ居ル、ソレデ私ハ此頃木材關稅ニ付テ數年間極メテ熱心ニ研究ヲヤリマシタガ、私ハ實ハ熱ヲ失ッテ居ル、ドウヤツテモ駄目、見込ガ立タナイ、東委員長ナドモ隨分

長イ間御熱心ニヤツテ下サッタ方デス、ケレドモドウヤツテ見テモ諸君御承知ノ通り物ニナラナイ、「ドグラスフアー」デモ物ニナリッコハナイ、私ハ惡イトハ言ハヌガ、是デ以テ市價ヲ引上ゲニ向ケルト云フコトハ不可能デス、唯法制ノ立前ダケノ問題デス、結局ドウシタラ宜イカト言ヘバ、今申上ゲル通り國有林ノ中ニハ、即チ樺太木材モ、樺太ノ官林モ入ル、サウシテ帝室御料林ト、此二ツヲドウシテモ民間ニ拂下ゲテシマフヨリ仕様ガナイ、ト云フノハ御料林ニシテモ、國有林ニシテモ、生産費ト云フモノヲ持ッテ居ナイ、御料林ノ生産費ガナイデアリマセヌガ、其生産費ハ官費デ以テ支出ヲシテ居ル、極端ニ言ヘバ國民ノ租稅デ以テ之ヲ仕拂シテ居ル、今ノトコロ國有林ノ收入デ安クテモ何デモ賣飛バシテ、サウシテ私有林ヲ壓迫シテ、何デモ全部賣ルカラ、形ハ何モ國民ニ迷惑ヲ掛ケヌ形ニハナッテ居ルケレドモ、一方ニハ先程政府側ノ堀切君ノ御答辯ノ中ニモ内地ノ木材ハ物ニ依テハ十遍モ稅金ヲ課ケテ居ル、イヤ後ニ課ケル、何ダカンダ、十遍モ稅金ガ課カッテ居ルト言ハレタガ、其通り、サウ云フ風ニ民有林ハ總テノ負擔ヲ課ケラレテ居ル、無論後ヲ流ス稅ナンカニ付テハ、國有林ニシテモ、御料林ニシテモ、課カッテ居リマスケレド

モ、其外ノ生産費ノ大部分ヲ占メル山ノ管理ノ費用トカ、植込ノ費用トカ、斯ウ云フモノハ國有林モ、御料林モ、全ク言ハバ役人仕事デ、皇室ノ費用デヤッテ居ル、國ノ費用デヤッテ居ル、生産費ヲ持タナイデ大キナ材積ガ出テ來ル、ソレハ當然生産費ヲ持ッテ居ル吾々國民ノ山林ガ對抗ガ出來ルモノデハナイ、是ハ幾ラドウヤッテ見テモ、吾々ハ此案ニ反對スル考デヤナイガ、是ハ物ニナラナイ、今ノ關稅、或ハ樺太ノ事ナド彼此レ言ハナクテモ、結局煎ジ詰メレバ是レデアル、デアルカラ此際農林當局ノ優秀ナル諸君ガオイデガカラ、別ニ斯シナコトハ大臣ナドハ用ハナイ、皆サンガ案ヲ立テレバ其通り行クンダカラ、皆サンガ案ヲ立テ、大キナ決心ヲシテ、皇室ノ御料林ナドモ必要ハナイ、世傳御料ト云ッテ有ッテハ居ラレマスガ、何モ吾々ハ決シテ皇室ニ對スル尊崇ノ念ヲ失ッテ居ル譯デハナイガ、ア、云フモノヲ皇室ガ御有チニナッテ居ッテモ、實際無用ノ長物デス、杉本君ナドハ、モウ御商賣ダカラ御承知ダト思フ、私ハ素人デスガ、實際無用ノ長物ダト思ヒマス、實際ニ酷イデス、尤モ御料林ナドハ彼處ノ出張所、此處ノ事務所ト云フヤウナモノデ、山ヲ管理シテ居ル、其邊ニ割當テタ豫算ト云フモノガアッテ、サウシテ岐阜ノ管

理局ナラ岐阜ノ管理局デ、今年ハドレ程ノ收入ヲ舉ゲテ貰ヒタイト云フト、矢張皇室ノ豫算ヲ立テルニモ、其豫算位ノ金ヲ舉ゲネバナラヌト云フノデ無理ニ賣リマス、ソレカラ大キイモノハ、無理ニヤッテモ餘リ人ガ買ハヌ、ソレヲ材積ヤ何カデ片付ケマスガ、此堅木、瀾葉樹ナドニナリマス、是ハ材積モ少イノデアリマスガ、御料局ノモノハ今ノ生産費ノナイモノダカラ、幾ラデモ上等ナモノガアル、上等ナモノデモ商人ガ買ハヌト云フト、贅澤ナ普請ヲスル家ニ御出入ガ出來ナイ、生産者トシテノ資格ガ無クナッテシマフ、ソコデドウシテモ從來御料林ノ出入ヲシテ居ルヤウナ材木商ト云フモノハ、何トシテモ御料林カラソレヲ貰ッテ來ルヨリ仕方ガナイ、ソレデ賣下ゲテ貰フ、サウスルトソレハ非常ニ高イ値段デ、實際市價ニ引合フヤウナ値段デハナイ、非常ニ高イ値段デアル、兎ニ角オ前持ッテ行ケト云ッテ押付ケル、サウシテ押付ケラレテモ、出入ガ止ッテシマフトイカヌカラ、高イモノヲ買フノデス、已ムヲ得ヌノデ、高イモノデモ買フノデス、商賣人トシテ自分ノ看板ヲ維持スルコトガ出來ナイカラ、古イ何十年モ御料局ニ出入シテ居ッテ、彼處ハ老舗ダト言ハレテ居ルモノガ、少シバカリノ損ヲシテモ受取ラヌ譯ニハ行カナイ、矢張

受取ッテ居ル、是ハヒドイ目ニ遭ッテ居リマス、私ハ曾テ宮内大臣ニモ直接ニ言ウタコトガアル、尤モ公安ニ害ガアルト委員長ガ御認メナラバ、筆記ヲ止メテモ差支ナイガ、止メル必要ハナイデセウ、宮内大臣ニ此頃ノ御料林ノヤリ方ハ昔ノ惡代官ト同ジヤウダト思フ、惡代官ガ兎ニ角殿様ナリ旗本ナリカラ、オ前ノ所デハ幾ラノ税金ヲ持ッテ來イ、今年ハ俺ノ所ニ税金ガ要ルカラ、三百俵持ッテ來ルノヲモウ五十俵餘計持ッテ來イ、斯ウ言ッテ言付ケルト、其代官ガソレ程惡代官デナクテモ、先祖代々代官職ヲヤッテ居ルノダカラト云フノデ、斯ウ云フ時ニハ門マデ賣ッテシマッテ、代官職ヲ離レテ百姓ニ成リ切レナイカラ、仕方ガナイカラ、人民ニ向ッテ四斗拂フノヲ四斗二升、四斗五升拂ヘト言ッテ、ア、云フ政治ガ行ハレタ、ソレト同ジデスヨト言ッテ、私ハ直接宮内大臣ニ話ヲシタコトスラアル、斯ウ云フ風ナ狀態、是ハ杉本君ハ能ク商賣ニ從事シテ居ルカラ御承知ナンデス、詰リ是等ハ他ノ商賣上ノ言葉、經濟上ノ言葉ヲ以テ一言ニシテ掩ヘバ、詰リ生産費ヲ持ッ者ト生産費ノ無イ者トノ競争ト云フコトニナル、ソレヲ憤慨シテ今ノヤウナコトニナル、ソレハ樺太ノ國有林ヤ或ハ縣有林デモ同ジコトデアリマス、斯ウ云フモノハ生産費

ヲ持タナイ、サウシテ民有林ハ生産費ヲ持ッテ居ル、此二ツガ衝突ヲスルノデ是ガ一番ノ癆ダト云フコトヲ、一昨年頃ノ此木材關稅ガ非常ニヤカマシイ時カラ、大體サウデヤナイカト思ウテ、窃ニ自分ノ手許ニハ大シタ材料モアリマセヌガ、今モ尙ホ調ベツ、アリマスガ、今回幸ヒ木材關稅ガ出テ、色々ト運動モサレテ居ルノデ、平素私ノ考ヘテ居リマスルコトヲ、敢テ私ハ誰方ニ申スト云フ譯デモアリマセヌ、又質問ト云フ意味デモアリマセヌガ、農林省ニハ優秀ナル諸君モ居ラレテ、常ニ熱心ニ山林ノ事ヲ御研究ニナッテ居ラレルノデ、モウ御氣付キダト思ヒマスガ、矢張斯ウ云フコトハ議員其他カラ世間ノ問題トシテヤカマシク言ハレヌト、一方ハ何ダカ大變有難イ御料林ノヤウニ思ッテ居ル、併シ帝室ニ取ッテモ、アソナモノハ持タナクテモ、外ニ幾ラデモ經費ハ出ル、吾々國民ハ今日ノ皇室費ノ四百五十萬圓ガ一千萬圓ニナラウト、決シテ異議ヲ唱ヘル議員ハナイ、喜ンデ其支出ニハ應ズル、ア、云フ風ナモノヲ持ッテ、サウシテ民業ヲ壓迫シテ壓迫スル御考ハナカラウガ、結果ハサウナルノデス、片一方ハ生産費ガナイノニ、一方ハ是ガ掛ル、ソレデ是等ノ點モ一ツ新シク、モウ關稅審議モ此邊デ大分案ガ立ッタ譯デアリマスカ

ラ、又樺太ノ案モ此邊デ濟ムト云フコトデアリマスカラ、勿論此問題ハ一年デ片付ク譯ニハ行クマイガ、一ツ農林省ノ諸君ガ方向轉換ヲシテ、新シク斯ウ云フ方面ニ大キナ努力ヲ拂ッテ、日本ノ山林行政ト云フモノヲ立直サナケレバナナナイト私ハ考ヘルノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ堤君ニ伺ヒタイ、是ハ速記ヲ止メテ頂キタイ

○東委員長 速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

〔東委員長退席、守屋委員長代
理著席〕

○長瀬政府委員 先程永田サンノ御經驗ニ基カレマシタ、極ク深刻ナル御研究、或ハ深刻ニ御感ジニナッタ結果ノ結論トシテ、モウ此邊デ何トカ森林政策ノ轉回ヲ期スベキ時期デハナイカト云フコトデ、非常ニ重大ナ御意見ガゴザイマシタ、私共十分敬意ヲ表シテ承ッタ次第デアリマス、山林局ニ於キマシテハ、御料林ノ關係ハ、帝室林野局ニ關係アルコトハ勿論デアリマスガ、一面國有林ノ管理ニ任ジテ居リマスノデ、其關係上是ハ極メテ大キイ問題デアリマスルガ、毎日扱ッテ居ルノデアアルカラ、何等カノ研究ガアリハシナイカト云フヤウナ御意味モアリマシタノデ、私一個ノ意見ト致シマシテ、多少ソレデハ申上ゲテ見タイと思フノデア

リマス、一體國家ガ國有林ヲ有ツ、森林ノ所有ト云フコトニ付キマシテハ、別ニソレカラ出マスル生産物ヲ以テマシテ民間ト競争スルト云フ觀念ハ、實ハ持ッテ居リマセヌノデアリマス、唯自然ノ結果ノ現レハ、ドウシテモ同ジ市場ニ物ガ出マス結果、茲ニ競争ト云フヤウナ形ガ遺憾ナガラ現レルノデアリマス、固ヨリ吾々國有林ノ扱ニ任ジテ居リマス者ハ、民間ノ林業家ノ如クニ、自己ノ手持資金ヲ以テ生産費ヲ出シテ居ル譯デアリマセヌガ、矢張等シク國家ノ材ヲ用ヒテ居リマスノデ、是ハドウモ取扱者ノ先天的ノ性質トシテ、損ニナルモノヲ構ハズニ賣ルト云フヤウナコトハ、是ハモウ吾々ノ習性トシテナイト思フノデアリマス、一面又租稅ト云フモノヲ民間ハ負擔ヲ致シテ居リマスガ、今度ハ國有林ヲ離レタル一般林政ノ關係、助長政策ノ關係ニ於キマシテハ、或ハ林道ヲ敷設スル、或ハ樹苗ノ成育ヲ完全ニスルト云フヤウナコトガアル、其外施業案ノ偏成ニ任ジテヤル、或ハ技術上ノ指導ヲスル、組合ヲ造成スルト云フヤウナ、色々ノ方法ヲ以チマシテ——一面ニ於キマシテ露骨ニ言ヘバ、競争者ト仰シヤルコトニナルカモ知レマセヌガ、ソレ等ノ手助ヲシテ行カウト云フコトニ實ハナッテ居リマスノデ、所謂損ナ「ゲーム」デ

ハナカラウト思フ、國有林不用論、是ハ甚ダ講義メイテ失禮デアリマスケレドモ、從來トテモズット國有林不用論ト云フモノヲ耳ニ致シテ居リマス、私共同僚時々議論ヲヤッテ見マスノデアリマスルガ、唯今日ニ於キマシテハ、逆ニ公有林ノ國家管理論、治水或ハ國土保安ト云フヤウナ色彩ヲ、相當多分ニ持ッテ居リマス公有林ハ、木材產出ト云フコト以外ニ、更ニ一層管理ヲ強メル意味ガアリハシナイカ、今日ノ森林法ナドハ、公有林管理ナド餘程重ク見テ居リマス、少クトモ日本ニ在ッテハ、公有林ノ如キハ寧ロ國家ノ委託ヲ受ケテ、之ヲ管理シタ方ガ宜クハナイカト云フヤウナ思想モゴザイマシテ、其一面ノ現レガ今日豫算デ既ニ成立致シテ居リマス公有林野ノ官行造林、是ナドハソレニ向ッテ一指ヲ染メタモノダラウト考ヘマス、更ニ最近ニ林野整備委員會ガ設ケラレマシテ、其仕事ト致シマシテ、其中ノ林野整備ノ一ツニ、民有保安林ノ買上、保安林ノヤウナ施業ヲ制限セラレタモノハ、寧ロ國家デ持ッタ方ガ宜イト云フ風ナ趣旨カラ、或ル制限ハアリマスルケレドモ、保安林ヲ買上ゲヨウト云フヤウナ思想モ、段々流行ッテ參リマスシ、大體ニ於テ國有林ノ所在地ハ、是ハモウ殊ニ例外ガ多イ話デアリマスルガ、大體ヲ申セバ、御承知ノ通

リニ里近イ處ハ民有林、公有林ガ多イノデアリマス、寧ロ里遠イ方面ニ國有林ガ位置シテ居ル所ノ現在ノ狀態ガ、賣拂ッテ全部民間ノモノニシテシマッタ曉ニ、其施業ガドウナルデアラウカ、今日公有林ハ相當公ノ性質ヲ多分ニ持ッテ居リマス、公有林デモ其施業ハドウカト言フト、餘リ遺憾ガナイデモナイノニ、更ニ之ニ里近クナイ國有林ヲ多分ニ民間ニ委シテ、サウシテ之ニ施業ヲ委セルト云フコトニハ、今直チニ進ム勇氣ガ私共ニハナイ、是ハ私一個ノ議論デアリマス、サウ云フ風ニ一面ニ國家管理論ト云フ風ナモノガ強クナッテ來ル際デアリマスルシ、旁、此際矢張國有林ハ國有林トシテノ當然ノ機能、或場合ニハ調節ノ機能モアリマスルシ、又模範林ノ機能モアリマセウシ、其外色々經濟的ノ機能以外ノ機能ヲモ持ッテ居リマスル現在ダケノ國有林ハ、矢張國家デ持ッテ居ッタ方ガ宜クハナイカ、是ハ私ノ考ヘダケデアリマス、御話ニ對シテハ、私相當御尤ノ所ガアルト思ヒマスルガ、將來其御意味モ參酌致シマシテ、更ニ研究ヲ續ケマスルガ、今日ノ所デハ其狀態ニ私共ハ止マッテ居リマス

○永田委員 大變御教授ヲ受ケマシテ感謝致ス次第デアリマス、御話ノ通りデス、國有林、公有林トシテ維持シナ

ケレバナラヌ性質ノモノモ澤山ニ含シ
デ居リマス、ソレデナイ限リ日本ノ林
政ノ立行カナイ點モ多々アル、經濟的
ニ民有林トノ爭、是ダケハドウシテモ
除キタイ、私大綱ミニ言ウテ分リマセ
ヌガ、當局ニハソレト此土地ハドウ
ダ、此山ハドウダト云フヤウナコトモ
オ分リデアラウト思ヒマス、漸次サウ
云フモノヲ片付ケテシマツテ、サウシテ
國家ガ管理スベキ性質ノモノダケヲ管
理シテ行ク、斯ウ云フ方法デ進ンデ行
ケバ結構ダト思ッテ居ル、此頃山持ハ非
常ニ窮迫シテシマツタ爲ニ、極端ナコト
ヲ言出シテ、山ヲ全部政府デ買ッテ貰
タイ、斯フ云フヤウナコトヲ言ッテ居
ル、是ハ氣狂沙汰ノ言葉デアツテ、ソレ
ハ經濟ノ原則ニ合ハナイ、今ノ所ハ借
金デヤリ切レナイノデ、サウ云フ突拍
子モナイコトヲ言ッテ居ル、サウ云フ國
有林論ヲ高調スルモ、國有論ノ贊成論
トデモ受取ラレト大變私ハ困ル、眞
ニ第三者カラ眞面目ニ見レバ、サウ云
フコトハ殆ド氣狂沙汰デアルト斯ウ思
ヒマス、ソレカラ山林局長ノ御意見モ、
私ハ深く傾聴シテ居リマス、何分將來
林業ノ爲ニ御努力ヲ願ヒタイト切ニ希
望スル次第デアリマス

○杉本委員

私ノ質問ハ打切ツタコト
ニ致シマシタガ、山林局長ノ永田サン
ノ質問ニ付テ御答ニナツタ此機會ニ、一

言局長ニ御同致シタイ、只今永田サン
ノ御質問ノ、山林ノ統制ヲ圖ツタ宜イ
デヤナイカト云フヤウナ御議論ニ對シ
テハ、常ニ私共モ考ヘテ居ル、必要ノ
事デアル、今急ニ此場合斯様ナコトヲ
持出シテ實現ヲ得ルト云フヤウナコト
ハ、到底ムヅカシイコトデアラウト思ッ
テ居リマス、矢張内務省ノ所管、山林
局、御料其他樺太廳ト云フヤウナ風ニ、
皆持主ガ違ッテ居ル、是等ノ山林省ト云
フモノヲ造ツテ、サウシテ皇室世襲財產
ノ御料林ニ對シテハ、年々山デ得ル所
ノ代償ヲ國家ガ致シテ、サウシテ山林
省ノ下ニ政府ノ各省ガ持ッテ居リマス
ルモノヲ統轄致シマシテ、一ツノ山林
行政ヲ行フコトニナリマシタラバ、頗
ル理想ナモノガ出來上ツテ、樺太植民地
ノ過伐ガ、詰リ木材暴落ノ因ヲ爲シテ
居ルト云フヤウナコトハ、毛頭無イコ
トニナルノダラウ、斯様ニ考ヘテ居リマ
シテ、只今ノ永田サンノ御質問ニ對シマ
シテハ、私共理想トシテ頗ル良イ事ダ、
斯様ニ考ヘテ居リマスガ、焦眉ノ急ハ、
即チ此關稅ニ關聯シタ所ノ關稅其モノ
ヲ、稅收入ノ財源ニ見タノデハナイ、
此山林ニ關スル所ノ產業ヲ助長スル爲
ニ、輸入材ニ對シテ關稅ヲ課シタノダ
ト云フコトヲ、委員會ニ於テ斷ズル場
合ニ、從量稅ヲ課シテ、サウシテ效果
ヲ齎スカドウカト云フコトハ疑問デア

ル、洵ニ努力ヲシテモ效果ノ薄イコト
デセウ、樺太ノ過伐ヲ防グト云フコト
ニ對シテハ、唯伐ルナト云フコトハ出
來ナイ、賣拂ハ其管理省及植民地、樺
太廳ノ勝手デアル、或ハ無限ニ伐ルト
云フヤウナコトハ、拓務省ノ指示ヲ受
ケ、指揮ヲ仰ガナケレバナラヌ場合モ
アリマセウケレドモ、先ヅ此賣拂ハ、
農林省ハ山林局ガ豫算ヲ組ンデ計畫ヲ
立テ、豫算ヲ組ンデ所伐ノ量ヲ定メル、
内務省デハ斯様デアル、又樺太ノ如キ
モ、自分ノ財政ノ基本財産ト致シマシ
テ伐ルト云フコトデアリマスカラ、自
ラ是ハ自分ノ各都合ヲ計ッテ勝手ニ
ヤルコトデアツテ、全然ドシナコトヲ
ヤツテモ宜イカト云フト、ソナナコトハ
出來マスマイ、矢張指示ヲ受ケ指揮ヲ
受ケナケレバナラヌコトデアリマセウ
ガ、今窮迫ニ迫ッタ農村ハ、森林トド
シナ關係ガアルカト云フト、斯ノ如キ
緊密ナ關係ガアルノデアツテ、此關稅ニ
對スル委員會ヲ起シテ議スル場合ニ、
直接ノ問題デハアリマセヌガ、此精神
カラ出發シテ樺太ノ減伐ヲシ、制限ヲ
スルト云フコトニ對シテハ、拓務省ガ
主トシテ此精神ヲ御酌取リニナツテ、サ
ウシテ二百萬圓モ樺太廳ノ補充金ヲ殖
ヤシマシテ、サウシテ減伐ノ實行ヲ明
ニヤルト云フコトニナツタナラバ、是

ハ一億萬圓ノ——即チ森林收入ガ各省
ニ及ビ、又民間ニ及ブト云フコトガ多
大デアルノデ、農村救済ガ出來ルト云
フコトニ對シマシテ、是ハ如何ニカシ
テ此關稅委員會ニ於テ、是ハ不可分ノ
問題トシテ、何トカ之ヲ實現ヲシタイ
ト云フコトヲ私ハ熱烈ニ希望シテ居ル
ノデアリマス、其時偶々永田サンカラ
山林ノ管理統制ニ付テ質問ガ出タノニ
對シテ、山林局長カラ御答ガゴザイマ
シタガ、ソレト別ニ由テ以テ木材ノ市
價ノ暴落シテ居ルコトヲ防グト云フコ
トニ對シテハ、先程カラ縷々重複シテ
申上ゲテ居ル私ノ質問ニ對シマシテ、
局長殿ガドウ云フ御所見ヲ持ッテ居ラ
レルカ、一應之ニ對シテ、簡單デ宜シ
ウゴザイマスカラ、御話ヲ願ヒタイト
思ヒマス

○長瀬政府委員

樺太材ノ島外移出ト
云フコトニ付キマシテハ、私共モ從來
實ハ隨分苦ニ病ンデ居リマシタ、御話
ノ通りニ私共モ感ジテ居ッタ譯デアリ
マス、ソレデ從來トテモ、拓務省ノ方
ニハ時折實ハ御相談申上ゲテ居ルノデ
スガ、色々ノ事情カラマダ今日、只今
杉本サンノ仰シヤルヤウナ工合ニナッ
テ居リマセヌガ、私共モ御話ノ如クニ、
樺太ノ經費ト云フモノガ、森林收入ヲ
主タル財源ニスルト云フコトデナク、
相當外カラ經費ヲ得テ、サウシテ他ノ
山林ヲ漸次更正狀態ニ導クト云フコト

ガ、將來ノ「バルブ」資源、山林ノ補足ト云フコト、竝ニ内地ノ木材ノ市價ヲ少シデモ安定ニ導クト云フコトノ上ニ於テ、大變結構ト思ヒマス、只今ノ點ハ私共ニ於テモ十分注意ヲ致シテ、其方ニ努メタイト思ヒマス。

○江藤委員 永田君ノ質問ノ中ニ皇室林ノ事ガアリマシタガ、是ハ私モ御尤ナコトダト思フノデアリマス、此點ニ付テモ政府委員ノ御答辯ガアリマセヌデシタガ、是非皇室林ヲ民間林ニスルト云フコトニ付テノ、政府當局ノ御所見ヲ一ツ承リタイト思フノデアリマス

○長瀬政府委員 御料林ノコトハ、帝室林野局デヤツテ居ラレマスノデ、私共ノ方デハ實ハ能ク分リ兼ねテ居ルノデアリマス

○江藤委員 併シ山林局長トシテ、現在日本ノ山林業者ガ非常ニ困ッテ居ル際ニ、御料林ガドウ云フコトヲシテ居ルカ位ハ御存ジダラウト思フ、永田サシデモ御存ジナデスカラ、専門家デアリ、當局者デアラレル局長ガ御存ジナイトハ思ハレナイ、私ハ永田君ト同感デ、若シ皇室費ガ御入用ナラバ、國民トシテハ幾ラデモ出スノデアリマシガ、唯、御料林ト云フモノガアル爲ニ、却テ民業ヲ壓迫シタリ、或ハ官紀紊亂ト云フヤツナコトモ、私聞イテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フ意味ニ於テ

モ、御料林ヲ廢シテ民業ニ移スコトガ、最モ適切デアルト思フノデ、御料林ノコトモ御研究下サイマシテ、之ヲ民業ニ移スヤウニ、當局ノ御盡力ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレニ付テノ御所見ヲ承リタイ

○長瀬政府委員 實ハ御料林ノコトハ、私共御料林野ヲ管理致シテ居リマセヌノデ、隨テ帝室林野局ニ於テ管理經營ヲ爲スツテ居ラレマス狀態ハ、私共モ拜見シテ居リマスガ、之ヲ將來民有ニ移スヤ否ヤト云フ風ナ方策ニ付テハ、實ハ私共其權限ニ立入ルコトヲ許サレナイ範圍デアリマスカラ、私カラハ何モ申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマス、惡カラズ願ヒマス

○永田委員 江藤サンノ御贊成ヲ得マシテ心強ク感ジマス、私申シタノモ、政府デドウ出來ルト云フ意味デハアリマセヌ、幸ヒ舉國一致内閣デ、御互ニ惡口モ言合ハナイト云フ機會ニ、斯ウ云フコトノ御相談ガ出來レバ、別ニ此處デ農林省ノ諸君ハ所管外ノコトデアリマスカラ、ドウト云フ口モ開クマイト思ヒマスガ、吾々委員トシテハ意見ヲ交スコトハ出來ルノデアリマシ、又議員トシテ他ニ斯ウシテ貰ヒタイト云フ請願ナリ、其他ノ途モアルノデアリマスカラ、幸ニ御贊成ガ得ラレ、バ、斯ウ云フ空氣ヲ御互ノ間ニ造ッテ、サウ

シテ日本ノ民間ノ林業ノ確立ヲ計ッテ行キタイ、斯様ニ私ハ信ジテ居ルノデアリマス、其以外ニハ差當リ宮内省ニ此問題ヲ反省サス——考ヘサセルト云フ方法ハナカラウト思ヒマス、要スルニ輿論ノ力ガ茲ニ現ハレテ來レバ、嚴正無私ニ御考ニナツタラ、必ズ吾々人民ノ要求ヲ容レテ下サルコト、確信シテ居リマス、マダ其聲ガ少イノデ、多分御氣付モ少イコト、思フ、幸ニ皆様ノ御贊成ヲ得レバ、他日ノ議會ニ色々ノ方法ヲ講ジテ見タイカト思ッテ居リマス、私ノ意見ダケ甚ダ失禮デアリマスケレドモ申上ゲテ置キマス

○手代木委員 今ノ問題ニ關聯シテ一寸私モ申述ベタイト思ヒマスガ、私ノ地方ノ北海道ニハ御料林ガ非常ニ多クアリマス、ソコデ是ハ北海道開發ノ見地カラ見マシテ、國有林ト御料林トノ關係ニ於テ、屢々問題ニナルノデアリマス、實際ニ於キマシテ、御料林ヲ開放シテ貫フコトガ出來ルナラバ、北海道ナドノ開發ノ爲ニハ非常ニ便宜デアリ、拓殖ノ效果ヲ擧ゲルノニ、大變好影響ヲ來ス點ガアルノデアリマシテ、是ハ年來北海道廳或ハ内務省ニ於テモ、國有林ト御料林トノ交換問題ガ屢々議ニ上ルノデアリマスガ、成程只今此處ニ御出席ノ農林當局ノ方トシマシテハ、斯ウシタ御料林ニ對スル所ノ所見ヲ御述ベ

ニナルコトハ、當然出來ナイト思フノデアリマスルガ、併シ實際ノ例ト致シマシテモ、必要ガアレバ、最モ適當ナ場所ヲ相當ナ處ト交換ヲ致スト云フヤウナコトハ、考ヘラレヌコトデハナイノデアリマスルカラ、先程永田君ノ御話、又江藤君ノ御話、是等ノ趣旨ハ或ル程度之ヲ解決出來ナイコトハナイト思フノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テ、即チ國有林ト御料林トノ交換等ノ方法ナドニ付テモ、當局トシテハ將來是非御考ヲ願ヒタイ點デアルト思フノデアリマス、質問デアリマセヌガ、序デスカラ希望ヲ申述ベテ置キマス

○中島(彌)委員 木材ノ問題ニ付キマシテ、折角色々樺太長官カラ御話ガアリマシタケレドモ、杉本君モ吾々モ等シク其御答辯ニ於テ満足ガ出來ナイ、即チ米松ヲ引上ゲマシテモ、樺太ノ木材ガドン／＼日本ノ内地ニ入ッテ來ルヤウニナレバ、内地ノ市價ヲ紊シテ、内地ノ山林業者ト云フモノヲ救済ガ出來ナイト云フコトハ、今迄ノ議論ニ依テ明ニナリマシタ、然ラバ米松ヲ引上ゲルト云フ理由ガ立タナクナッテ來マシテ、徒ニ米松ガ入ッテ來ルカラ、市價ヲ紊スノデハナクシテ、即チ山林業ヲ壓迫スルノデハナクシテ、樺太材ガ入ッテ來ルカラ壓迫スルノダト云フ結論ガ、最早此議場ニ於キマシテ十分ニ研

究サレ盡シタヤウニナリマシタ、斯ウ云フ結論カラ致シマスルナラバ、米松ヲ上ゲルト云フ所ノ理由ガ頗ル薄弱ニナツテ參リマシテ、徒ニ米松ノ消費者ヲ窘メルヤウナ結果ニナツテ來ル、殊ニ今度ノ稅率カラ申シマスナラバ、米杉、米檜、米梅ニ比シマシテ、米松ハ今迄低率ニ置カレテアルノデス、二割七分乃至四割三分ノ低率ニ置カレテ居リマス、小角、板、大角ト、大體三ツニ分レテ居リマスガ、稅番デ申シマスルト、今度ノ改正ト云フモノハ、此木材關稅ノ中ノ「己ノ五」ノ「イ、ロ、ハ、ニ」ダケガ無稅トナツテ居リマシテ、「ニ」ノ二、其ノ他「ト」云フモノガ上ツテ居リマスガ、私共ハ此引上ニ付テ、餘程當局ノ御決心ト、又研究シタ所ヲ御教ヘ戴カナケレバ、一寸贊成シ兼ネルヤウナ所ガアルノデス、米松ヲ引上ゲテ、木材業者ヤ山林業者、農家ガ救済サレナイト云フ結論ニ、今迄大體ナツテ來タ、ソレハ樺太材ノ侵入ガアルカラデアリマス、ソコデ今マデ木材ノ改正ガ二度ニ互ツテ行ハレテ居リマス、即チ田中内閣ニ於テ引上セラレタノト、ソレカラ井上大藏大臣、即チ濱口内閣ニ於テ引上セラレタノト、二回行ハレテ居リマス、其時モズット米松ダケハ、社會政策的ノ意味ニ於テ、其儘ニ米杉、米杉、米梅ニ比シマシテ、低率ナル稅率ニ

置イテアツタ、何故カト云フト、其時ノ速記録ヲ讀ミマシテモ分ルノデアリマスガ、其第一ノ原因ハ、米松ノ大角ノ如キハ、内地ヘ入ツテ來ルモノニ對シマシテハ、殆ド其代用品ガナイ、對抗材ガナイ、同時ニ大角ノ如キハ、學校ノ大キナ建築デアルトカ、工場ノ大キイ建築デアルトカ云フモノニ、是ガ用ヒラレルヤウニナリマシテ、是等ノ引上ハ隨テ市町村ノ歳出ニ増加ヲ來スヤウニナツテ來ルト私ハ考ヘマス、農林當局ノ御意見デハ、是ノ對抗材ト云フモノハ、内地ニ持ツテ來テ小角ニ引直シテ、サウシテ遠州材ノ二十年モノ、若クハ三十年モノ位ノ杉、檜ニ對抗スルト言ハレテ居リマスケレドモ、私共ノ考デハ對抗シテ居ナイト考ヘル、而シテ板及小角ニ付キマシテハ、是ハ製材トシテ入ッテ來ルノデアリマスガ、此板トシテ入ッテ來ルノデアリマスガ、此板及小角ニ付キマシテハ、是ハ下級建築ニハ是非共必要ナモノデアリマシテ、貧民長屋ヲ造ルトカ、或ハ役人ガ低利資金ヲ借りテ來テ建築ラスルトカ云フヤウナ方面ノ、頗ル社會政策的ノ意味カラ考ヘマシテ、米杉、米杉、米梅ニ較ベテハ、當然是ハ低率ニ置カナケレバナラヌモノデアルト私ハ考ヘル、隨テ現行稅率ハ今申上ゲタヤウニ、二割七分乃至四割三分ノ低率ニ置カレテ

ルノデス、所ガ改正稅率ニナリマス、稅率ノ盛リ方ガ、斯ウ云フヤウナヤリ方ニナツテ居リマスガ、此點ハ果シテ社會政策的の見地カラ考ヘマシテ、正當デアリマセウカ否ヤト云フコトヲ、私ハ農林當局ニ伺ツテ見タイ、即チ現行稅率ハ米杉、米杉、米梅ノ方ニ於キマシテ、板ノ方デハ每立方「メートル」六圓二十五錢デアリマス、之ヲ米松ニ較ベマス、米松ハ四圓五十五錢デアツテ、二割七分安ニナツテ居ルノデス、ソレカラ同ジク米杉、米杉、米梅ノ小角及板ハ五圓五十錢デアリマシテ、米松ハ三圓九十錢デアリマスカラ、二割九分安ニナツテ居リマス、ソレカラ大角ハ米杉、米杉、米梅ノ方ガ三圓七十錢デアリマスカラ、米松ガ二圓十錢デ四割三分安ニナツテ居リマス、是ダケ安クシテアル所以ノモノハ、社會政策的の見地ヲ茲ニ加味セラレタコト、所謂先程申シマシタル學校其他市町村ニ使ハレル、必要ナル大キナ木デアアルカラト云フコトヲ加味シタノデアアラウト考ヘマスガ、之ヲ改正稅率ニ直シテ見マスルト、改正稅率デハ米松ノ方ガ板ガ六圓九十錢ニナツテ、却テ米杉、米杉、米梅ノ板ニ對シテ一割高ニナツテ居ル、ソレカラ小角ニ付キマシテハ、米松ノ方ガ五圓六十錢ニナリマシテ、是亦米杉、米杉、米梅ノ小角及板ニ對シテ一割高ニナツテ居リマ

ス、大角デハ三圓四十錢ノ改正稅率ナラバ、是ダケガ僅カニ米杉、米杉、米梅ニ對シテ、米松ノ大角ガ八分安ト云フコトニナツテ來マシテ、元ハ四割三分安デアツタモノガ、僅ニ八分安ニシカナツテ居ナイ、是カラ考ヘテ見マスルト、此稅率ノ盛リ方ガ高級品デアアル米杉、米杉、米梅ニ對シマシテ、下級品デアアル米松ノ方ガ稅率ノ割ガ高クナツテ居ル、大體大角ガ僅ニ八分安ノ稅率ヲ盛ツテアルト云フコトガ、是ガ果シテ現在ニ於ケル如ク思想問題ガヤカマシクテ、社會ニ於テ所謂「底生活ヲシテ居ルヤウナ人ガ入ルベキ建築材料ニ用ヒラルベキモノヲ、高級品デアアル米杉、米杉、米梅ヨリモ高クスルト云フコトハ、私ハ租稅政策上及社會政策上ノ見地カラ考ヘマシテ、頗ル當ヲ得ナイト考ヘマス、然レドモ之ヲモウ一度考ヘ直シテ見マスルト、此米杉、米梅、米杉ニ付キマシテハ、御承知ノ通り從量稅デ三割五分一律一體ノ増率ヲ見マス、此三割五分一律一體ノ増率ヲ見積ツテ見マス、米杉、米杉、米梅ノ高ガ八圓四十三錢トナツテ、ソレガ今ノ改正稅率ノ米松ノ板ニ對シマシテハ二割二分高ニナツテ來マス、米杉、米杉、米梅ノ小角ガ七圓四十二錢デアリマシテ、是ガ改正稅率ニ對シテハ三割三分ニナツテ來マス、ソレカラ米杉、米杉、

米梅ノ大角ガ四圓九十九錢トナツテ、ソレガ今度ノ米松ノ改正稅率ニ對シマシテハ四割六分高ニ大體ナツテ來テ居リマス、斯ウ云フヤウニ比較シテ見マシテ、三割五分ト云フ從量稅ノ一律一體ノ引上ヲ見タモノヲ考慮ノ中ニ入レマシタナラバ、確ニ米杉、米檜、米梅ハ米松ヨリモ高クナツテ居リマスルガ、併ナガラ是ハ當分ノ内デアルカラ、次ノ議會迄ノ間ニハ除ケラレテシマフカモ知レマセヌ、本會議ニ於キマスル本員ノ質問ニ對シマシテ、高橋大藏大臣ハ當分ノ内ト云フ問題ニ付テハ餘リ詳細イ答辯ヲ與ヘラレナカタデスケレドモ、此全體ノ現行ノ關稅ハ、大正十五年ニ濱口、時ノ藏相ニ依テ改正セラレタモノデアリマシテ、ソレカラ殆ド十年近クモ經ッテ居ル、此問題カラ考ヘテ、其間ニ金輸出再禁止ノ問題モアリ、世界的ノ大變動ガアリ、又物價ノ大變動ガアリ、色々産業狀態ニ於テモ、亦變動ガアリマシタカラ、是ハ到底改正シナケレバナラヌノデアリマシテ、多分此政府モ此次迄ノ間ニ全般的ノモノヲ決心デアラウト考ヘマス、其證據ニハ今日上グラレタ二十九品ト云フモノハ應急的ノモノデ、所謂緊急已ムヲ得ザルモノデアアル、殘リノモノハ次ノ議會迄ニ改正セラレルト云フコトデアルトスレバ、當分ノ内ト云フノハ、

次ノ議會ニ一律一體三割五分ノ從量稅ニスルト云フ提案ヲサレルコトニ解釋シテ宜カラウト思フ、サウ云フ意味ガ言外ニ仄メイテ居ル、サウ考ヘテ見ルト、從量稅ニ對スル一律一體引上ノ結果ハ、一般稅率改正ノ方カラ別ニ見テ行カナケレバナラヌト考ヘル、果シテ是ガ正當デアルトスレバ、米松ノ稅率ト云フモノハ、米檜、米杉、米梅ノ稅率ニ對シテ、大體ニ於テ割高ニナツテ居ルト云フコトハ、是ハ社會政策的の見地カラ考ヘテ當ヲ得ナイモノデアルト思ヒマスガ、此點ニ對スル政府委員ノ御答辯ハ如何デアリマセウカ

○長瀬政府委員 御答申シマス、只今ノ御話ノ如クニ、米松ノ大角、小角、其他色々ゴザイマスガ、是ハ從來ハ内地材カラ見マス、餘程御話ノ通り大材ガ用ヒラレル、大材ガ入ッテ來ルノデアル、即チ學校建築デアリマス、大キイ官廳ノ建築デアリマス、サウ云フヤウナ大材向キノ物ガ一ツト、ソレカラ此前ニモ其說明ハアッタラウト思ヒマスガ、矢張大衆向キノ物ガ多イト云フコトデ、比較的ハ低稅ニ相成ッテ居ッタノデアリマスガ、而モ今日マデノ大體ノ經過ヲ見マスルト、其所謂大材向ト云フ物ガ非常ニ減ッテ參リマシテ、約四分ノ一、此前ノ改正當時カラ見マス、四分ノ一位ニ減ッテ參リ

マシタシ、又日本ノ林業モ、漸次是等ノ外材ノ輸入ノ爲ニ、從來ノヤウニ高ク止ッテ居ッタノデハ、中々賣行キガ惡イノデアリマス、其爲ニ値段ノ下廻リト云フコトハ兎モ角モトシテ、出來ルダケ裾物モ出スト云フコトニ致シテ、是等ノ米材、米松ニ對抗シ來ッタノデアリマス、隨テ今日ニ於キマシテハ、此米松ノミガ特大衆向キデアルト云フコトハ言ヘナイ、日本材モ亦大衆向キデアル、杉アタリデモ極ク裾物ガ出來マシテ、是等ノ物ト漸次競争スルヤウナ立場ニナツテ參ッタノデアリマシテ、其爲ニ從來申シテ居リマシタ所ノ大物買上カ、或ハ大衆向キデアルトカ云フヤウナ理由ガ、最早ナクナツテ參ッタノデアリマス、何分此前ノ昭和四年ノ際ニハ、外カラ見マシテ、サウ云フ理窟デ相當ニ之ヲ低イ關稅ヲ課シテ居リマシタノガ、只今申シマシタヤウナ經過ト共ニ矢張是モ上ゲナケレバナラヌト云フコトニナツタノデアリマス、唯茲ニ先程御話ニナリマシタ通りニ、是レ以外ニ米杉、米檜、米梅ト云フモノハ、三割五分ト云フモノガ課カルノデアリマス、ソコデ今回之ヲ此儘ニシテ上ゲナイデ置クト云フコトニナリマス、茲

此處デ斯ウ云フヤウナ對抗材ノ生産者ト致シマシテハ、一應權衡ヲ付ケル程度マデ上ゲタイ、斯ウ云フノガ趣旨デ上ゲマシタノデアリマス、御諒承ヲ願ヒマス

○中島(彌)委員 サウスルト三割五分從量稅ヲ一律一體ニ引上グラレタ結果ヲ換算シテ、ソレカラ考ヘテ米松ヲ其儘置イテ置イタナラバイカヌカラ、之ニ對シテ矢張サウスルト云フト、當分ノ内ヤラレルモノニ對スル對照論デアッテ、一般稅率ノ改正法トシテハ、米杉、米檜、米梅ニ付テハ、大體三割五分ノ程度ニ於テ上ゲテ、其儘置イテ宜シイト云フ意味デアリマス

○長瀬政府委員 只今ノハ實ハサウデハゴザイマセヌノデ、今日ノ關稅カラ見テ、此關稅ヲ引上ゲマスル場合ニ於テハ、矢張大體此率デ上ゲナケレバナラヌ、但シ三割五分ト云フモノヲ上ゲマスカラ、ソレモ考ノ内ニハ入レテ居ル、斯様ニ申スノデアリマス、ソレデ當分ノ内ト云フ言葉ハ、實ハ私共モ何時ノ何時ト云フコトハハッキリ分リマセヌ、ケレドモ大體當分ノ内ト云フコトデ、ソレナラバソレモ考ノ中ニ入レテ、サウシテ稅率ノ低目ニナツテ居ルノモ或「レベル」ニ上ゲル、其中ニハ矢張三割五分ト云フコトモ、考ノ中ニ入レルト云フノデス、斯様ナコトニ過

ギナノイデアリマス

○中島(彌)委員 サウシマスト云フ
ト、三割五分従量税ノ一律一體ガ米杉、
米檜、米梅ニ課カテ來ルカラ、今ノ米松
ノ改正率ヲ斯ノ如ク高クシタノデア
ルト云フ、其議論ノ到著點カラ致シマ
ス、此米杉、米檜、米梅ト云フコトニ付
テハ、三割五分ノ見當ヲ目安ニ置イテ、
ノ板ノ方ガ八圓四十三錢、小角ガ四
十一錢、大角ガ四圓九十九錢、斯ウ
云フモノニ動カナイモノト見テ宜イ
ノデスカ、ソレデ釣合ガ取レテ居ルト
云フノデスカ

○長瀬政府委員 三割五分ヲ課ケマシ
テ、所謂當分ノ内ト云フコトデアリ
マスルカラ、隨ヒマシテ將來御話ノ通
リ三割五分ガ撤廢スルト云フ曉ガ來タ
ラバ、其他ノモノトノ其時期ニ於ケル
狀況ヲ見マシテ、又改正スルコトガ
アルカモ知レナイト考ヘマス

○中島(彌)委員 サウシマスト云フ
ト、此改正税率ガ現行税率ニ對シテ、
大角ニ付テハ、改正税率ノ方ハ八分
安ニナツテ居リマスガ、其理由ハ何處
アリマスカ、現行税率ノ八分安ニシ
テ置イテ、三割五分ノ従量税、一般ノ改
正カラ考ヘテ、是ガ四割六分高ニナ
居ル點ハ、頗ル私共ハ税率ノ盛リ方
ニ、其處ニ不調和ノ所ガアリハセヌ
カト考

ヘマスカ、其點ハドウデスカ

○長瀬政府委員 今ノ御話ハ二百ミ
リメートルヲ超エルモノデスカ

○中島(彌)委員 サウデス

○長瀬政府委員 大角デアリマス
ガ、是ハ比較的大物デアリマス、ソレ
一方カラ云フト、内地ノ生産材デ動
モスルト及バヌヤウナモノガ中ニハ
アル、併シ之ヲ全然上ゲナイト云フ
コトモ亦出來マセヌ、矢張先程モ御
話ガ出マシタ通りニ、之ヲ細カク挽
材シテ小角ニスルト云フヤウナモノ
モ出來テ參リマス、大角モ上ゲテ居
リマスガ、之ヲ甚シク上ゲルト云フ
コトヲ致シマセヌノハ、矢張是ガ相
當大キイモノガアルト云フコトモ考
ヘタ譯デアリマス

○中島(彌)委員 サウスルト己ノ五
ノ二ノ杭木ナンカニ近イモノガ無税
ニナツテ居リ、片ッ方ノ政府ノ原案
デハ、南洋材ノ「ラワン」材ニ付テ
モ有税ニスル積リデアツテ、二圓六
十錢ニシテ、片ッ方ハ六圓二十錢
ニスル計畫ニナツテ居リマシタガ、
堀切政務次官ノ御意見ニ依レバ、此
議會ニハ提出シナイト明言サレテ居
リマス、サウシテ見ルト大變ニ稅率
全體カラ眺メテ、杭木ノ方ハ、己
ノ五ノ其他ノ二ノ丸太及割材、是ハ
以前カラ無税ニナツテ居ル、今マデ
大角ノ米松ノ入ッテ來居ッタヤッガ
日本ニ容易ニ得ラレナイカラ、秋田
杉、檜アタ

リノ百年、二百年、三百年材ニ對
抗スルモノダラウト思ッテ居リマス、
之ヲ小角ニシテ、内地ノ方ノ紀州ア
タリノ二十年、三十年ノ杉ニ對抗ス
ルト云フコトヲ仰シヤツテ居リマス
ガ、此内地ノ檜、杉ヲ壓迫スルモノ
ハ、先刻カラ數時間ニ亘ッテ議論サ
レタ樺太材ガ内地材ヲ案スノデア
ツテ、米材ガ案スノデハナイ、是ハ
何處ノ木場ニ行ッテモ其問題ヲ聽
イテ居ルガ、政府ノ提案ノ理由ガ何
處ニアルカト申スト、米松ガ米檜、
米杉、米梅ニ比シテ低率ナルガ故
ニ上ゲル、斯ウ云フコトヲ關稅委員
會ノ諮問案ノ中ニ謳ッテアル、此儘
ニ放任シテ置ケバ、一般木材關稅率
制定ノ效果ヲ收ムル能ハザルノミ
ナラズ、各種林政上ノ施設ハ所期ノ
目的ヲ達シナイ、本邦林業ノ保護
及山村住民ノ救済ヲ期スルノダト
言ッテ居ル、サウシテ見ルト、稅率
ノ盛リ方カラ考ヘテ見テモ、非常
ニ矛盾ガアルバカリデナク、米松
ノ所謂下級材ヲ引上ゲル目的ガ何處
ニアルカト云フコトヲ解スルニ苦
シム、遠州材ノ小角ニシタ二十年、
三十年物、之ヲ壓迫スルカラ引上
ゲルノダ、所ガ其敵ハ後ロカラ參
ッテ居ル、樺太材ガ敵デアアル、
サウスルト敵ハ本能寺ニアルノ
デアツテ、敵デナイモノヲ引上
ノ對照トシテ「ドグラスファーン」
ヲ輸入額ニ於テ多少イカラ引上
ゲルト云フノデアツテ、後ロ

ハ開ケテ、前ハ塞ガウトスルヤウナ
結果ニナルヤウダガ、其點私共ハ頗
ル解釋ニ苦シム、サウシテアナタノ
仰ッシャルノハ、大角ノ中ノ大物
デアツテ、日本デ得ラレナイ物モ
入ッテ來ルカラ、安クシテヤルノ
ダト仰ッシャルレマス、併ナガラ
是ハ根本ノ問題カラシテ、林業
政策ノ立場カラ言ッテ、米松ヲ止
メテ見タ所ガ、何ニモナラヌト云
フコトハ、論ジ盡サレタ所ニ依
テ、樺太材ニ影響ガナイト云フ
コトニナルト、之ヲ改正シテ引上
ゲルコトハ、細民階級、中産階級
以下ノ家屋ヲ壓迫スルノミナラ
ズ、之ヲ製材シテ居ル者ニ對シテ
壓迫ニナルノデハナイカ、サウシ
テ遠州ニ山林ヲ持ッテ居リ、製材
所ヲ持ッテ居ル者モアル、其人ガ
深川ニ店ヲ持ッテ居ル者モアル、
其人ガ日本材モ挽イテ居レバ、米
材ヲ挽ク人モアルノデ、其影響ス
ル所ハ、今ノ樺太材ニ壓迫サレ
テ、市價ガ暴落シテ來ル、是ハ不
景氣ノ影響モアラウガ、同ジヤウ
ニ米松ヲ引上ゲテ保護セラレル
人ハ、誰デアアルカ私共分ラナイ、
サウスルトアナタ方ノ對照トスル
目的ハ何處ニアルカ、米松ヲ目
的ニシテ引上ゲルノデアアルカ、
即チ内地ノ對抗材ヲ何處ト見テ、
何ヲ救済スル御考デアアルカ、
此點ヲ私ハ聽キタイノデアリマス、
モ一度繰返シマスガ、三割五分ト
云フコトハ除イテ考ヘテ、所謂一
般稅率ノ

改正問題トシテノ稅率ノ盛リ方ノ適用ハ、米松ノ引上方ニ付テ餘リニ重キニ失シハシナイカト考ヘマスガ、此點ニ付テノ御答辯ヲ願ヒマス

○長瀬政府委員 御說ノ通り遠州物ノ小角軟材ハ、樺太材ガ壓迫シテ居ルト云フコトハ、是ハ私其實ヲ認メマス、併ナガラ一面ニ於テ全然樺太材ノミガ壓迫シテ居ルノデハナク、亞米利加材ハ壓迫シナイカト云フト、亞米利加材

モ之ヲ代材トシテ壓迫シテ居ルモノダト私共ハ思ヒマス、遠州方面ノ林業家ノ出シマスモノハ成程中ニハ餘程蝦夷、蝦ニ相對スルヤウナモノモアリマセウケレドモ、矢張種類モ多イコトデアリマスカラ、一面ニ於テ亞米利加材

ト相拮抗シテ居ルト云フモノガ、私ハ相當アルト思ヒマス、先程樺太長官ノ御話デ、愈アレガ本當ニ行ハレ、バ、甚ダ結構ダト思ヒマス、私共モアノ方面ニ向ッテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、アレハアレト致シマシテ、一方

亞米利加ノ方モ、矢張ドウモ相當關稅ト云フコトモ考慮シナケレバナラヌト思ヒマス、尤モ關稅ト云フコトガ、最後ノ手段ダトハ思ヒマセヌ、其他色ミ指導助長ノ方法ヲ講ジナケレバナリマセヌ、矢張關稅ト云フコトモ考慮シナケレバナラヌモノト私共考ヘテ、此提案ヲ致シタ次第デアリマス、稅率ガ

高過ギルト云フ御話モゴザイマシタガ、是ハ大體今年ノ一月カラ三月ニ至リマスル輸入平均價格ノ從價換算率ヲ、今回ノ改正ノ從價換算率ト見マスト、約七分五厘バカリ上ッテ居ルノデ、激シイ上リ方デアルトハ實ハ思ッテ居ラヌ譯デアリマス

○守屋委員長代理 大分時刻モ移ッテ來マシタカラ、中島君ノ御質問ハ明日ニオヤリニナッテハ如何デスカ

○中島(彌)委員 許シテ下サレバ……

○守屋委員長代理 アナタノハ娓娓々トシテ盡キナイヤウデスガ、明日ニ繼續シテ許スコトニ致シマシテ、今日ハ此程度デ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス

午後六時二十四分散會